

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成30年度)

令和2年3月

岩手県教育委員会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成30年度)

岩手県教育委員会

序

埋蔵文化財は、先人の残した貴重な歴史的財産であり、国民共有の財産です。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

当委員会では、昭和52年から国庫補助金の交付を受けて遺跡の分布調査を実施し、現在、岩手県内には約12,700箇所あまりの遺跡が確認されています。これらの遺跡を広く周知するとともに、開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図るために行った、遺跡の範囲や内容確認を目的とした試掘調査、小規模な記録保存目的の発掘調査などについて、その成果を報告書として平成元年度から刊行しています。

本県では、平成23年3月11日に発災した東日本大震災からの復興に係る埋蔵文化財の調査に鋭意取り組んでいるほか、国・県関連の開発事業に係る埋蔵文化財の調査にも取り組んでいるところです。

本報告書は、平成30年度に実施した県内遺跡調査事業による発掘調査及び試掘調査・工事立会・分布調査等の成果をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護の一助になれば幸いに存じます。

調査の実施と報告書の作成にあたり、御指導と御協力をいただきました関係機関ならびに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和2年3月

岩手県教育委員会

教育長 佐藤 博

例　　言

- 1 本書は岩手県教育委員会が平成30年度に実施した県内遺跡調査事業に係る成果報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、県埋蔵文化財センターと略記）及び関係市町村教育委員会の協力を得て行った。
- 3 遺跡位置図は岩手県遺跡情報検索システム（平成30年度版）（国土地理院長の承認を得て、同院発行の25000分の1地形図（承認番号平30情使、第72-GISMAP41197号）を編集）を使用した。
- 4 発掘調査及び試掘調査の調査位置図の作図は各事業者から提供された工事計画図、及び国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び数値地図（国土基本情報）基盤地図情報（数値標高モデル）を使用した。（承認番号平28情使、第169号）
- 5 発掘調査及び試掘調査、工事立会の遺物実測図・遺物観察表は遺跡ごとに掲載した。分布調査の遺物実測図・遺物観察表はまとめて掲載した。
- 6 遺構名称は必要に応じて略号を付した。（竪穴建物：SI、土坑：SK）
- 7 遺構・遺物実測図の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。
遺構：1/50　遺物：土器・須恵器・陶磁器1/3、剥片石器2/3、礫石器1/3
- 8 写真図版の縮尺は遺構については任意、遺物については実測図と同寸である。
- 9 平成30年度の調査体制は次のとおりで、報告書の作成・編集は生涯学習文化財課が行った。
（埋蔵文化財担当総括）上席文化財専門員 佐藤 淳一　（予算・経理）主事 須川 翼
（事業担当）文化財専門員 花坂 政博・佐々木 務・長屋敷 淳史・吉田 充
文化財調査員 久保 賢治・高橋 祐
- 10 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が保管している。

目　　次

序
例言

I 発掘調査

- 1 河川等災害復旧事業一般国道340号新町地区ほか
道路災害復旧（28災42号・183号）工事（大日向II遺跡） 2

II 試掘調査

- 1 国道106号宮古盛岡横断道路（平津戸～岩井・松草）（可能性あり） 11
- 2 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり1） 12
- 3 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり1） 12
- 4 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（伝吉I遺跡及び隣接地） 13
- 5 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（伝吉II遺跡隣接地） 13
- 6 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり24） 15
- 7 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり） 16

8	三陸沿岸道路（洋野階上道路）（上のマッカ遺跡）	16
9	三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり48）	17
10	三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり）	17
11	三陸沿岸道路（洋野階上道路）（可能性あり49）	17
12	三陸沿岸道路（野田久慈道路）（可能性あり）	19
13	三陸沿岸道路（田野畠烟道路）（浜岩泉VI遺跡）	20
14	三陸沿岸道路（宮古箱石道路）（腹帶IV遺跡）	21
15	三陸沿岸道路（吉浜釜石道路）（荒川砂子渡遺跡）	22
16	岩手山麓農業水利事業南部主幹線用水路（その2）工事（野沢VI遺跡）	22
17	土木事業により発生する残土置場（可能性あり）	23
18	地域連携道路整備事業一般国道340号長興寺地区道路改良事業（可能性あり）	24
19	主要地方道二戸田子線小平地区歩道設置工事（門松遺跡隣接地・可能性あり）	25
20	畑地帯総合整備事業（担い手型育成）（上里遺跡群）	26
21	農業競争力強化基盤整備事業（平清水I・II遺跡及び隣接地）	27
22	第一北上中部工業用水道上水道整備事業（二子城跡）	29
23	第一北上中部工業用水道沈殿池増設工事（二子城跡及び隣接地）	30
24	久慈署庁舎等整備事業（久慈警察署等庁舎新築）（可能性あり）	31
25	一級河川岩崎川筋上矢次地区河川改修（その9）工事（上矢次I遺跡）	32
26	一級河川岩崎川筋上矢次地区河川改修（その9）工事（上矢次I遺跡）	32
27	農地整備事業（経営体育成型）（八幡館遺跡）	33
28	防災安全事業（交通安全）（古館I（中館・万丁目館）遺跡）	34
29	経営体育成基盤整備事業（上須々孫遺跡・本郷野遺跡・八幡館遺跡及び隣接地）	35
30	経営体育成基盤整備事業（神楽遺跡）	37
31	経営体育成基盤整備事業（花曾根上遺跡）	38
32	経営体育成基盤整備事業（煤孫遺跡）	39
33	経営体育成基盤整備事業（法量野I遺跡・法量野II遺跡）	39
34	中山間地域総合整備事業（萱刈窪II遺跡）	41
35	中山間地域総合整備事業（宮沢原II遺跡）	41
36	中山間地域総合整備事業（宮沢原成沢遺跡）	42
37	中山間地域総合整備事業（宮沢原遺跡（遺跡群））	42
38	経営体育成基盤整備事業（明神下遺跡及び隣接地）	43
39	経営体育成基盤整備事業（山田城（山田屋敷）遺跡及び隣接地）	43
40	経営体育成基盤整備事業（長根遺跡及び隣接地）	45
41	経営体育成基盤整備事業（恩俗長根遺跡及び隣接地）	46
42	経営体育成基盤整備事業（上恩俗遺跡及び隣接地）	46
43	経営体育成基盤整備事業（明山遺跡及び隣接地）	46
44	経営体育成基盤整備事業（林前I遺跡及び隣接地）	48
45	経営体育成基盤整備事業（要害遺跡及び隣接地）	49
46	経営体育成基盤整備事業（中林下遺跡及び隣接地）	49
47	農村地域防災減災事業（可能性あり）	52

48	経営体育成基盤整備事業（可能性あり1・2）	53
49	農村地域防災減災事業（可能性あり1（小栗川館跡隣接地））	53
50	農業水利施設保全合理化事業二子町南部地区第3号工事（鴻ノ巣館遺跡隣接地）	54
51	経営体育成基盤整備事業 増沢西部地区（大名野遺跡及び隣接地・丸子I遺跡隣接地）	55
52	経営体育成基盤整備事業 増沢西部地区（可能性あり①）	55
53	農村地域防災減災事業（南陣場遺跡隣接地）	56
54	農業水利施設保全合理化事業東福第2地区（中村II遺跡）	56
55	地域連携道路整備事業（下浜民遺跡・可能性あり1）	57
56	地域連携道路整備事業（水無I遺跡・可能性あり2・3）	58
57	河川灾害復旧助成事業、河川激甚災害対策特別緊急事業（可能性あり）	60
58	小本川河川改修事業（夏屋沢口遺跡及び隣接地）	61
59	地域連携道路整備事業一般国道340号葉山～恵蘇地区（山脈地遺跡・可能性あり1）	62
60	地域連携道路整備事業一般国道340号葉山～恵蘇地区（可能性あり2）	62
61	主要地方道大船渡綾里三陸線赤崎地区地域連携道路整備事業（可能性あり3）	63
62	農地耕作条件改善事業（小田II遺跡）	64
III	工事立会	65
IV	分布調査	73
V	新規登録遺跡	77

報告書抄録

挿図目次

第1図	発掘調査位置図	1	第15図	可能性あり24調査位置図	15
第2図	大日向II遺跡位置図	2	第16図	可能性あり・上のマッカ遺跡位置図	16
第3図	大日向II遺跡調査位置図及び過去調査区 対応図	4	第17図	可能性あり調査位置図	16
第4図	大日向II遺跡遺構配置・検出遺構図	5	第18図	上のマッカ遺跡調査位置図	16
第5図	大日向II遺跡出土遺物図	6	第19図	可能性あり・48・49位置図	17
第6図	試掘調査位置図	10	第20図	可能性あり48調査位置図	17
第7図	可能性あり位置図	11	第21図	可能性あり調査位置図	18
第8図	可能性あり調査位置図	11	第22図	可能性あり49調査位置図	18
第9図	可能性あり1位置図	12	第23図	可能性あり位置図	19
第10図	可能性あり1調査位置図	12	第24図	可能性あり調査位置図	19
第11図	伝吉I・II遺跡位置図	13	第25図	浜岩泉VI遺跡位置図	20
第12図	伝吉I遺跡及び隣接地・伝吉II遺跡隣接地 調査位置図	13	第26図	浜岩泉VI遺跡調査位置図	20
第13図	伝吉II遺跡隣接地出土遺物図	14	第27図	腹帶IV遺跡位置図	21
第14図	可能性あり24位置図	15	第28図	腹帶IV遺跡調査位置図	21
			第29図	荒川砂子渡遺跡位置図	22
			第30図	荒川砂子渡遺跡調査位置図	22

第31図	野沢Ⅵ遺跡位置図	22	第74図	宮沢原成沢・宮沢原遺跡位置図	42
第32図	野沢Ⅶ遺跡調査位置図	22	第75図	宮沢原成沢・宮沢原遺跡調査位置図	42
第33図	可能性あり位置図	23	第76図	明神下・山田城遺跡位置図	43
第34図	可能性あり調査位置図	23	第77図	明神下遺跡及び隣接地調査位置図	43
第35図	可能性あり位置図	24	第78図	明神下遺跡及び隣接地出土遺物図	44
第36図	可能性あり調査位置図	24	第79図	山田城遺跡及び隣接地調査位置図	44
第37図	可能性あり出土遺物図	24	第80図	長根遺跡位置図	45
第38図	門松遺跡・可能性あり位置図	25	第81図	長根遺跡及び隣接地調査位置図	45
第39図	門松遺跡隣接地調査位置図	25	第82図	恩俗長根・上恩俗・明山遺跡位置図	46
第40図	可能性あり調査位置図	25	第83図	恩俗長根遺跡及び隣接地調査位置図	47
第41図	上里遺跡群位置図	26	第84図	上恩俗遺跡及び隣接地調査位置図	47
第42図	上里遺跡群調査位置図	26	第85図	明山遺跡及び隣接地調査位置図	47
第43図	上里遺跡群出土遺物図	26	第86図	林前Ⅰ遺跡位置図	48
第44図	平清水Ⅰ・Ⅱ遺跡位置図	27	第87図	林前Ⅰ遺跡及び隣接地調査位置図	48
第45図	平清水Ⅰ・Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図	27	第88図	要害・中林下遺跡位置図	49
第46図	平清水Ⅱ遺跡及び隣接地出土遺物	28	第89図	要害遺跡及び隣接地調査位置図	49
第47図	二子城跡位置図	29	第90図	中林下遺跡及び隣接地調査位置図	49
第48図	二子城跡調査位置図	29	第91図	中林下遺跡及び隣接地出土遺物図	50
第49図	二子城跡出土遺物図	30	第92図	可能性あり位置図	52
第50図	二子城跡及び隣接地調査位置図	30	第93図	可能性あり調査位置図	52
第51図	可能性あり位置図	31	第94図	可能性あり1・2他位置図	53
第52図	可能性あり調査位置図	31	第95図	可能性あり1・2調査位置図	53
第53図	上矢次Ⅰ遺跡位置図	32	第96図	可能性あり1調査位置図	53
第54図	上矢次Ⅰ遺跡調査位置図	32	第97図	鴻ノ果館遺跡位置図	54
第55図	上矢次Ⅰ遺跡出土遺物図	32	第98図	鴻ノ果館遺跡隣接地調査位置図	54
第56図	八幡館遺跡位置図	33	第99図	丸田Ⅰ・大名野遺跡他位置図	55
第57図	八幡館遺跡調査位置図	33	第100図	大名野遺跡及び隣接地・丸田Ⅰ遺跡隣接地	
第58図	古館Ⅰ遺跡位置図	34		調査位置図	55
第59図	古館Ⅰ遺跡調査位置図	34	第101図	可能性あり①調査位置図	55
第60図	八幡館遺跡他位置図	35	第102図	南陣場遺跡位置図	56
第61図	上須々孫遺跡調査位置図	35	第103図	中村Ⅱ遺跡位置図	56
第62図	本郷野遺跡調査位置図	35	第104図	中村Ⅱ遺跡調査位置図	56
第63図	八幡館遺跡及び隣接地調査位置図	36	第105図	下法民遺跡・可能性あり1位置図	57
第64図	神楽遺跡位置図	37	第106図	下法民遺跡・可能性あり1遺跡調査位置図	
第65図	神楽遺跡調査位置図	37			57
第66図	花曾根上遺跡位置図	38	第107図	水無Ⅰ遺跡他位置図	58
第67図	花曾根上遺跡調査位置図	38	第108図	水無Ⅰ遺跡・可能性あり2調査位置図	58
第68図	煤孫・法量野Ⅰ・Ⅱ遺跡位置図	39	第109図	可能性あり3調査位置図	59
第69図	煤孫遺跡調査位置図	40	第110図	可能性あり3出土遺物	59
第70図	法量野Ⅰ遺跡調査位置図	40	第111図	可能性あり位置図	60
第71図	法量野Ⅱ遺跡調査位置図	40	第112図	可能性あり調査位置図	60
第72図	宮沢原Ⅱ・萱刈窪Ⅱ遺跡位置図	41	第113図	夏屋沢口遺跡位置図	61
第73図	宮沢原Ⅱ・萱刈窪Ⅱ遺跡調査位置図	41	第114図	夏屋沢口遺跡及び隣接地調査位置図	61

第115図 山脈地遺跡他位置図	62	第124図 工事立会位置図一覧（4）	69
第116図 山脈地遺跡・可能性あり1・2調査位置図	62	第125図 工事立会位置図一覧（5）	70
		第126図 工事立会位置図一覧（6）	71
第117図 可能性あり3位置図	63	第127図 工事立会位置図一覧（7）	72
第118図 可能性あり3調査位置図	63	第128図 宮沢原遺跡出土遺物図	72
第119図 小田II遺跡位置図	64	第129図 分布調査採集遺物図	76
第120図 小田II遺跡調査位置図	64	第130図 新規登録遺跡位置図一覧（1）	78
第121図 工事立会位置図一覧（1）	66	第131図 新規登録遺跡位置図一覧（2）	79
第122図 工事立会位置図一覧（2）	67	第132図 新規登録遺跡位置図一覧（3）	80
第123図 工事立会位置図一覧（3）	68		

挿表目次

第1表 発掘調査一覧表	1	第12表 中林下遺跡及び隣接地出土遺物観察表	51
第2表 大日向II遺跡出土遺物観察表	6	第13表 可能性あり3出土遺物観察表	59
第3表 試掘調査一覧表（1）	9	第14表 工事立会一覧表（1）	65
第4表 試掘調査一覧表（2）	10	第15表 工事立会一覧表（2）	66
第5表 伝吉II遺跡隣接地出土遺物観察表	14	第16表 宮沢原遺跡出土遺物観察表	72
第6表 可能性あり出土遺物観察表	24	第17表 分布調査一覧表（1）	73
第7表 上里遺跡群出土遺物観察表	26	第18表 分布調査一覧表（2）	74
第8表 平清水II遺跡及び隣接地出土遺物観察表	28	第19表 分布調査一覧表（3）	75
第9表 二子城跡出土遺物観察表	30	第20表 分布調査採集遺物観察表	76
第10表 上矢次I遺跡出土遺物観察表	32	第21表 新規登録遺跡一覧表	77
第11表 明神下遺跡及び隣接地出土遺物観察表	44		

写真図版目次

写真図版1 大日向II遺跡出土遺物	6	写真図版16 二子城跡出土遺物	30
写真図版2 大日向II遺跡調査風景（1）	7	写真図版17 可能性あり調査風景	31
写真図版3 大日向II遺跡調査風景（2）	8	写真図版18 上矢次I遺跡出土遺物	32
写真図版4 可能性あり調査風景	11	写真図版19 八幡館遺跡調査風景	33
写真図版5 可能性あり1調査風景	12	写真図版20 古館I遺跡調査風景	34
写真図版6 伝吉II遺跡隣接地調査風景	13	写真図版21 神楽遺跡調査風景	37
写真図版7 伝吉II遺跡隣接地出土遺物	14	写真図版22 花曾根上遺跡調査風景	38
写真図版8 可能性あり24調査風景	15	写真図版23 宮沢原II・萱刈窪II遺跡調査風景	41
写真図版9 浜岩泉VI遺跡調査風景	20	写真図版24 明神下遺跡及び隣接地出土遺物	44
写真図版10 腹帶IV遺跡調査風景	21	写真図版25 林前I遺跡及び隣接地調査風景	48
写真図版11 可能性あり調査風景	23	写真図版26 中林下遺跡及び隣接地出土遺物	51
写真図版12 可能性あり出土遺物	24	写真図版27 可能性あり3出土遺物	59
写真図版13 上里遺跡群出土遺物	26	写真図版28 小田II遺跡調査風景	64
写真図版14 平清水II遺跡及び隣接地調査風景	28	写真図版29 宮沢原遺跡出土遺物	72
写真図版15 平清水II遺跡及び隣接地出土遺物	28	写真図版30 分布調査採集遺物	76

I 発掘調査

第1表 発掘調査一覧表

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	検出構造	面積
1	平成30年7月11日～13日	河川等災害復旧事業一般国道340号新潟市道はく岸路災害復旧(28気仙沼・183号)工事	新潟市土木局 二四土木センター	大田向Ⅱ遺跡 (IP732112)	九戸郡朝日町新野地区	堅穴建物跡1、土坑1	74m ²

市町村支援

No.	調査項目	事業名	依頼者	道跡名	所在地	検出遭撲	面積
2	平成30年9月21日・24日、 25日、10月1日～3日	個人住宅建築工事	野田村教育委員会	野田整穴（中平）道跡 (JG604258)	九戸郡野田村野田	聖穴迷路跡2 聖穴状造構1 柱枝2 柱枝10 焼土2	30mf
3	平成30年12月14日	個人住宅建築工事	野田村教育委員会	野田整穴（中平）道跡 (JG604258)	九戸郡野田村野田	土塁1	15mf
4	平成31年3月6日～8日	野田村公有下水道管渠施設 (52号)工事	野田村教育委員会	平添古道跡 (JG50-2275)	九戸郡野田村野田	聖穴迷路跡1	40mf

東山町村支機分は各市町村で細か



第1図 発掘調査位置図

1 河川等災害復旧事業一般国道340号新町地区ほか
道路災害復旧（28災42号・183号）工事
大日向Ⅱ遺跡（IF73-2112）

1 調査経緯

当該工事は自然災害によって崩れた道路際の崖の復旧に伴うものである。

5月31日 工事立会を実施(下記2を参照)

6月下旬 軽米町から遺跡内での無断掘削の可能性について連絡を受ける

25日 県生涯学習文化財課による現地確認で工事立会時以上の掘削が判明

27日 事業者から願求書提出及び軽米町へ謝罪

7月11日～13日 県生涯学習文化財課による緊急の確認調査を実施

2 立会時の様子

工事予定箇所の現況は大部分が崩落している状態であった。崩れた土の中には縄文土器片が約十点含まれていたが、これは今回の崩落により崩れた土の中に含まれていたものと考えられる。今後の施工は崩落箇所の復旧、補強工事になるが、工事予定地域が急崖で危険を伴うため、崩落部分に盛土をしながら簡易的な道路を造成して、実施することから工事に伴う遺跡への影響はほとんどないと判断し、崩落した土の中に含まれていた土器片を採取し、現状を確認したことで終了とした。

3 立地環境

事業地は軽米町役場から北西に約1.2km、雪谷川西岸の丘陵地端部にあたり、調査区は雪谷川に浸食された比高差20～25mの急崖となっている。立会依頼箇所は八戸自動車道軽米ICへの進入路と国道395号線が接する付近の段丘線にあたる。標高は約167m前後を測る。

4 過去の調査

当遺跡は過去に複数回にわたり発掘調査が行われており、県内の縄文時代の著名な遺跡の一つとして知られている。今回の調査区の隣接地（西側）も国道395号改良工事に係り発掘調査が行われ、縄文時代早期前葉～晩期、弥生時代、平安時代の各遺構及び遺物が発見されている。

5 整理作業について

遺構図版の作成にあたり過去の調査成果との合成を図った（『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書—第6次～第8次調査一』参考）。座標値を国土地理院測量計算サイト世界測地系座標変換（TKY2JGD）（Ver.1.3.80）を用いて、下記のとおり日本測地系から世界測地系に変換し合成した。

【日本測地系】

【世界測地系】

基5 : X=36888.188m Y=53275.396m ⇒ X=37195.0911m Y=52976.5459m

基6 : X=36913.749m Y=53244.628m ⇒ X=37220.6519m Y=52945.7790m

合成の結果、今回の調査区は過去の調査区と最も隣接する位置から2m前後離れた場所となっている。過去の調査で検出した遺構と今回検出した遺構との関係は不明である。

6 基本層序

今回の調査で確認した層は下記のとおりで、第6次～8次調査との対比は下記のとおりである。

【今回調査】

【第6次～8次調査】



第2図 大日向Ⅱ遺跡位置図

I 层 表土・碎石・盛土	I 层
II 層 10YR2/1黒色粘土質シルト（粘性・しまり中）	II～VII層
III 層 10YR2/3暗褐色シルト（南部浮石粒多量に含む）	II～VII層
IV 層 十和田南部浮石層	VIII層
V 層 10YR3/3暗褐色シルト（粘性・しまり中）	IX層
VI 層 10YR4/6褐色シルト（粘性・しまり中）	X層
VII 層 10YR7/4にぶい黄橙色シルト（粘性・しまり中）	X層

7 調査成果

確認調査面積は約74m²である。調査地点は元来急傾斜地であり、今回工事は崩落した箇所の補修であるため、無断掘削でどの程度削られたのかははっきりしない。現地確認時にはいずれも十和田八戸火山灰層(VI～VII層)下で1m以上掘削が達しており、平面での遺構の検出是不可能な状態であった。そのため、掘削が及んだ道路側の壁面を精査し、遺構の有無を確認することとした。確認した遺構は縄文時代早期前葉以前と考えられる竪穴建物跡1棟、縄文時代晚期以降と考えられる土坑1基である。なお、工事は調査区壁面について盛土で覆いコンクリートブロックで保護することとしたため、今後新たに遺構へ与える影響は認められないと判断し、遺構の確認に止め調査を終了した。

【S101】(位置) X=37214m Y=52963m周辺に位置する。

(検出状況) IV層とした十和田南部浮石層下のV層中から黒褐色の落ち込みを確認した。

(規模・形態) 断面規模は開口部幅約3.8m、床面幅約3.2m、深さ約55cmで平面形態は不明である。

(埋土) 堆積土上面から1・2層が黒褐色の強い粘土質シルト層で埋土の多くを占める。3層はV層起源と考えられる層で、北側の壁面の立ち上がりから、本層から掘り込まれたと考えている。4・5層はVI層起源の壁面崩落土が主である。また、VI層と色味の違いが明瞭ではなく認識しづらかったが、V層粒が混入していたことで分層が可能であった。6層は床面堆積物である。

(壁面) 北側はわずかに外傾して直立気味に立ち上がり、南側は大きく外傾し立ち上がる。埋土でVI層起源を考えた4・5層を確認していることから、本来は直立気味の立ち上がりと推定する。

(床) VII層とした十和田八戸火山灰の浮石層を床としており認識しやすかった。

(炉・柱穴・付属施設) 確認していない。南側の立ち上がりが段状になるが判断できない。

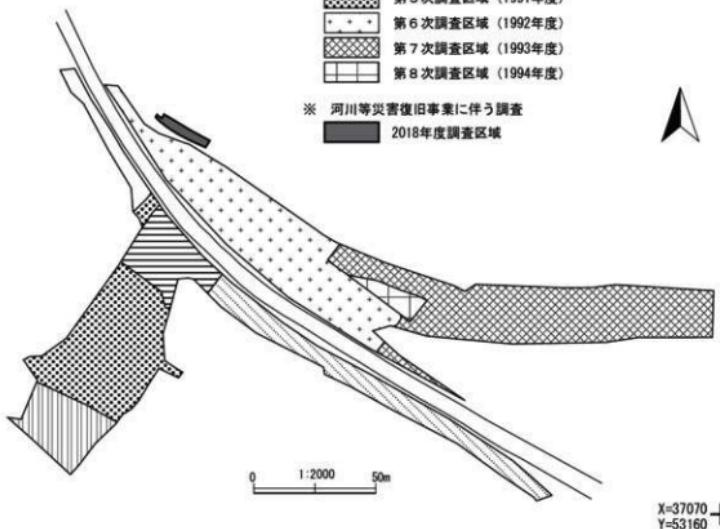
(性格) 床面規模から竪穴建物跡と想定している。

(時期) 出土遺物がないため層位から推定する。テフラの堆積から過去の調査事例と比較すると、第6～8次調査で検出された縄文時代早期前葉(日計式期)の5棟の竪穴建物跡は、いずれも十和田南部浮石層下の八戸火山灰層上面で検出され、十和田南部浮石層下時はいずれの竪穴建物跡も埋まりきっている。今回発見した竪穴建物跡も同様の堆積であることから、周辺で見つかっている早期前葉以前の竪穴建物跡と同時期であると積極的に考えたい。

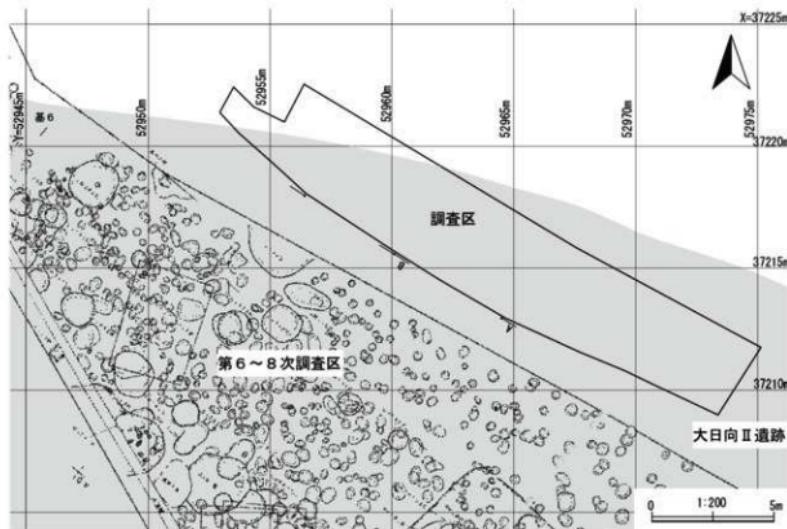
【SK01】(位置) X=37217m Y=52958m周辺に位置する。(検出状況) II層とした黒褐色土中から黒～暗褐色の落ち込みを確認した。(形態・規模) 断面規模は開口部幅約3.5m、底面幅約1.5m、深さ約73cmで、平面形態は不明である。(埋土) 5層に分層した。2層は十和田火山灰粒と推定する。3層あたりからの出土遺物が多かった。5層はVI層の崩落土である。(壁面) 床面から約40cm直立に立ち上がり、その後大きく外傾し立ち上がる。本来は直立気味の立ち上がりと推定するが定かではない。(付属施設) 確認していない。(時期) 出土遺物から縄文時代晚期以降と考えられる。

【参考文献】高木晃 1998「大日向II遺跡発掘調査報告書—第6次～第8次調査一国道395号改良工事関連遺跡発掘調査」

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第275集 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター



第3図 大日向Ⅱ遺跡調査位置図及び過去調査区対応図

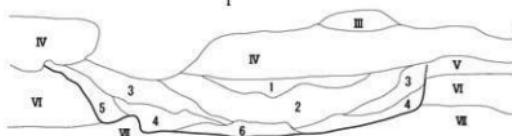


SI01

A

L=164.500m

I



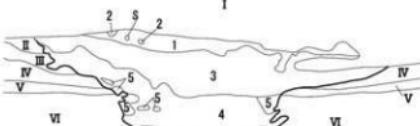
- 1 10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 黏性中 しまり中 黄褐色土粒を全体的に多量に含む。IV帶粒 (1~10mm) を全体的に微量に含む
 2 黒褐色 粘土質シルト 黏性中 しまり中 VI帶粒 (1~10mm) を全体的に小量に含む
 3 10YR3/3 酸褐色 シルト 黏性中 しまり中 VI帶粒 (1~10mm) を全体的に小量に含む。V帶起源
 4 10YR3/4 酸褐色 シルト 黏性中 しまり中 VI帶粒 (1~10mm) を全体的に微量に含む。VI帶起源
 5 10YR3/3 酸褐色 シルト 黏性中 しまり中 VI帶粒 (1~10mm) を全体的に微量に含む。VI帶起源
 6 10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 黏性中 しまり中 IV帶粒 (1~10mm) を全体的に微量に含む。炭化物粒を微量に含む

SK01

B

L=164.500m

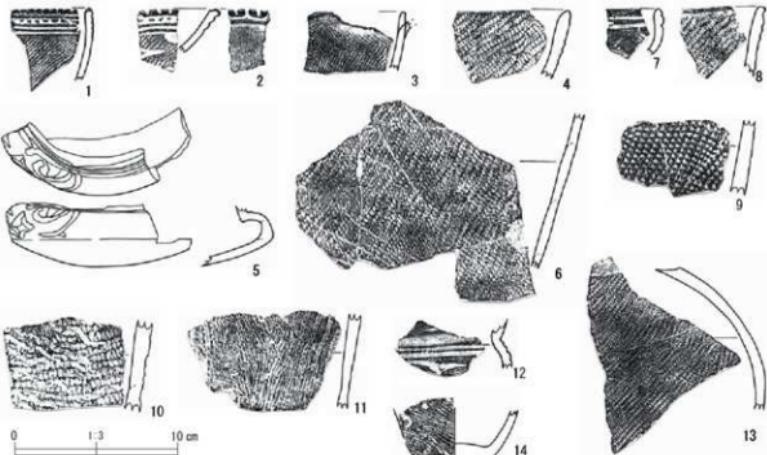
I



- 1 10YR1 7/1 黑 砂質シルト しまりよい
 1 10YR1 7/1 黑 砂質シルト 1%混入
 2 灰白色 火山灰 (千枚田灰) 1~3cmのブロック状
 3 7.5YR2/1 黑 砂質シルト しまりよい
 10YR5/6 黄褐色鮮石粒2%混入
 中部に縄文時代後期埋土断片含む
 4 7.5YR2/1 黑 砂質シルト ややしまる
 10YR5/6 黄褐色鮮石粒(3~10mm) 15%混入
 炭化物片1% (最大2×1cm)
 5 10YR3/4 黑 砂質シルト ややしまる
 炭化物片2% (2×0.8cm)

0 1.50 2m

第4図 大日向II遺跡遺構配置・検出遺構図



第5図 大日向Ⅱ遺跡出土遺物図

第2表 大日向Ⅱ遺跡出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)				特徴
						口径 板	器高 横	底部径 横	重さ	
1	SK01	埋土	繩文土器	鉢	口縁部	-	-	-	-	口縁部刷み、半圓状文、沈線、無節L横
2	SK01	埋土	繩文土器	鉢	口縁部	-	-	-	-	口縫部刷み、半圓状文、内外面沈線、RL横
3	SK01	埋土	繩文土器	片口	口縁部	-	-	-	-	LR・RL横、羽状
4	SK01	埋土	繩文土器	鉢	口縁部	-	-	-	-	LR横
5	SK01	埋土	繩文土器	注口土器	胴部～底部	-	-	-	-	沈線
6	SK01	埋土	繩文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	LR横
7	不明	-	繩文土器	鉢	口縁部	-	-	-	-	沈線
8	不明	-	繩文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	LR横
9	不明	-	繩文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	貝殻文
10	表土	-	繩文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	LR斜、鐵雜合む
11	表土	-	繩文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	木口状撚糸文
12	不明	-	繩文土器	壺か	胴部	-	-	-	-	沈線、無節L横
13	不明	-	繩文土器	壺か	胴部	-	-	-	-	LR横
14	表土	-	繩文土器	深鉢	底部	-	-	-	48	無節R横



写真図版 1 大日向Ⅱ遺跡出土遺物



調査区全景（東から）



工事立会前風景（西から）



調査区から雪谷川を眼下に望む（南西から）



調査前風景（東から）



調査風景（東から）

写真図版2 大日向Ⅱ遺跡調査風景（1）



SI01 断面（北東から）



SK01 断面（北東から）

写真図版 3 大日向Ⅱ遺跡調査風景（2）

II 試掘調查

調査件数は市町村支援含め71件で、発掘調査対応が17件、工事立会対応が2件、慎重工事が32件、工事着手可が31件であった（遺跡別によるカウントで調査件数と合致しない）。

また、当教育委員会では未周知の埋蔵文化財包蔵地の可能性がある場所について、「可能性あり」として事業者の協力のもと試掘調査の対象としている。全25件で遺跡の新規発見に至ったものは2件であった。

第3表 試掘調査一覧表（1）

第4表 試掘調査一覧表（2）

No.	調査県市	年月日	年月日	地名	地図名	測量範囲	結果
33	平成20年10月20日	森村 勝城山城跡	調査地周辺	森村 勝城跡 (30867113)	調査地	島州主兵川干田排水渠内	工事着手可
34	平成20年10月20日	森村利根沼山分水嶺化季季支解土削付	森村 勝城跡周辺	中村立道跡 (30867113)	調査地西平原町高瀬内	地質工事	
35	平成20年12月20日	船岡 津浦道整備事業	船岡 津浦道	下仁道跡 (30964028)	調査地	安藤郡	
36	平成21年2月26日～31日	船岡 津浦道整備事業	船岡 津浦道周辺土木部・陸上土木センター	船岡山城跡 (30964028)	調査地	津市大東町浜尻字下ノ原	工事着手可
37	平成20年6月20日～21日	河内町南端山城跡、西川森森沢井村	河内町南端山城跡	河内町南端山城跡 (30964028)	調査地	河内町南端山城跡内	地質工事
38	平成20年9月9日	小木川河川敷整備事業	小木川河川敷	夏尾川道跡 (30964123)	調査地	伊勢佐木町名子谷下保原内	地質工事
39	平成20年11月27日～12月1日	船岡 津浦道整備事業・柏岡道340号	船岡 津浦道周辺土木部大船渡土木センター	江底地盤跡 (30964123)	調査地	気賀町340号上布守屋山内～新郷地内	工事着手可
40	平成20年6月29日	船岡 津浦道整備事業・柏岡道340号	船岡 津浦道周辺土木部大船渡土木センター	河内町南端山城跡 (30964123)	調査地	氣賀町340号上布守屋山内～新郷地内	工事着手可
41	平成20年7月23日～31日	船岡 津浦道整備事業	船岡 津浦道周辺	河内町南端山城跡 (30964123)	調査地	大船渡市赤明	工事着手可
42	平成20年9月16日	船岡 津浦道整備事業	船岡 津浦道周辺	河内町南端山城跡 (30964123)	調査地	津市生石地区	地質工事
43	平成20年9月16日	船岡 津浦道整備事業	船岡 津浦道周辺	河内町南端山城跡 (30964123)	調査地	津市生石地区	地質工事
44	平成20年12月4日	「森山」山城 (津野原上森山)	津野原上森山	津野原上森山 (1536-002)	調査地	九十九里野町津生原21無鉄 篠内	工事着手可
45	平成20年12月25日	河内町南端山城跡	河内町南端山城跡	河内町南端山城跡 (30964123)	調査地	河内町南端山城跡内	地質工事

志町村支図

No.	調査日	参加者	調査地	地名	地図名	測量範囲	結果
46	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
47	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
48	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
49	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
50	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
51	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
52	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
53	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
54	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
55	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
56	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
57	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
58	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
59	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
60	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
61	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
62	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
63	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
64	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
65	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
66	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
67	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
68	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
69	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
70	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査
71	平成20年6月13日	佐伯謙二郎	朝日教育振興会	朝日教育振興会	朝日教育振興会 (3040-025)	九十九里野町大字朝日山東22無番140	地質調査



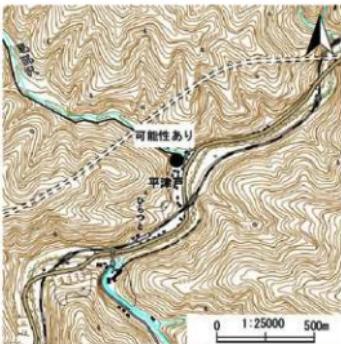
第6図 試掘調査位置図

1 国道106号宮古盛岡横断道路

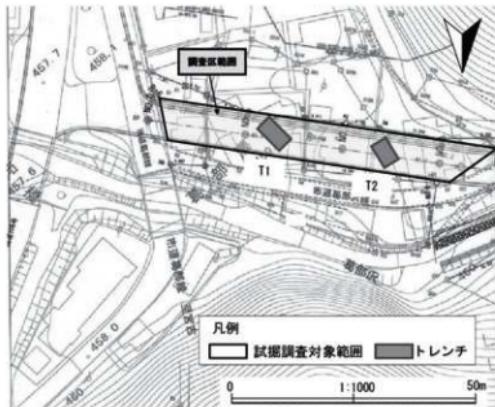
(平津戸～岩井・松草)

可能性あり

調査対象地は、宮古市役所から西へ約40.0km、閉伊川左岸に位置し標高は約460mを測る。調査対象地は、閉伊川により形成された狭小な河岸段丘面に位置しており、周辺の遺跡の分布状況を考慮すると未知の遺跡が存在する可能性があるため、試掘調査を実施したものである。調査区は住宅地として利用されていたため、その影響ができる限り少なく自然堆積層が残存していると考えられる場所を選び試掘調査を実施した。いずれのトレンチにおいても表土下は巨礫や崖錐性堆積物であり遺跡に関係する遺構や遺物は認められなかった。(工事着手可)



第7図 可能性あり位置図



第8図 可能性あり調査位置図



事業予定地



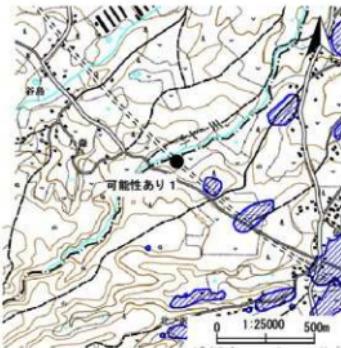
T1平面

写真図版4 可能性あり調査風景

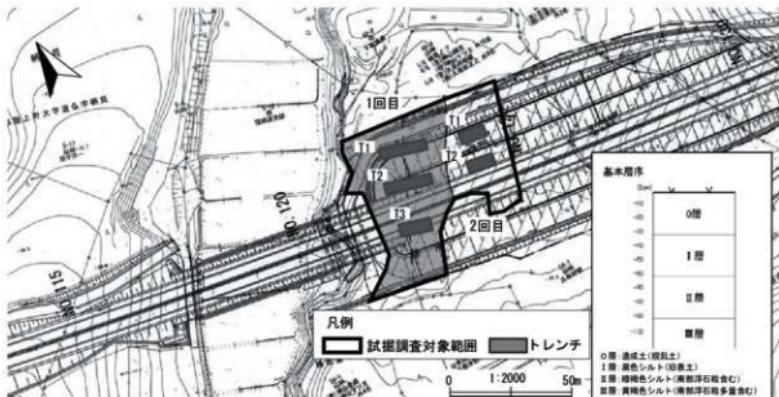
2・3 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

可能性あり1

調査対象地は、洋野町役場から北西へ約5.0km、東側山稜から東流し青森県境となる二十一川右岸の狭小な平坦面に立地し標高は80m前後である。当該地は、県境を挟んだ青森県側の柄貝遺跡（縄文）に隣接するため、岩手県側にも未知の遺跡が所在する可能性があり、試掘調査を実施した。昨年度ボックス部分を先行して試掘調査を行い、遺構及び遺物は確認されなかつた。今回試掘箇所はそのボックス部分南側に隣接する可能性あり1の未試掘部分である。調査は2回に分けて行った。その結果、いずれのトレンチにおいても植林等による改変を受けず、良好な状態で自然堆積層が残存していることが確認されたが、遺跡に関係する遺構及び遺物は確認されなかつた。（工事着手可）



第9図 可能性あり1位置図



第10図 可能性あり1 調査位置図



事業予定地



T1（1回目）断面

写真図版5 可能性あり1 調査風景

4・5 三陸沿岸道路（洋野階上道路）
 伝吉 I 遺跡（IF37-2396）及び隣接地
 伝吉 II 遺跡（IF37-2392）隣接地

【伝吉 I 遺跡及び隣接地】

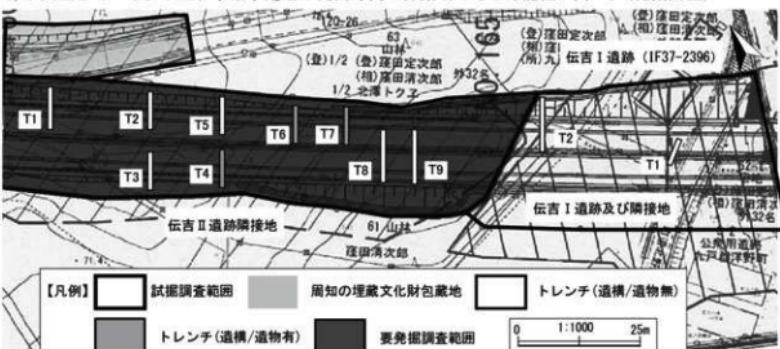
洋野町役場から北西に約4.5km、国道45号線西側の海岸段丘上に位置する縄文時代の遺跡である。事業予定地は遺跡西端及び隣接地にあたり、現況は宅地で標高は約65mである。調査の結果、T 1・2とも厚い黒褐色土の堆積を確認したが、遺構や遺物は確認できていない。事業予定地の旧地形は残存しているものの、遺跡の主体部ではないようである。（慎重工事）

【伝吉 II 遺跡隣接地】

洋野町役場から北西に約5.0km、国道45号線西側の海岸段丘上に位置する。現況は森林で標高は約77~87mの緩斜面地である。調査の結果、T 6で平面形が長楕円形の黒褐色の落ち込みを確認した。検出面の規模は長軸30m以上で、黒褐色土（II層）中から掘り込まれている。平面形から陥し穴状遺構と推定する。また、T 4・7から敲磨石や磨製石斧が出土している。以上、事業予定地は縄文時代の狩猟域である可能性が高い。（発掘調査）



第11図 伝吉 I・II 遺跡位置図



第12図 伝吉 I 遺跡及び隣接地・伝吉 II 遺跡隣接地調査位置図

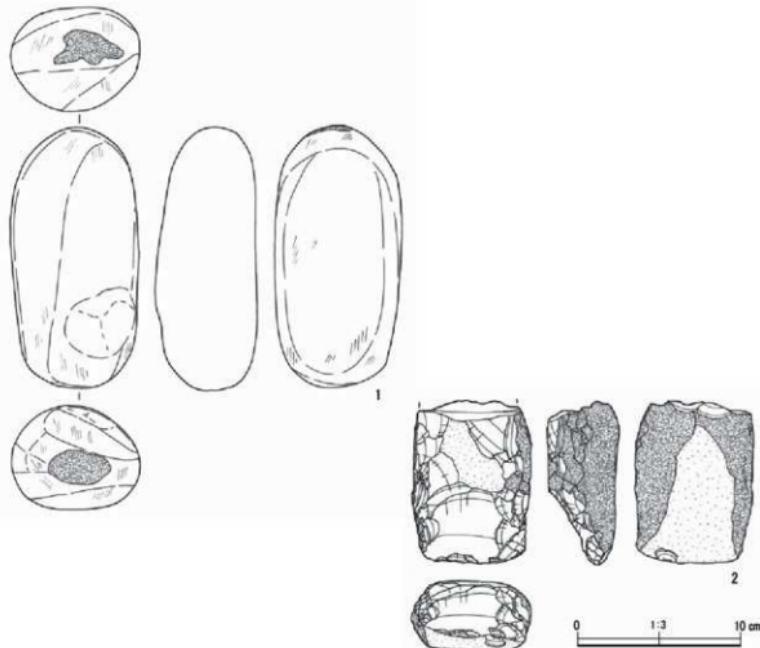


事業予定地



T6平面 陥し穴状遺構検出状況

写真図版6 伝吉 II 遺跡隣接地調査風景



第13図 伝吉Ⅱ遺跡隣接地出土遺物図

第5表 伝吉Ⅱ遺跡隣接地出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g.)				特 徴	
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量		
1	T4	表様	石器	敲打石	-	15.5	7.8	6.3	1,119.5	敲き、磨り	
2	T7	表様	石器	磨製石斧	未製品	(10.0)	6.8	4.3	446.7	敲き、基部欠損	

計測値の〔 〕は推定値。()が残存値を表す。



写真図版 7 伝吉Ⅱ遺跡隣接地出土遺物

6 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

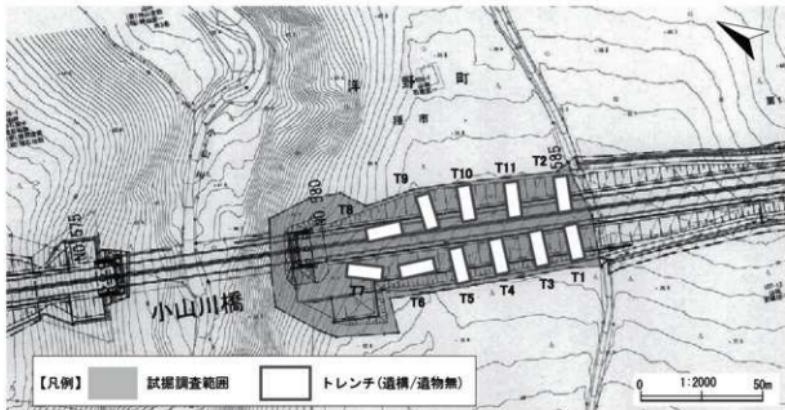
可能性あり24

調査対象地は、洋野町役場から南南東へ約7.0km、東流する小山川右岸の海岸段丘面に位置し標高は約75mを測る。当該地は、周辺地形と比較してもとりわけ平坦な地形をなしており、周辺の遺跡の分布状況から未知の遺跡が所在する可能性があり、試掘調査を実施することとなった。

調査の結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は認められなかった。調査区は過去の工事においてⅢ層褐色土上面まで削平を受けており、その上のⅡ層黒色土も擾乱を受けた土壤であることが確認された。調査区北側の斜面地では自然堆積層が残存していたが、遺構や遺物は確認されなかった。(工事着手可)



第14図 可能性あり24位置図



第15図 可能性あり24調査位置図



事業予定地



T3平面

写真図版8 可能性あり24調査風景

7・8 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

可能性あり

うえのまっかかいせき

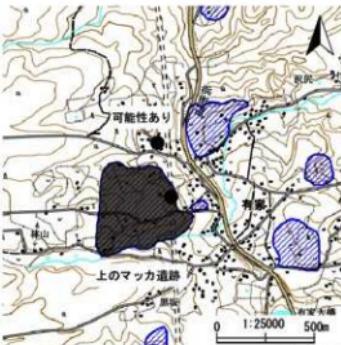
上のマッカ遺跡 (IF89-0340)

【可能性あり】

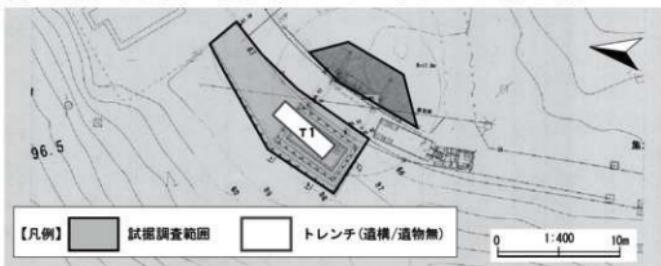
調査対象地は洋野町役場から南南東へ約11.0km、海岸段丘斜面に位置し、標高は約90mを測る。当該地は急傾斜地に形成された棚状の緩斜面地であり、人為的な改変を受けず自然地形が残存していること、周辺の遺跡の分布状況などから未知の遺跡が存在する可能性があった。調査の結果、地表から約-70～-80cm、黒ボク土中に十和田火山由来と思われる火山灰を少量確認し、良好な状態で自然堆積層が残存していることが確認されたが、遺構や遺物は認められなかった。IV層は基盤岩である花崗岩巨礫を含む。(工事着手可)

【上のマッカ遺跡】

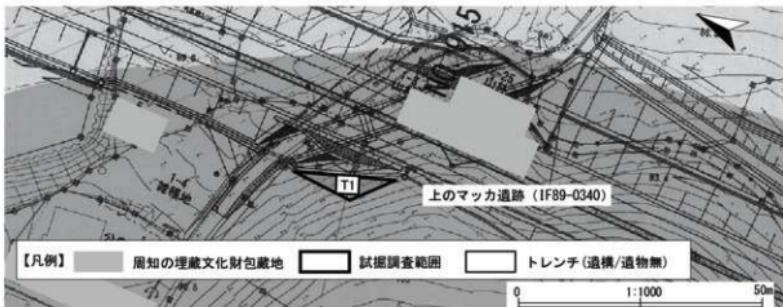
調査対象地は洋野町役場から南南東へ約12.0km、海岸段丘斜面に位置し、標高は約100mを測る。当該地は平成29年度に県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した調査区に隣接する急傾斜地である。調査の結果、自然堆積層は人為的な擾乱を受けず良好な状態で残存しているが、遺跡に関する遺物や遺構は確認されず、遺跡への影響は認められないと考えられる。(慎重工事)



第16図 可能性あり・上のマッカ遺跡位置図



第17図 可能性あり調査位置図



第18図 上のマッカ遺跡調査位置図

9・10・11 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

可能性あり48**可能性あり****可能性あり49****【可能性あり48】**

調査対象地は、洋野町役場から南南東へ約13.0km、開析が進む海岸段丘上に位置し、東流する沢と沢に挟まれた尾根部である。調査の結果、ほとんどのトレンチで表土直下が地山であり、遺構や遺物を包含する自然堆積層は認められなかった。過去の植林事業等により地形が改変された可能性がある。（工事着手可）

【可能性あり】

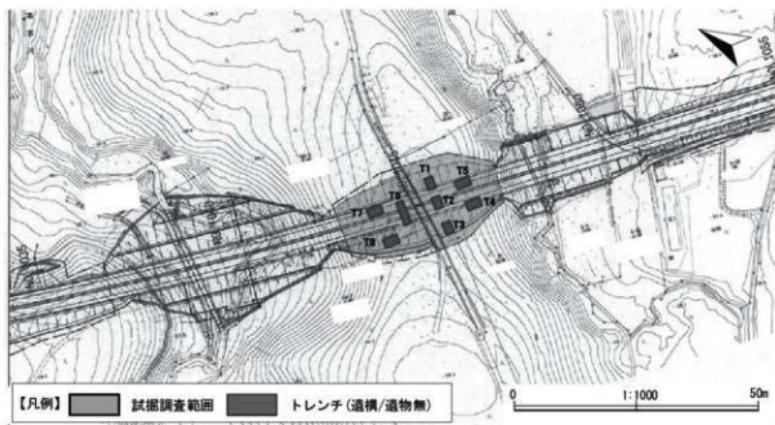
調査対象地は、洋野町役場から南南東へ約15.0km、高家川北側に位置し標高は約140mを測る。当該地は、開析が進む海岸段丘の南西向き緩斜面地であり、現況は畑地と草地である。T1・T2ともに地表付近は耕作等による擾乱がみられるが、その下には良好な状態で自然堆積層が残存している。T1は黒ボク土（Ⅱ層）が非常に厚く堆積しており、十和田火山由来の火山灰（To-Cu）が認められたが、遺構や遺物は確認されなかった。（工事着手可）

【可能性あり49】

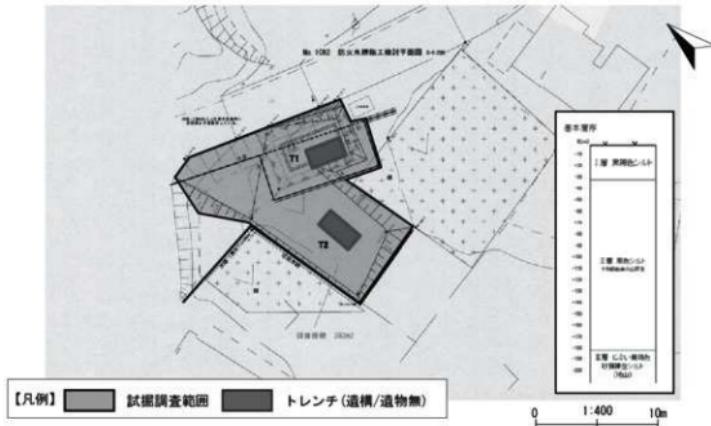
調査対象地は、洋野町役場から南南東へ約13.5km、洋野町と久慈市との境界である高家川北側の海岸段丘面に位置し、標高は約50mを測る。当該地は北側からみると平坦面と浅い谷であった。調査の結果、T1～T9は過去に人为的改変によって大きく削平を受け、表土直下は地山であり、T2では重機の爪痕が確認された。T10～T13は良好な状態で自然堆積層が残存していることが確認されたが、埋蔵文化財は認められなかった。Ⅱ層（黒ボク土）が厚く、層中に十和田火山由来の火山灰（To-Cu）がわずかではあるが確認された。T13では湧水もみられた。（工事着手可）



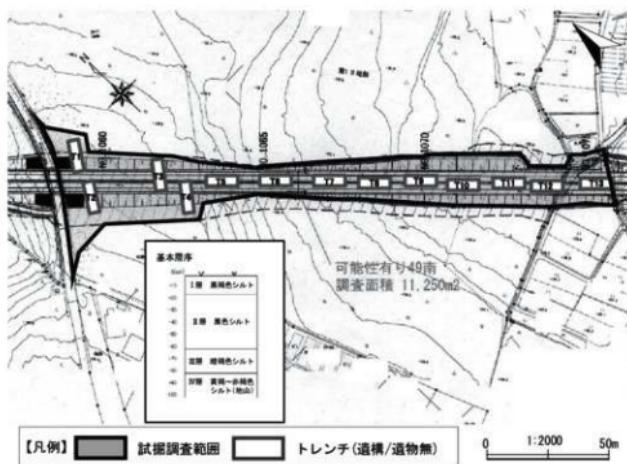
第19図 可能性あり・48・49位置図



第20図 可能性あり48調査位置図



第21図 可能性あり調査位置図



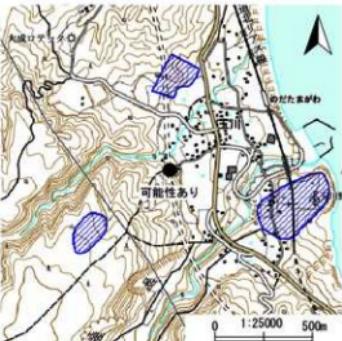
第22図 可能性あり49調査位置図

12 三陸沿岸道路（野田久慈道路）

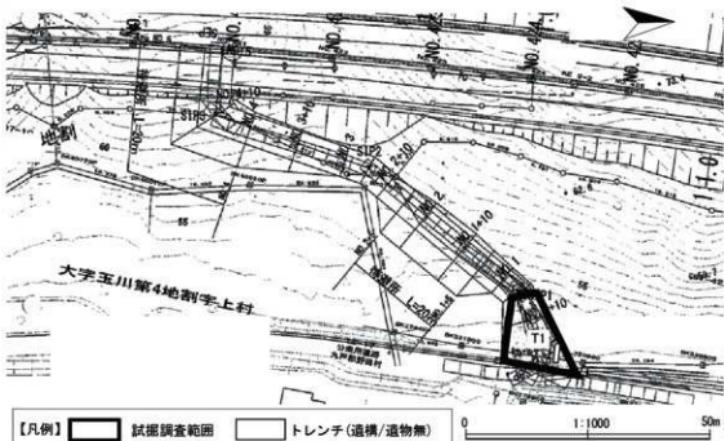
可能性あり

調査対象地は、三陸鉄道野田玉川駅から南西へ約0.9km、玉川によって形成された扇状地の周縁部にあたり、標高は約50~60mを測る。調査対象地は北東方向にのびる緩斜面地で、現況は荒地及び山林である。

調査の結果、急斜面から緩斜面に至る縁の部分に旧道が確認され、その窪みの両脇にその道路を造成した際の土が盛られていた。斜面に近い箇所は旧道造成の際にかなり削平されており、盛土の下部はすぐ地山が確認された。現道路に近い東側に緩やかに下がる箇所には旧表土が残っていたが、遺構、遺物とも確認できなかった。(工事着手可)



第23図 可能性あり位置図



第24図 可能性あり調査位置図

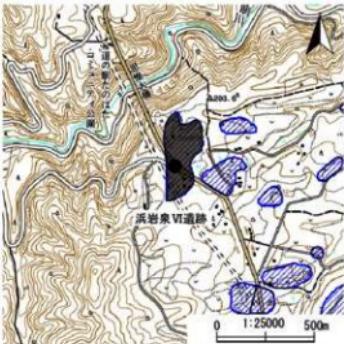
13 三陸沿岸道路（田野畑道路）

はまいかいわいすみらいせき

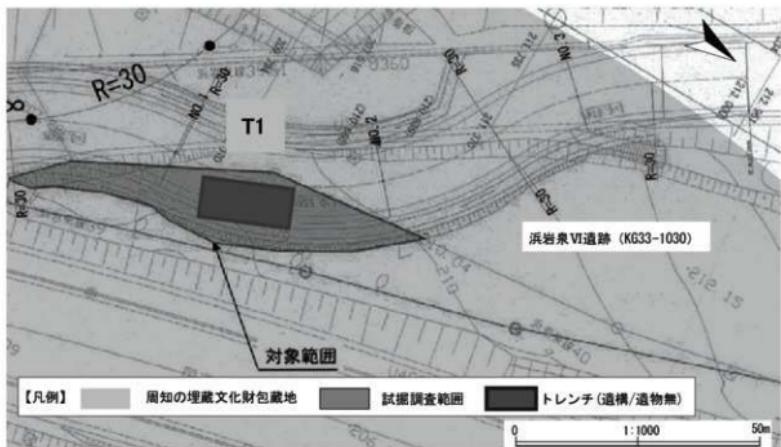
浜岩泉VI遺跡（KG33-1030）

調査対象地は、田野畑村役場から南南東へ約3.3km、国道45号線思惟大橋の南側、村道と国道45号との間の狭小地で、標高は約207mである。

調査の結果、地表から-50～-60cmほどまで過去の耕作や工事等による人為的な擾乱の影響を受けており、それ以下の深度では礫を含む地山が確認された。遺跡に関係する遺構や遺物を包含する自然堆積層は認められなかった。（慎重工事）



第25図 浜岩泉VI遺跡位置図



第26図 浜岩泉VI遺跡調査位置図



事業予定地



T1平面

写真図版9 浜岩泉VI遺跡調査風景

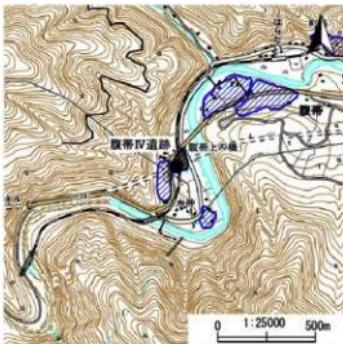
14 三陸沿岸道路（宮古箱石道路）

はらたいりやせき

腹帶IV遺跡（LG40-2030）

調査対象地は、宮古市役所新里総合事務所から南西へ約4.0km、閉伊川によって形成された低位河岸段丘上にあたり、標高は96m前後を測る。調査対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地である腹帶IV遺跡の南西部で、現況は荒地の緩斜面である。

調査の結果、T 1 では20cmほどの表土の下に岩ズリと見られる盛土が30cm入り、その下が地山である様子が観察された。T 2 は II 層盛土が T 1 よりも黒味がかったはいるものの、基本的な堆積状況は T 1 と同じである。この状況から、旧表土など造構、遺物が所在されると見られる層は過去の造成等ではば削平されており、埋蔵文化財が所在する可能性は低いものと考えられる。（慎重工事）



第27図 腹帶IV遺跡位置図



第28図 腹帶IV遺跡調査位置図



事業予定地



T1平面

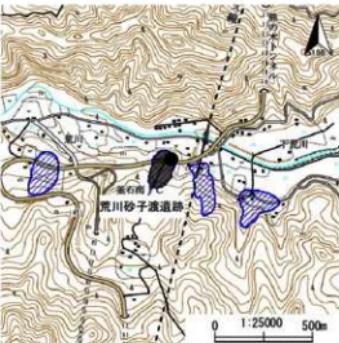
写真図版10 腹帶IV遺跡調査風景

15 三陸沿岸道路（吉浜釜石道路）

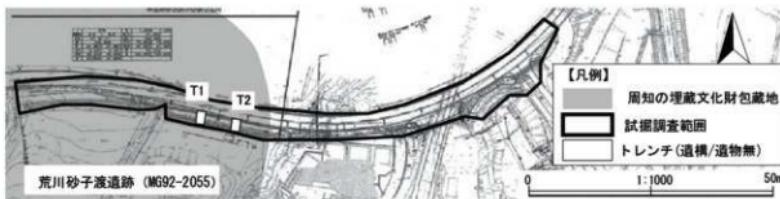
あらかわすなごわりいせき

荒川砂子渡遺跡（MG92-2055）

事業地は釜石市役所から南南西へ約10.0km、南側後背地の山稜から続く北向きの緩斜面地に位置する。荒川砂子渡遺跡の北端にあたり、標高は約30mを測る。調査の結果、地山を掘削切土して現45号が建設されており、事業地内に遺構・遺物を包含する自然堆積層が残存していないことが認められた。遺跡への影響はないものと判断される。（慎重工事）



第29図 荒川砂子渡遺跡位置図



第30図 荒川砂子渡遺跡調査位置図

16 岩手山麓農業水利事業

南部主幹線用水路（その2）工事

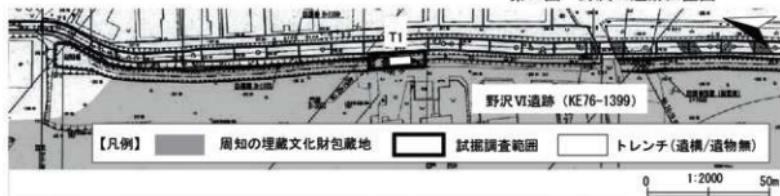
野沢VI遺跡（KE76-1399）

事業地予定地は滝沢市役所の北東約9.0kmに位置する。標高は約250mで現況は畠地である。

調査箇所は用水路改修工事のための仮設道路設置箇所の約10m²である。トレンチは1本設定した。掘削規模は幅約2m、長さ4m、深さ40cmで、黒褐色土が堆積する。上部約20cmは耕作土などによりしまりが悪く、雑草や根が密集する。遺構・遺物とも確認されなかった。（慎重工事）



第31図 野沢VI遺跡位置図



第32図 野沢VI遺跡調査位置図

17 土木事業により発生する残土置場

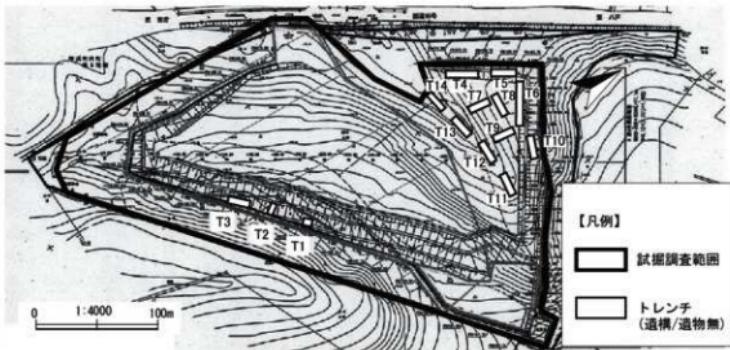
可能性あり

事業予定地は久慈市役所の北北東方向約8.4kmに位置する。更新世河岸段丘面上に主に約1.8万年前の降下火山灰が堆積している。標高は154~172mである。

基本土層は5層に区分した。対岸の段丘縁（今回伐採した範囲）は自然堆積層が分布し、一部のトレンチでレンズ状の軽石層（十和田火山碎屑物）を確認した。国道沿いの事業地（尾根、斜面、平場）ではII層擾乱層が広く分布し、斜面部でのみIV層漸移層が堆積する。T 1ではⅢ層黒色土が厚く、下部にレンズ状の軽石層が介在する。T 6ではI層、II層下位に褐色土と明黄褐色土の混合土が堆積する。T 9ではI層、II層下位にIV層暗褐色土が堆積する。本層には橙色の約5mmの軽石粒が混じる。T 1で確認した軽石層より下位のものである。全トレンチで遺構は検出されず、遺物は出土しない。沈砂池部分は前回試掘調査結果をもとに工事掘削を先行させ、今回調査時に遺構や遺物がないことを確認した。（工事着手可）



第33図 可能性あり位置図



第34図 可能性あり調査位置図



事業予定地



T6平面

写真図版11 可能性あり調査風景

18 地域連携道路整備事業

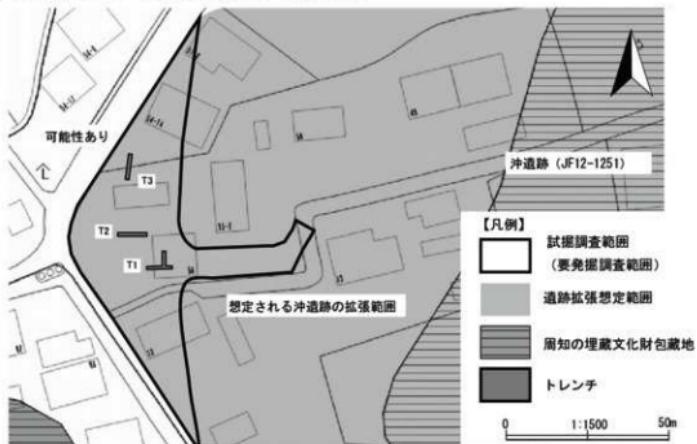
一般国道340号長興寺地区道路改良事業

可能性あり

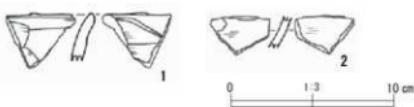
事業予定地は九戸村役場から北に約2.0kmの瀬月内川左岸の低位段丘上に位置する。現況は宅地及び畠地である。事業予定地には周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しないものの、同地形面には周知の埋蔵文化財包蔵地が複数確認されている。調査の結果、Ⅲ層褐色土上面でT1から堅穴建物跡と考えられる黒褐色土の落ち込みを確認した。プランが直線的であることや、同落ち込みから十和田a火山灰を確認したこと、事業対象地の畠から数点の土師器片を表面採集したことから、古代以降の遺構と考えられる。また、T1～3で時期不明の柱穴状のプランを複数確認した。(発掘調査)



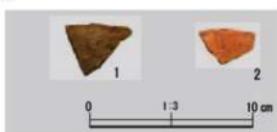
第35図 可能性あり位置図



第36図 可能性あり調査位置図



第37図 可能性あり出土遺物



写真図版12 可能性あり出土遺物

第6表 可能性あり出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	断面	部位	計測値(cm・g)				重量	特徴
						口径	底高	底部径	厚さ		
1	表採	—	土師器	長胴甕	口縁部	—	—	—	—	—	内外面ナデ、内面キズ？
2	表採	—	土師器	長胴甕	体部	—	—	—	—	—	内外面ナデ

19 主要地方道二戸田子線小平地区歩道設置工事

門松遺跡 (IE98-1271) 隣接地

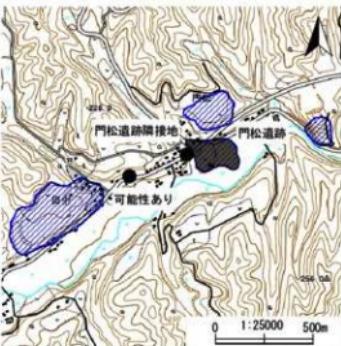
可能性あり

【門松遺跡隣接地】

門松遺跡はIGRいわて銀河鉄道斗米駅から西に約5.0km、馬淵川支流の十文字川によって形成された河岸段丘上にある。2001年に中山間整備事業に伴い県埋蔵文化財センターによって発掘調査されている。現地標高は約150mで事業地の現況は県道・宅地・畠地である。調査の結果、過去の県道建設時に大きく造成されていることが判明した。1.5mの深度まで造成土が重なり、わずかに自然堆積と思われる黒褐色土の層が残存していたが、遺構・遺物とも確認されなかった。

【可能性あり】

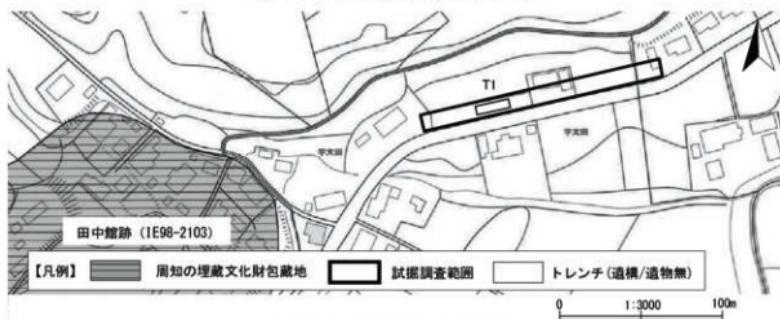
事業地は約400m東に所在する門松遺跡と類似した地形である。調査の結果、過去の県道建設時に大きく造成されていることが判明した。1m程度の深度まで造成土が広がり、その直下は層界が明瞭な状態で黄褐色シルトの地山が表れる。遺構・遺物とも確認されなかった。(共に工事着手可)



第38図 門松遺跡・可能性あり位置図



第39図 門松遺跡隣接地調査位置図



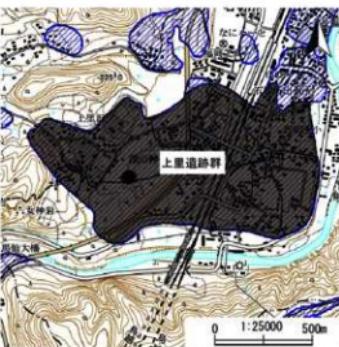
第40図 可能性あり調査位置図

20 畑地帯総合整備事業（担い手型育成）

上里遺跡群 (JE09-1273)

調査対象地は、二戸市役所から南西へ約3.0km、馬淵川によって開析された扇状地上に位置し、標高は144m前後を測る。調査対象地は北東方向にのびる緩斜面地で、現況は道路及び畠地である。

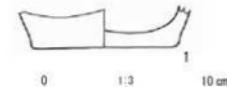
T 1 は擾乱から土器片が2点出土しているが、その下層の暗褐色土（旧表土）からは出土しなかった。T 2 地表面から80cmほどは表土及び擾乱層であるが、その下層は白色がかった火山性のものとみられる層が厚く堆積する。今から1万5千年ほど前の八戸火碎流と見られる。T 3 は層厚は若干異なるものの層序はT 1 に準ずる。T 2・3 からは遺構・遺物は確認されなかった。（慎重工事）



第41図 上里遺跡群位置図



第42図 上里遺跡群調査位置図



第43図 上里遺跡群出土遺物図



写真図版13 上里遺跡群出土遺物

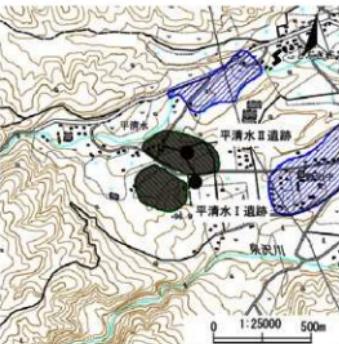
第7表 上里遺跡群出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)				特徴
						口径 幅	深さ 高 横	底部径 厚さ	重量	
1	擾乱	—	縄文土器	深鉢	底部	—	—	90	—	無文

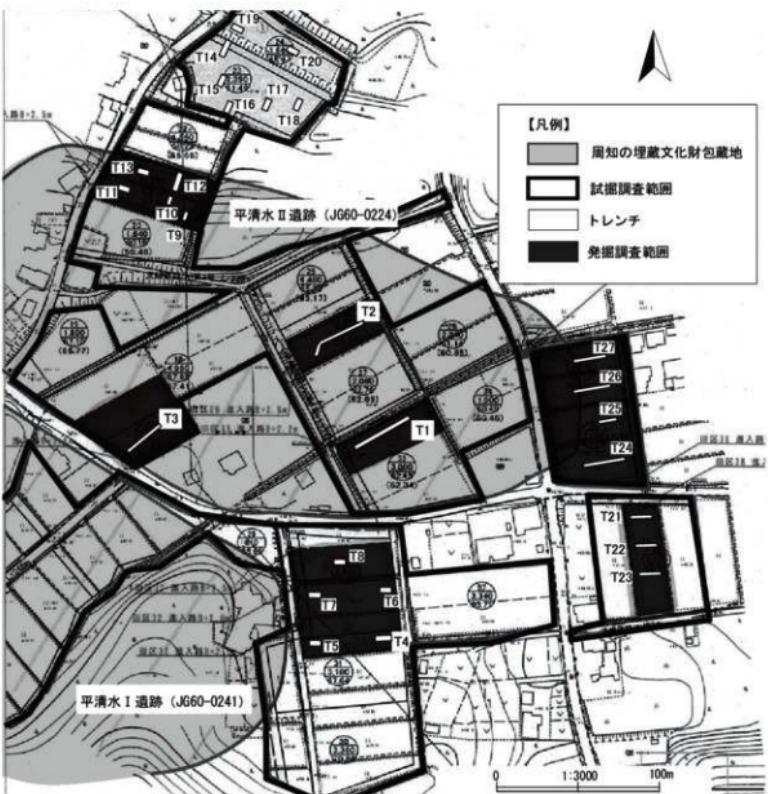
21 農業競争力強化基盤整備事業

ひらしみず1 いせき
平清水I遺跡 (JG60-0241) 及び隣接地ひらしみず2 いせき
平清水II遺跡 (JG60-0224) 及び隣接地

事業予定地は野田村役場の南西方向約2.0kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された低位の河岸段丘面上にあり、段丘面形成後の風化・侵食作用で部分的に小谷が刻まれている。標高は49m~68mである。本土層は5層に区分した。過去のほ場整備工事で本来の土層が失われているが、自然堆積層の下部層を残存させているところが多い。トレンチは27本設定した。このうちT2、3、8、25、27で遺構を検出した。T2ではI層表土直下（約20cm下位）で縄文土器が出土した。周辺には焼土が確認され、検出状況から竪穴建



第44図 平清水I・II遺跡位置図

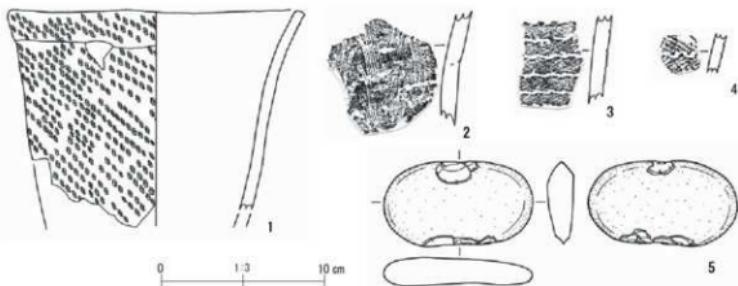


第45図 平清水I・II遺跡及び隣接地調査位置図

物跡と推測される。T27ではトレンチ内断面Ⅲ層旧表土中で焼土を検出したが、Ⅲ層内での検出層位は識別できなかった。T8では陥し穴状遺構を検出した。長さ12m以上幅約0.4mの大きさである。遺構の性格から同様の遺構が周辺に広がると考えられる。遺物は、竪穴建物跡埋土のはかI～II（盛土）層内で出土する。調査の結果、本調査範囲は縄文時代の集落跡であることが判明した。特に高い田面と現水路周辺の緩斜面地に分布すると推測される。（共に発掘調査）



写真図版14 平清水II遺跡及び隣接地調査風景



第46図 平清水II遺跡及び隣接地出土遺物

第8表 平清水II遺跡及び隣接地出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特 徴
						口径	底高	底部厚	重量	
1	T2	表土下	縄文土器	深鉢	口縁部～胴部	18.2	(13.4)	—	—	複節 RLR 横
2	T2	I	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	木目状撓糸文
3	T2	I	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	結節文
4	T2	SI埋土	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	結節文
5	T2	I	石器	石錐	—	5.2	8.7	1.7	1241	

計測値の〔 〕は推定値、() が残存値を表す。



写真図版15 平清水II遺跡及び隣接地出土遺物

22 第一北上中部工業用水道上水道整備事業

ふたごじょうあと
二子城跡 (ME46-2214)

二子城跡は北上市役所の北東側へ約6.0km、北上川右岸の河岸段丘面に位置し、標高は約80mを測る。現況は山林、工場跡地及び碎石敷の駐車場である。本遺跡は過去に北上市や県埋蔵文化財センターにより発掘調査が行われている。

〈A区〉遺構は土坑と柱穴（T25・T27）がみられ、縄文時代から中世のものと考えられる。遺物は黒曜石剥片（T14）、縄文土器（T16）を確認した。全体として地表～検出面までの深度は概ね-20～-40cmであり、IV層（地山）上面で検出した。

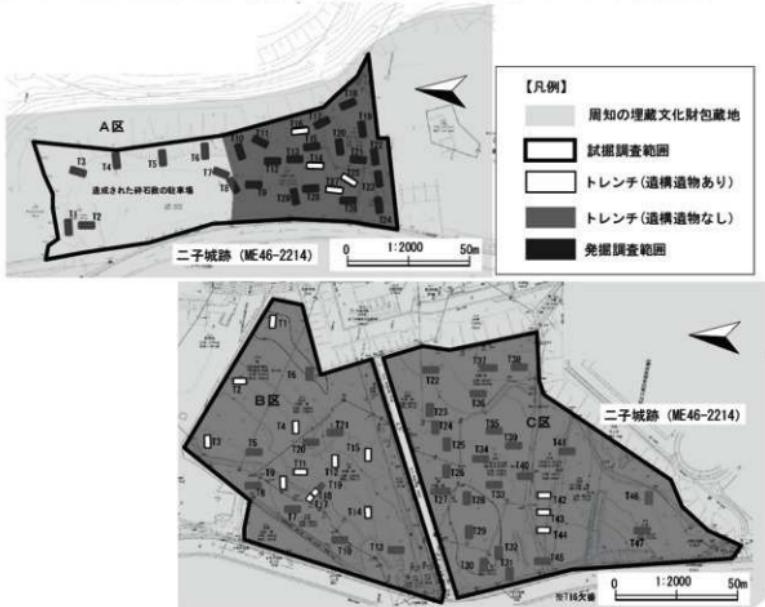
〈B区〉北側では埋土に土器片を含む柱穴（T1・T

4・T15)、中央及び南側では、焼土遺構及び竪穴建物状遺構(T12)と溝跡(T2・T3)を検出した。さらに、T9、T17~18から堀跡とみられるプランを確認した。

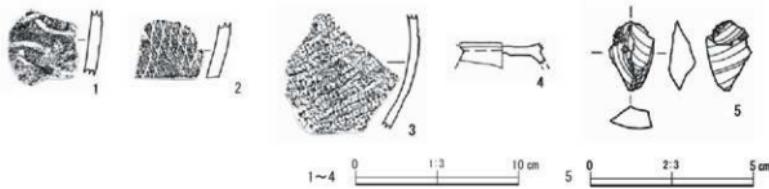
＜C区＞北側（T22～T40）は表土層が薄く-10cm程度の掘削で明黄褐色の縞りの強い地山が確認されることから過去に地形の変更、削平を受けているが時期は不明である。中央部では堅穴建物状の遺構（T42・T43）、土坑（T44）、柱穴（T43・T44）をそれぞれ複数基、陥し穴状の遺構（T46）が検出された。また、遺物は縄文時代晩期～弥生時代とみられる土器等が出土した。（発掘調査）



第47図 二子城跡位置図



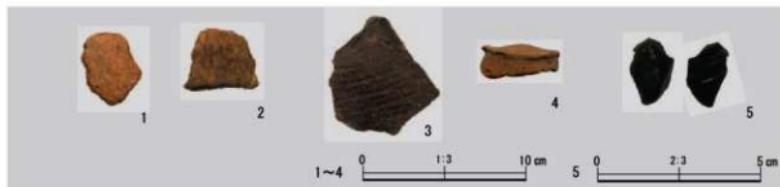
第48図 二子城跡調査位置図



第49図 二子城跡出土遺物図

第9表 二子城跡出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特 徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1	B区T19	Ⅲ	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	浅い沈線文
2	B区T1柱穴	—	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	網目状撚糸文
3	B区T1柱穴	—	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR横、撚糸LR 弥生か
4	B区T20 SI	埋土	縄文土器	台付鉢	台部	—	—	—	—	
5	A区T14	—	石器	剥片	—	2.1	1.4	0.8	1.6	黒曜石



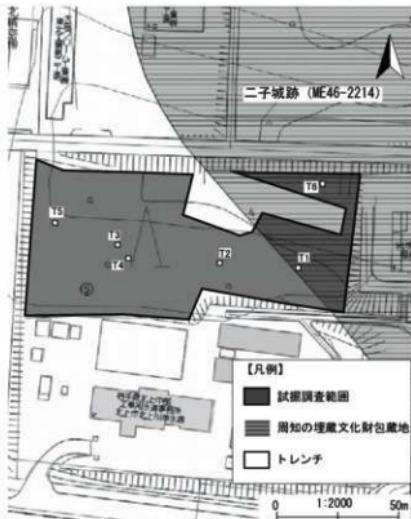
写真図版16 二子城跡出土遺物

23 第一北上中部工業用水道沈殿池増設工事

二子城跡 (ME46-2214) 及び隣接地

調査区の近接地（東側）では縄文時代前期及び晩期～弥生時代の居住区域や中世和賀氏の時期と考えられる遺構が確認されている（『物見崎遺跡・監物館跡発掘調査報告書』1990岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第157号）。事業地の現況は原野で標高は約87～95mと調査区の南西側から北東側へ傾斜している。

調査の結果、いずれのトレンチからも遺構及び遺物は確認されなかった。T6の堆積状況から北側低位地は沢の一部と考えられ、T1～T5の堆積状況から沢へと傾斜する旧地形の多くは土地利用のために削平を受けたと考える。（慎重工事）



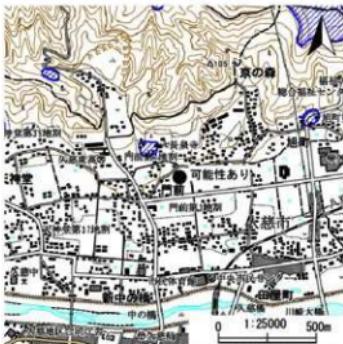
第50図 二子城跡及び隣接地調査位置図

24 久慈署庁舎等整備事業（久慈警察署等庁舎新築）

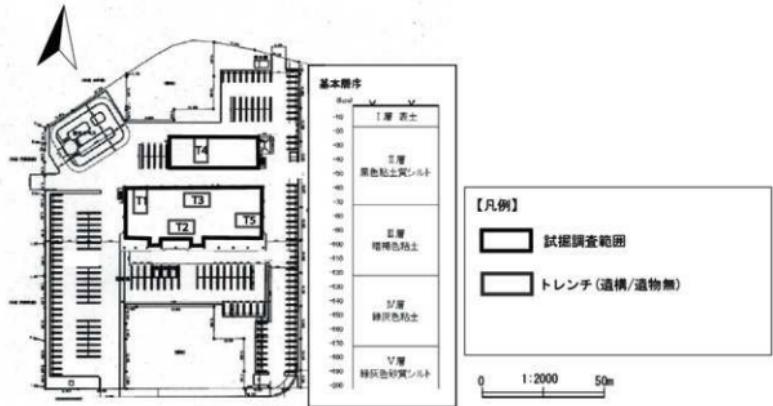
可能性あり

調査対象地は、久慈市役所から北西へ約1.4km、久慈川によって形成された沖積地に位置し、標高は約8mを測る。数年前まで水田として利用された後、耕作放棄地となり、ガマ等の水生植物や希少植物が事業地内に繁茂している。当該地は平坦でかつ南向きに開けた地形であること、門前Ⅰ遺跡に接していることから、遺跡範囲の拡大や未知の遺跡が所在する可能性があるため試掘調査を実施することとなった。

調査の結果、遺跡に関する遺構や遺物は認められなかった。Ⅰ層～Ⅱ層は耕作による搅乱が見受けられたが、Ⅲ層以下は良好な状態で自然堆積層が残存していた。Ⅲ層～Ⅳ層はグライ化した粘土、V層は砂質シルトで均質であった。（工事着手可）



第51図 可能性あり位置図



第52図 可能性あり調査位置図



事業予定地



T5平面

写真図版17 可能性あり調査風景

25・26 一級河川岩崎川筋上矢次地区河川改修

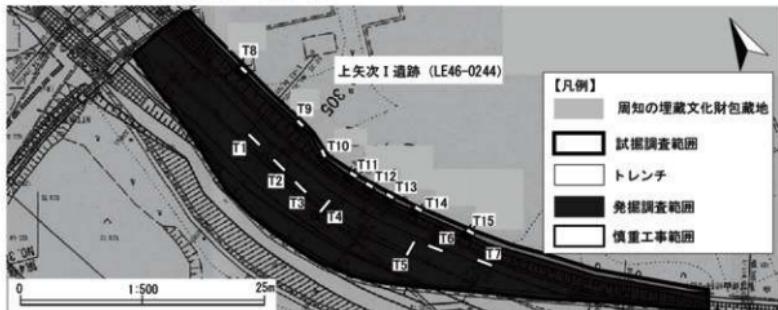
(その9)工事

上矢次I遺跡(LE46-0244)

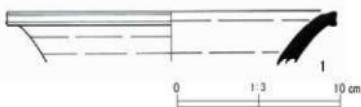
調査対象地は、矢巾町役場から北北西へ約1.7km、岩崎川によって形成された旧河道及び自然堤防上に立地する。標高は122m前後を測る。調査対象地はほぼ平地であるが北側で標高が異なり、北側が南側に比べて一段高い。現況は原野である。北側の一段高い面にあるT1～T4の基本層はI層が搅乱層、II層が暗褐色のグライ化した土に砂が混じる層、III層が砂疊層、IV層が灰色の粘土層で若干砂が混じる。南側の一段低い面に設置したT5、T6のIV層にあたる部分は旧表土であり、T5では確実に遺構とみられるものは確認されなかったものの、そのまま西隣に設置したT6ではV層の粘土層とIV層の黒褐色土の間が直線で分かれるのが確認された。この箇所の黒褐色土中から須恵器が出土した。遺構の検出状況や出土遺物から見て竪穴建物跡の一部である可能性が高い。T6から3mほど離れた地点に設置したT7はT1など高い地点で確認されたものと同じような層序が確認された。調査範囲のほとんどは旧河道であった可能性が高いものの、一部に過去に短期間生活した痕跡が残っている箇所が存在することが明らかになった。(発掘調査と慎重工事)



第53図 上矢次I遺跡位置図



第54図 上矢次I遺跡調査位置図



第55図 上矢次I遺跡出土遺物図



写真図版18 上矢次I遺跡出土遺物

第10表 上矢次I遺跡出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)			特徴
						口径	器高	底部径	
1 T6	IV	須恵器	蓋	口縁部	[200]	—	—	—	内外面ナデ

計測値の〔 〕は推定値、()が残存値を表す。

27 農地整備事業（経営体育成型）

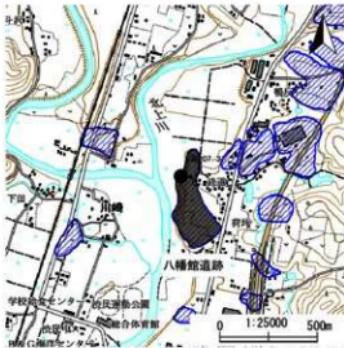
はちまんじだいせき

八幡館遺跡（KE57-1101）

本遺跡は盛岡市役所玉山出張所の北西方向約7.2kmに位置する。新生代第四紀更新世の堆積岩を基盤とする、北上川左岸の段丘面にあり、河岸低地より約5m高い。事業地周辺の標高は約188mである。基本土層は6層に区分した。VI層地山直上には黄白色火山灰薄層（十和田a火山灰？）を介在せることがある。V層は段丘崖からの崩落土とみられる。III層は本来低い地形面にあったとみられT1で観察できる。T1ではVI層最上部にブロック状（平面）に堆積する黄白色火山灰層を確認した。上位の段丘面での土層堆積状況から十和田a火山灰層と考えられる。T1～T3のVI層地山直上にはV層崩落土が堆積する。トレンチ内川側断面では層厚が薄くなること、土層の構成物から段丘崖からの崩落土と考えられる。いずれのトレンチからも遺構は検出されず、遺物も出土しない。調査結果からは現農道下には堀跡等が観察されないことから、城館跡に伴う遺構は構築されていないと判断した。（慎重工事）



第57図 八幡館遺跡調査位置図



第56図 八幡館遺跡位置図



写真図版19 八幡館遺跡調査風景

28 防災安全事業（交通安全）

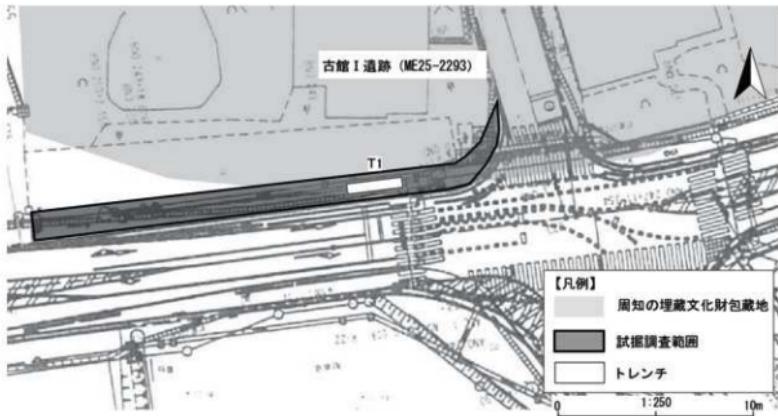
ふるだて なかで まんちょうめだて いせき
古館 I (中館・万丁目館) 遺跡 (ME25-2293)

古館 I 遺跡は、花巻市役所から南西に約2.4km、豊沢川の左岸から続く中位段丘面にある中・近世の城館跡である。現地標高は約90mで、現況は道路・宅地となっており、事業地の大部分は花壇である。

調査の結果、調査区の大部分は過去の道路・歩道建設時に造成されていることが判明した。礎を含む造成土中には現代プラスチック等も見られる。また、約100cmの深さで調査区に平行して水道管が埋設されていた。遺構・遺物は確認されなかった。交通量の多い交差点であることや周辺の開発が進んでいることから設定したトレンチは1箇所となつたが、埋蔵文化財への影響はないと判断した。(慎重工事)



第58図 古館 I 遺跡位置図



第59図 古館 I 遺跡調査位置図



事業予定地



T1平面

写真図版20 古館 I 遺跡調査風景

29 経営体育基盤整備事業

かみすまごいせき
上須々孫遺跡 (ME63-1286)

ほんこうのいせき

本郷野遺跡 (ME63-1252)

ほんごうのいせき

八幡館遺跡 (ME63-0194) 及び隣接地

3 遺跡は北上市役所和賀庁舎から南東に約2.0~3.3kmの扇状地形をなす金ヶ崎段丘縁の平坦面に位置する。現況は水田及び道路で現地標高は約126~131mである。

【上須々孫遺跡】

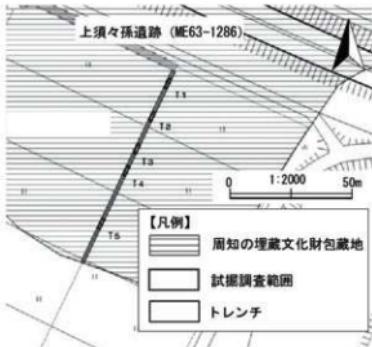
同遺跡は縄文時代中期の集落遺跡として過去に秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われている((財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1992『林崎館遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第163集)。調査の結果、いずれのトレンチも表土下に黄褐色土を確認したことから、旧地形は削平を受けたと考える。遺構及び遺物は確認されなかった。(慎重工事)

【本郷野遺跡】

同遺跡は縄文時代中期及び平安時代の集落遺跡として過去に秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われている((財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1992『本郷遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第164集)。調査の結果、両トレンチとも表土下に厚い盛土層を確認した。旧地形面の確認には至らなかったが、工事に係る最大掘削深度は盛土内に収まることを確認した。(慎重工事)

【八幡館遺跡及び隣接地】

同遺跡は平安時代の集落遺跡及び中世の館跡として過去に秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われている((財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1991『月館跡・八幡館跡遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第149集)。調査の結果、T3から平面規模約1m×0.7mの梢円形の黒褐色土の落ち込みを検出した。検出面からの深さは約30cmで出土遺物がないため、詳細は不明であるが、規模・形態から陥し穴の下半部とも推測される。他のトレンチから遺構及び遺物は確認されなかった。(工事立会)



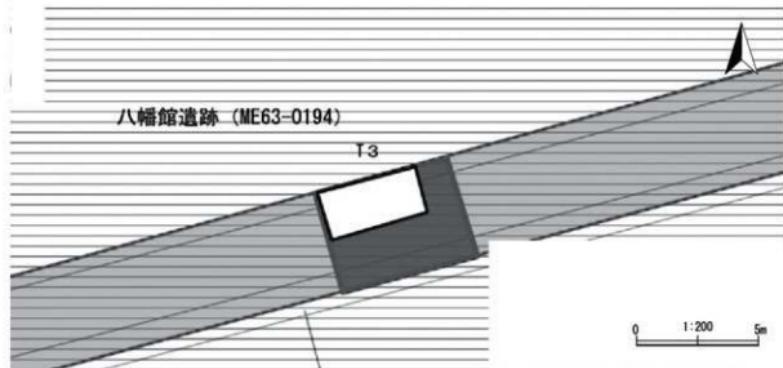
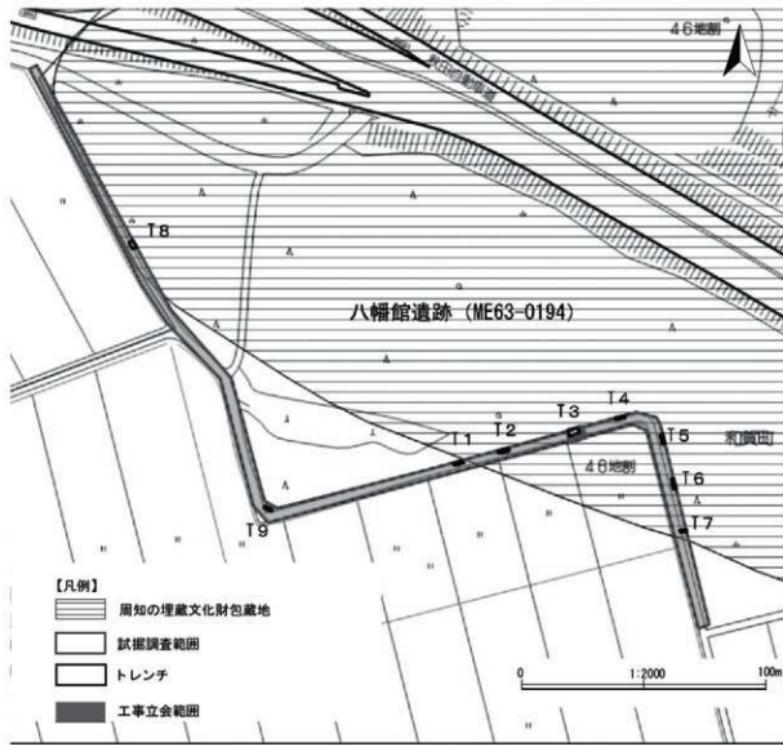
第61図 上須々孫遺跡調査位置図



第60図 八幡館遺跡他位置図



第62図 本郷野遺跡調査位置図

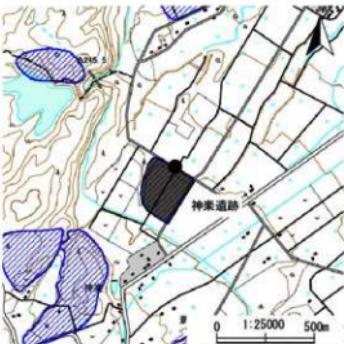


第63図 八幡館遺跡及び隣接地調査位置図

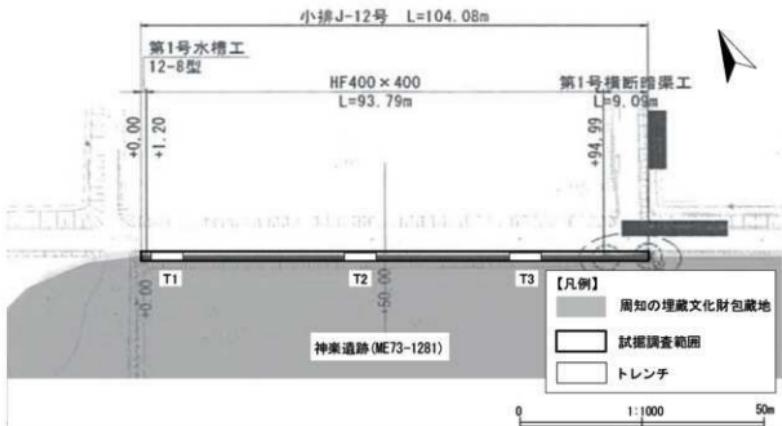
30 経営体育成基盤整備事業

神楽遺跡 (ME73-1281)

神楽遺跡は、JR東日本北上線藤根駅から南西に約6.1km、和賀川と夏油川に挟まれ、西側の山稜裾野に広がる丘陵地上に立地する绳文時代の遺跡で、種別は散布地となっている。現地標高は約195mで、現況は水田として利用されている。調査区に試掘トレンチを3箇所設定し、重機で掘り下げるのち、遺構の有無の確認を行った。調査の結果、Ⅱ層盛土からゴムチューブ、ブルーシート片、木杭等の現代廃棄物が見つかり、調査区の大部分は、過去のは場整備、道路整備によって搅乱されていることが確認された。(慎重工事)



第64図 神楽遺跡位置図



第65図 神楽遺跡調査位置図



事業予定地



T3断面

写真図版21 神楽遺跡調査風景

31 経営体育成基盤整備事業

はなねうえいせき

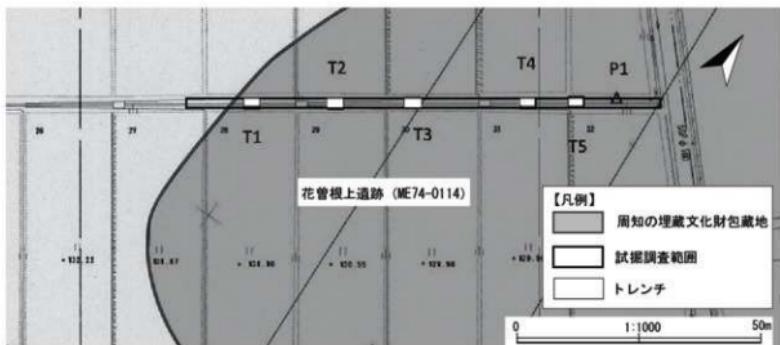
花曾根上遺跡 (ME74-0114)

事業予定地は北上市役所の西方向約7.3kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された河岸段丘上に立地し、段丘礫層上には奥羽山脈に給源を持つ黄褐色火山灰質土が堆積している。標高は約128~129mで、山体側（南西）から夏油川に向かって緩く傾斜する。平成29年度の本事業に伴う発掘調査では、縄文時代~平安時代の堅穴建物跡などの遺構が検出されている。

掘削はフリューム管に更新する小排水路部分で、場所により自然堆積土を確認するために現排水路法面部分でも行った。法面での基本土層はI層表土、II層盛土、III層旧表土、IV層地山である。いずれのトレンチでも現排水路底は法面で観察された自然堆積層のIV層にあたる。市道脇の現水路部分では掘削をせず現排水路底を観察し、IV層地山が露出していることを確認した。調査の結果、現排水路工事の際に約1m以上掘削されていることが判明し、埋蔵文化財は確認されなかった。(慎重工事)



第66図 花曾根上遺跡位置図



第67図 花曾根上遺跡調査位置図



事業予定地



T1断面

写真図版22 花曾根上遺跡調査風景

32・33 経営体育成基盤整備事業

すすきいせき
煤孫遺跡 (ME63-2318)

はうりょうのいせき

法量野 I 遺跡 (ME63-2313)

ほうりょうのいせき

法量野 II 遺跡 (ME63-2351)

事業予定地は北上市役所の西方向約8.7kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された河岸段丘上に立地し、段丘疊層上には奥羽山脈に給源を持つ明黄褐色火山灰質土が堆積している。現況は水田・畠地として利用されている。事業は経営体育成基盤事業の一環で、水田の農道脇に小排水溝を設置するものである。

【煤孫遺跡】

標高は約126mである。本事業地北側に隣接する東北自動車道秋田道建設に伴う発掘調査では、縄文時代前期末葉~中期初頭の竪穴建物跡、古代の竪穴建物跡などが確認されている。掘削はフリューム管に更新する土側溝部分で予定していたが、水流があることから土側溝脇の平坦面とそれに続く上段田面法面で行った。

法面での基本土層はI層盛土、II層地山（明黄褐色火山灰質土～砂礫）で、過去の発掘調査などで確認された、土地改変前土層のA層耕作土（暗褐色土）、B層旧表土（黒褐色土）、C層暗褐色土、D層地山（明褐色土～砂礫層）のうちA～C層とD層の一部が切土された後に盛土されていることが判明した。法面尻と同レベルの土側溝脇平坦面での土層が段丘疊層付近の火山灰質砂礫層であることから、土側溝内は現世の泥下位に火山灰質砂礫層が堆積することが容易に推測できた。いずれのトレーンチでも土側溝脇平坦面はII層が分布し、遺構は検出されなかった。遺物はT3のI層盛土内から縄文土器片が3片出土した。

調査の結果、本来的には本事業予定地にも遺構が広がっていた可能性があるが、大きく地形改変され埋蔵文化財は剥失していることが判明した。

【法量野 I 遺跡】

縄文時代の遺跡で種別は散布地となっている。現地標高は約160mである。今回の事業は概ね平成29年度にバイオライン埋設に伴って試掘調査を実施した箇所と重複している。そのため、未調査の延長部のみ試掘調査を実施した。

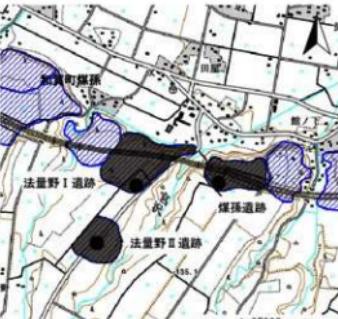
調査の結果、調査区の大部分は、過去のは場整備によって搅乱されていることが確認された。T1で確認された黒褐色土は旧耕作土が残存していると考えられるが、遺構・遺物を確認できなかった。

【法量野 II 遺跡】

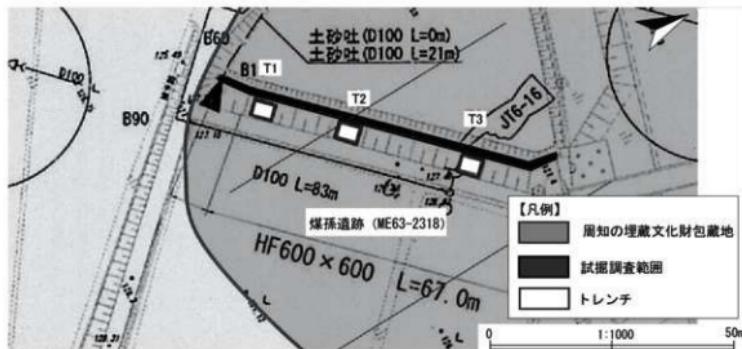
縄文時代・中世の遺跡で種別は散布地となっている。現地標高は約160mである。今回の事業は平成29年度にバイオライン埋設に伴って試掘調査を実施した箇所の反対側の脇に設置される。そのため、昨年度の試掘結果を踏まえながら、反対側農道脇に試掘トレーンチを2箇所設定した。

調査の結果、調査区の大部分は、過去のは場整備によって搅乱され、明黄褐色土及び暗褐色土の混合盛土が見られ、地山を大きく削平されていることが確認された。遺構・遺物は確認できなかった。

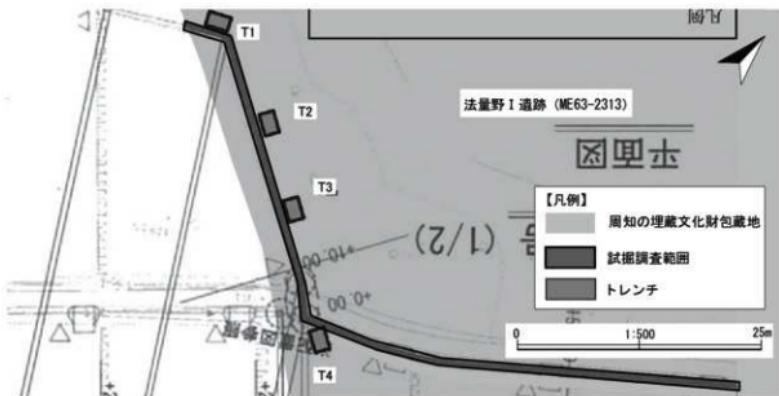
(いずれも填工事)



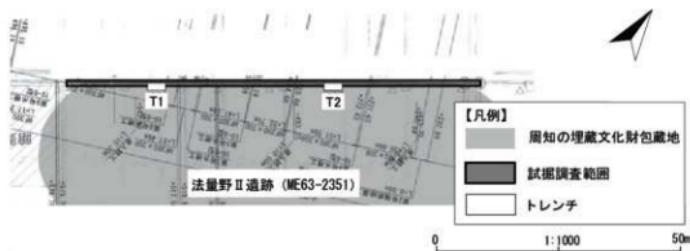
第68図 煤孫・法量野 I・II 遺跡位置図



第69図 煤孫遺跡調査位置図



第70図 法量野Ⅰ遺跡調査位置図



第71図 法量野Ⅱ遺跡調査位置図

34・35 中山間地域総合整備事業

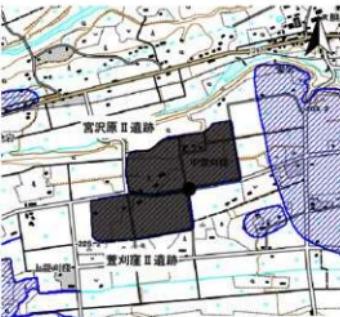
かやかりくほりせいき
萱刈窪Ⅱ遺跡 (NE22-2353)みやざわほら2せいき
宮沢原Ⅱ遺跡 (NE22-2316)

調査対象地は奥州市役所から西南西へ約14km、胆沢扇状地の中位段丘面に位置し、標高は約200mを測る。道路を境に萱刈窪Ⅱ遺跡と宮沢原Ⅱ遺跡とが隣接する。現況は水田である。

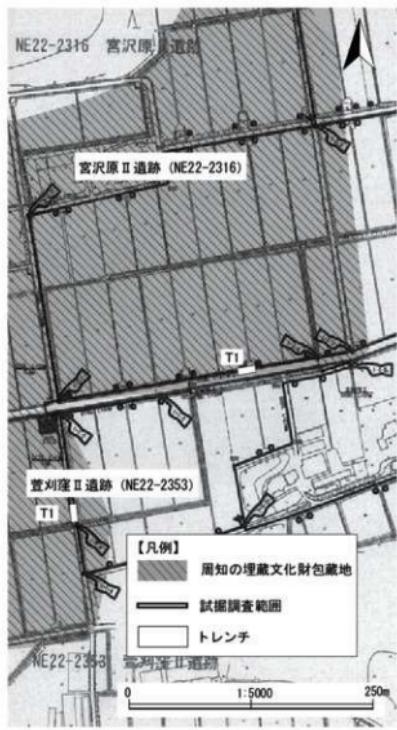
調査では、各遺跡にトレーナチを1箇所ずつ設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。

その結果、工事箇所は既存の道路の肩の部分で盛土であり、遺跡には影響を与えないことが分かった。

また、他の地点についても農道の肩部、盛土内で工事が完結されると確認がとれたため、掘削は行わず、現地確認のみにとどめた。(共に慎重工事)



第72図 宮沢原Ⅱ・萱刈窪Ⅱ遺跡位置図



萱刈窪Ⅱ遺跡 事業予定地



宮沢原Ⅱ遺跡 事業予定地

写真図版23 宮沢原Ⅱ・萱刈窪Ⅱ遺跡調査風景

第73図 宮沢原Ⅱ・萱刈窪Ⅱ遺跡調査位置図

36・37 中山間地域総合整備事業

みやざわはならりさわいき
宮沢原成沢遺跡 (NE23-2204)

みやざわはらいせき
宮沢原遺跡 (遺跡群) (NE23-1154)

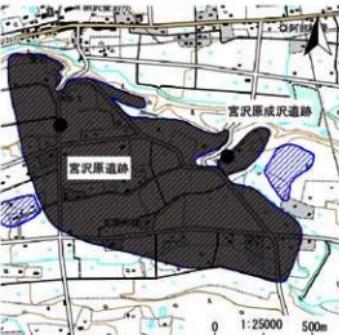
調査対象地は奥州市役所から西南西へ約14.0km、胆沢扇状地の中位段丘面に位置し、標高は約180~200mを測る。宮沢原成沢遺跡と宮沢原遺跡が接しており、現況は水田である。

【宮沢原成沢遺跡】

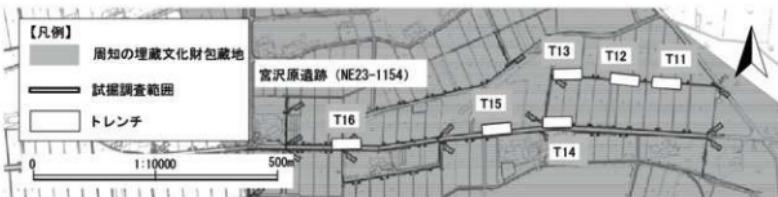
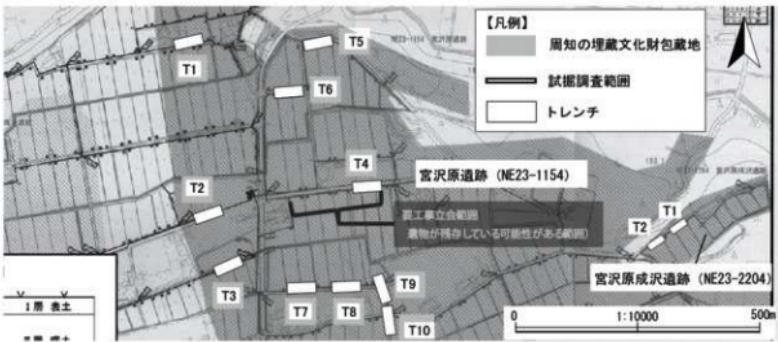
調査では、トレンチを2箇所設定した。その結果、工事箇所は既存の水路下で盛土（搅乱土）であり、地山にも過去のは場整備による削平が見られるため遺跡には影響を与えないことが確認された。（慎重工事）

【宮沢原遺跡】

調査ではトレンチを16箇所設定した。その結果、T4の盛土中から摩滅が進んだ土器を数点確認した。過去の工事により、人为的に動かされた土層からの出土であった。土器が出土した面から約10cm下から地山まで（約20cmほど）は自然堆積層が残存しているが遺構及び遺物は検出されなかった。周辺の水田はT4の地山検出面より低く、過去のは場整備により大規模に地形が改変されているが、水路部分～農道法面部は工事の影響を受けているものの削平を免れている部分がわずかにあり、そこに残存していたものと考えられる。T4以外のトレンチについては、全て過去のは場整備や道路工事によって盛土（搅乱土）か地山が削平を受け遺跡を包含する自然堆積層が失われておらず、遺跡への影響はないものと確認された。（工事立会）



第74図 宮沢原成沢・宮沢原遺跡位置図



第75図 宮沢原成沢・宮沢原遺跡調査位置図

38・39 経営体育成基盤整備事業

みょうじんじたいせき

明神下遺跡 (NE24-0188) 及び隣接地

やまとじょり やまとだいしゃ いせき

山田城(山田屋敷)遺跡 (NE24-1335) 及び隣接地

事業予定地は奥州市役所の西方向約9.4~9.8kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された河岸段丘上に立地する。標高は明神下遺跡が約130m、山田城(山田屋敷)が約125mである。

【明神下遺跡】

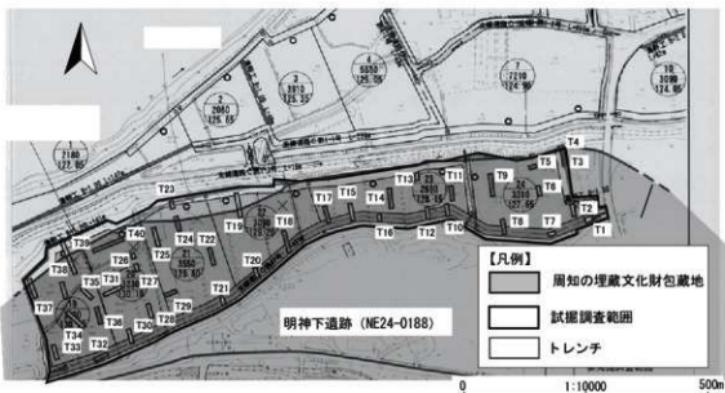
基本土層は6層に区分した。過去のは場整備工事で本来の土層が失われている。Ⅲ層は黄褐色~黄橙色砂質シルトで洪水堆積物とみられる。田区21付近から東側に分布し、東側に厚くなる。遺構検出面である。IV~V層も田区21付近から東側に分布し、V層は上位段丘崖付近沿いの狭い範囲に分布する。VI層は田区21付近より西側で検出面となる。トレンチは40本設定した。このうちT3、5、8、9、11、14、17、18、22、24、25、29、32、36、40で遺構を検出した。T1~T22はⅢ層で、T24~T40はVI層が検出面である。T9では1辺が約6mの方形状の堅穴建物跡が幅約0.8mの東西方向にのびる溝跡により切られている。遺物は、堅穴建物跡埋土のほかI層、II層から土器片が出土する。調査の結果、本調査範囲は主に古代の集落跡であることが判明した。とくに田区23付近より東側に遺構が密集する。遺構検出面は部分的に2面以上あり、田区23から東側ではVI層黒色土でも縄文時代の遺構が検出される可能性がある。(発掘調査)

【山田城(山田屋敷)遺跡】

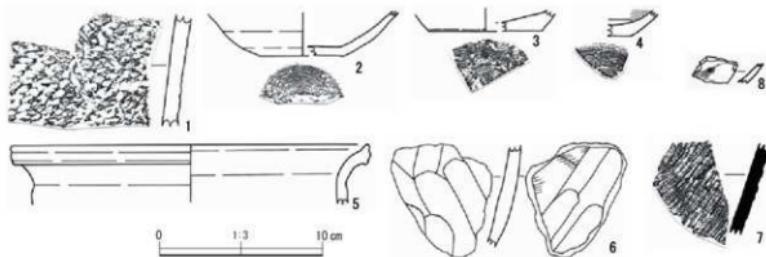
事業予定地は約70年前に林地であったが、田区92は約63年前に畠地に、田区91は約56年前に水田に地形変更されている。とくに田区91は少なくとも3回にわたり水田造成されている。過去のは場整備工事で本来の土層が失われているとみられ、田区92-T8、T12で水田造成盛土下位に自然堆積層IV層が確認される。全体的にIV層地山は砂礫層である。各トレンチから遺構は検出されず、遺物も出土しない。調査範囲は過去の土地造成のために遺跡が失われていると推測される。(慎重工事)



第76図 明神下・山田城遺跡位置図



第77図 明神下遺跡及び隣接地調査位置図



第78図 明神下遺跡及び隣接地出土遺物図

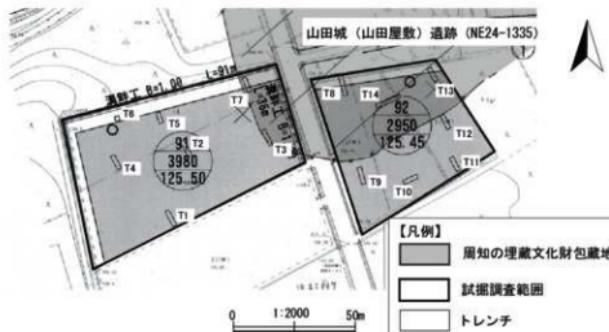
第11表 明神下遺跡及び隣接地出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)			特徴
						口径 幅	器高 横	底部厚 厚さ	
1 T36	SI埋土	縄文土器	深鉢	鉢部	-	-	-	-	RL縁
2 T9	SI埋土	土師器	环	体部～底部	-	(2.6)	3.0	-	内面ナデ、底部斜切り
3 T11	SI埋土	土師器	环	底部	-	(1.1)	5.0	-	底部斜切り
4 T11	SI埋土	土師器	环	底部	-	(1.8)	-	-	内面ナデ、黒色処理、底部斜切り
5 T11	SI埋土	土師器	甕	口縁部	[21.8]	(3.6)	-	-	内外面ナデ
6 T38	黒色土	土師器	甕	体部	-	-	-	-	外面ナデ、内面ナデ・ハケメ
7 T9	SI埋土	須恵器	甕	体部	-	-	-	-	外面明き具痕
8 T29	表土	縄繩器	乗付皿？	体部	-	-	-	-	16c中国窯か

計測値の〔 〕は推定値、()が残存値を表す。



写真図版24 明神下遺跡及び隣接地出土遺物



第79図 山田城遺跡及び隣接地調査位置図

40 経営体育成基盤整備事業

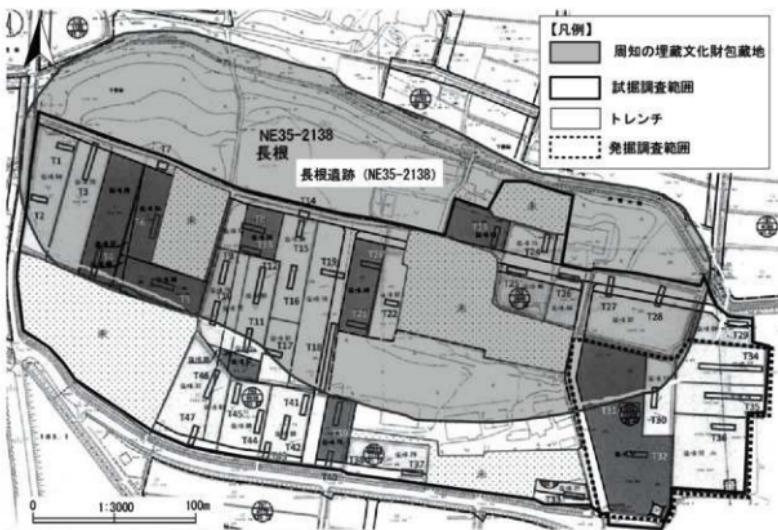
長根遺跡 (NE35-2138) 及び隣接地

事業予定地は奥州市胆沢総合支所の南東方向約3.3kmに位置する。約15~7万年前に形成された胆沢川の河岸段丘面上にあり、奥羽山脈内火山群から供給された更新世の降下火山灰（黒沢尻火山灰）に覆われている。標高は102~104mである。基本土層は5層に区分した。事業予定地内林地部分地形面から1~2m切土されているため、地形改変前の土層は確認できなかった。トレンチは47本設定した。このうちT31で陥し穴状遺構1基、T32で陥し穴状遺構1基・柱穴状土坑5基、T34で焼土遺構1基・陥し穴状遺構2基、T36で陥し穴状遺構2基、T39、T41、T45で同一溝跡1条、T42で柱穴状土坑7基検出した。このうち溝跡、柱穴状土坑は検出状況や埋土の様子から近現代のものと判断した。遺物は採取できなかった。

調査の結果、事業予定地の一部に縄文時代の生活跡が残ることが確認された。（発掘調査）



第80図 長根遺跡位置図



*「未」：未調査範囲

第81図 長根遺跡及び隣接地調査位置図

41・42・43 経営体育成基盤整備事業

おんぐくながねいせき
恩俗長根遺跡（NE35-2006）及び隣接地

かみおんぐくいせき
上恩俗遺跡（NE35-2018）及び隣接地

あけやま
明山遺跡（NE35-2012）及び隣接地

【恩俗長根遺跡及び隣接地】

恩俗長根遺跡は奥州市役所胆沢総合支所から南南西に約2.6km、胆沢扇状地の中位段丘上に位置する縄文時代の遺跡である。現況は水田で標高は西側調査区が107m前後、東側調査区が103~105m前後である。

西側調査区（T 1~4）では、T 1・2で盛土の堆積を確認した。T 3・4は削平を受けていた。

東側調査区（T 5~11）でも、西側調査区同様に削平（T 5~10）や盛土（T 10）による造成痕が確認された。遺構の検出はⅢ層褐色土上面で行ったもの

の、いずれのトレンチでも遺構は見つからず、遺物も出土していない。以上、調査対象地は過去のは場整備時に造成され、旧地形は失われたようである。（慎重工事）

【上恩俗遺跡及び隣接地】

奥州市役所胆沢総合支所から南に約2.9km、胆沢扇状地の中位段丘上に位置する縄文時代の遺跡である。現況は水田で台地面と低地面に分かれている。標高は101~107m前後である。

遺跡内及び隣接地を対象に、試掘トレンチを46箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。一段高い台地面（T 1~11、T 21~24、T 50~64）ではT 6・9で楕円形の黒褐色の落ち込みを確認した。規模から陥し穴状遺構と推測する。

また、T 58では盛土から土器が出土した。低地面（T 12~20、T 65~71）は、湿地堆積で、遺構や遺物は確認していない。

以上、調査区全体で過去のは場整備時の造成が確認されたものの、一段高い台地面のうち、西側では遺構が残存していると推測する。（発掘調査）

【明山遺跡及び隣接地】

J R 東日本東北本線水沢駅から南西に約6.7km、胆沢扇状地の扇央南部に所在する。現地標高は約110mで事業地の現況は水田である。別紙トレンチ位置図で示したとおり、遺跡中央部の事業地①と遺跡南縁及び隣接するは場を事業地②とし、試掘調査を実施したものである。

事業地①にトレンチを7箇所設定した結果、西端に設定したT 1で陥し穴状遺構を1基検出した。全体的に過去のは場整備によって自然堆積層は失われているため遺構の上部は破壊されていると考えられる。その他のトレンチでは遺構・遺物は確認されなかったが、陥し穴状遺構の性格上、周辺に遺構が点在していると考えられる。

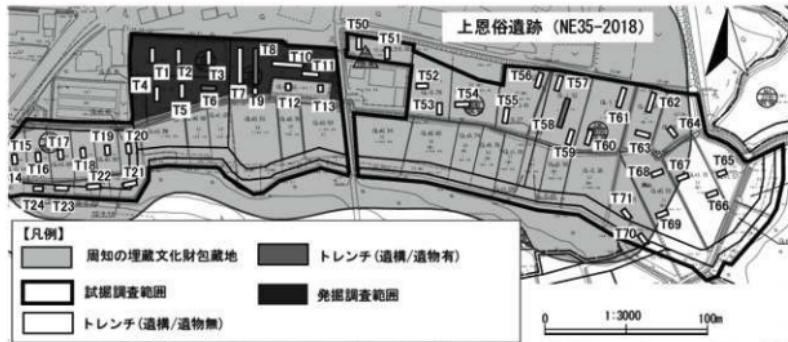
事業地②には9箇所のトレンチを設定した。②も過去のは場整備によって改変され、Ⅲ層褐色土から現代の廃棄物や雑木が確認された。遺構・遺物ともに確認されなかった。事業地②については今回の事業による埋蔵文化財への影響はないとの判断される。（発掘調査）



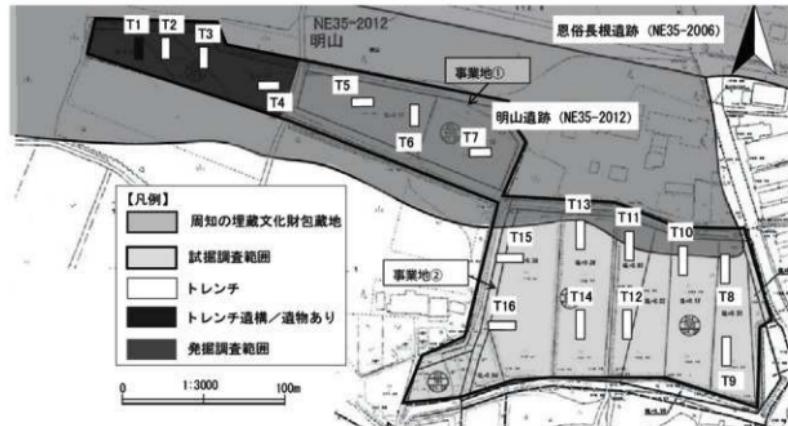
第82図 恩俗長根・上恩俗・明山遺跡位置図



第83図 恩俗長根遺跡及び隣接地調査位置図



第84図 上恩俗遺跡及び隣接地調査位置図



第85図 明山遺跡及び隣接地調査位置図

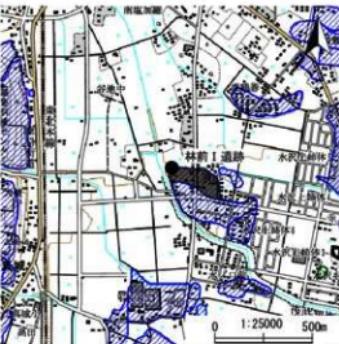
44 経営体育成基盤整備事業

はやしまえついせき

林前 I 遺跡 (NE27-1070) 及び隣接地

事業予定地は奥州市役所の南東方向約3.0kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された河岸段丘上に立地する。標高は約40mである。

全体的に過去の土地改変で表土部分が削平され、地山上(IV層)に造成土(I~II層)が盛土されている。トレンチは11本設定した。T11を除き、微高地縁または微高地周辺の低地とみられ、IV層上にI~II層が堆積し、IV層とII層の層境は明瞭である。いずれのトレンチでも遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。本調査範囲では過去の土地改変で埋蔵文化財包蔵地が失われていると判断した。(慎重工事)



第86図 林前 I 遺跡位置図



第87図 林前 I 遺跡及び隣接地調査位置図



事業予定地

写真図版25 林前 I 遺跡及び隣接地調査風景

45・46 経営体育成基盤整備事業

要害遺跡 (NE36-1265) 及び隣接地
中林下遺跡 (NE36-0247) 及び隣接地

【要害遺跡及び隣接地】

事業予定地は奥州市役所の南方向約5.4kmに位置する。約7~1.8万年前に形成された河岸段丘上に立地する。標高は約38mである。試掘トレンチを13箇所設定した。調査の結果、遺構及び遺物は確認されなかつた。全体的に基盤層までの深さは浅く過去のは場整備の際に造成されている可能性が高い。(慎重工事)

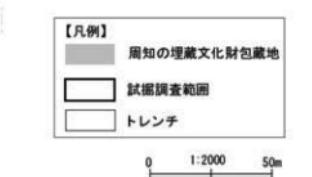
【中林下遺跡及び隣接地】

JR東北本線陸中折居駅の北約1.4kmの位置にあり、大深沢川が遺跡付近で北上川によって形成された更新世の段丘面に流れ出る。調査では34箇所試掘トレンチを設定した。中林下遺跡内で古代の竪穴建物跡や土器等などが検出された。さらに隣接地においても平安時代の竪穴建物跡や須恵器、縄文時代の土器片などが広い範囲で確認された。南側隣接地では遺構、遺物とも確認されていない。この田面2枚は発掘調査の対象からはずしてよいと考えられる。そのほかの事業地については満遍なく遺構、遺物が分布する。(発掘調査)



【凡例】
周知の埋蔵文化財包蔵地
試掘調査範囲
トレンチ

0 1:2000 50m



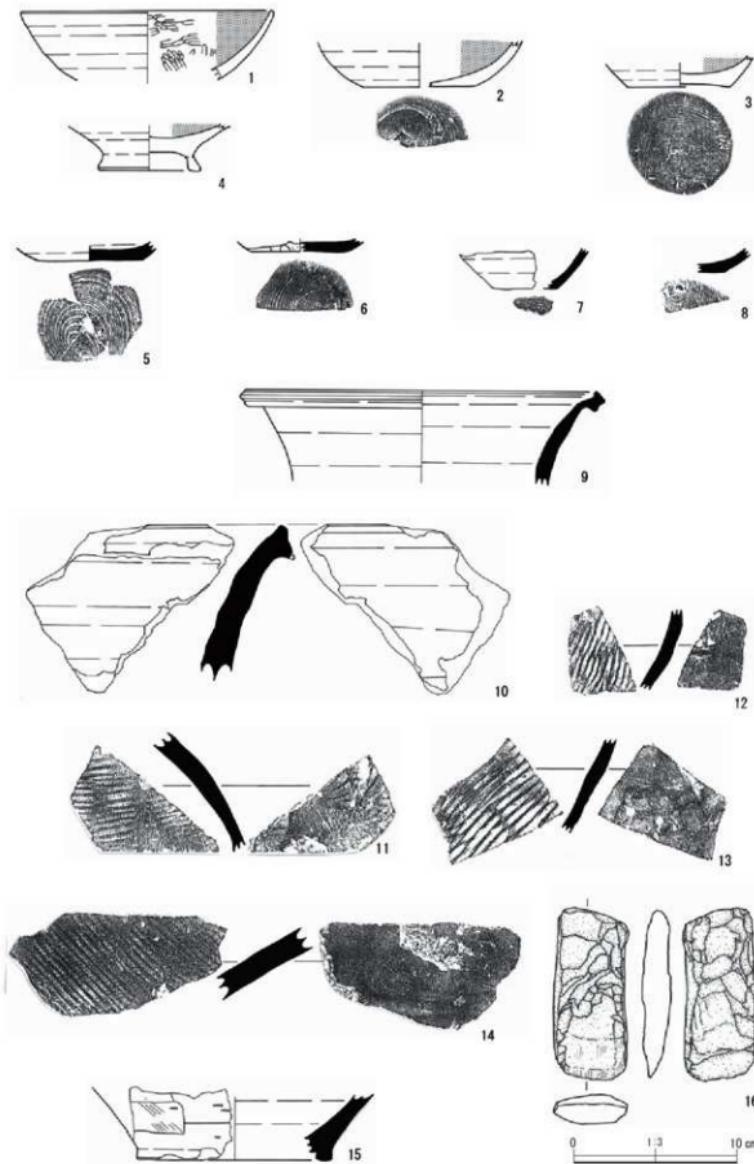
第89図 要害遺跡及び隣接地調査位置図



第88図 要害・中林下遺跡位置図



第90図 中林下遺跡及び隣接地調査位置図



第91図 中林下遺跡及び隣接地出土遺物図

第12表 中林下遺跡及び隣接地出土遺物観察表

揭露番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1 T13	SI 検出面	土師器	环		口縁部～体部	[14.6]	(4.2)	—	—	外面ナデ、内面ミガキ、内面黒色処理
2 T13	SI 検出面	土師器	环		体部～底部	—	(3.3)	[6.8]	—	外面ナデ、内面黒色処理、底部回転系切り
3 T13	SI 検出面	土師器	环		底部	—	(1.8)	6.2	—	外面ナデ、内面黒色処理、底部回転系切り
4 T13	SI 検出面	土師器	台付环		底部	—	(2.8)	6.2	—	外面ナデ、内面黒色処理
5 T15	表土下	須恵器	环		底部	—	(1.8)	6.4	—	底部回転系切り
6 T17	表土下	須恵器	环		底部	—	(0.6)	[6.0]	—	外面ケズリ、底部回転系切り
7 T17	表土下	須恵器	环		底部	—	—	—	—	外面ナデ、底部回転系切り
8 T13	SI 検出面	須恵器	環		底部	—	—	—	—	底部回転系切り
9 T13	SI 検出面	須恵器	環		口縁部	[22.4]	(5.7)	—	—	内面ナデ
10 T17	表土下	須恵器	環		口縁部	—	—	—	—	内外面ナデ
11 T2	SI 検出面	須恵器	環		体部	—	—	—	—	外面叩き具痕、内面当て具痕
12 T4	SI 検出面	須恵器	環		体部	—	—	—	—	外面叩き具痕、内面当て具痕
13 T13	耕作土下	須恵器	環		体部	—	—	—	—	外面叩き具痕、内面当て具痕
14 不明	不明	須恵器	環		体部	—	—	—	—	外面叩き具痕
15 T20	表土下	須恵器	環		底部	—	(4.4)	[12.0]	—	外面ケズリ、内面ナデ
16 T22	耕作土下	石器	磨製石斧		—	10.6	4.5	1.8	119.9	未製品、ホルンフェルス

計測値の〔 〕は推定値、() が残存値を表す。



写真図版26 中林下遺跡及び隣接地出土遺物

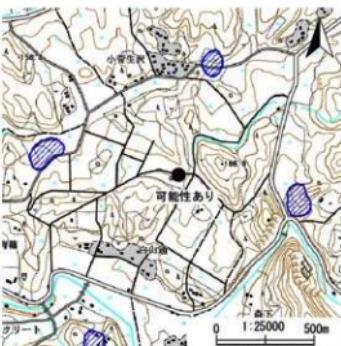
47 農村地域防災減災事業

可能性あり

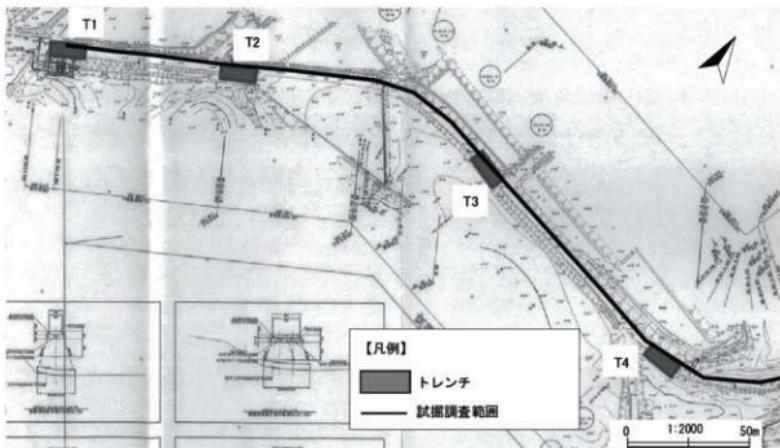
調査対象地は、奥州市役所から北東へ約14.0km、北上山系西側山麓に位置し、標高は約130～140mを測る。

周辺には縄文時代等の遺跡が複数所在し、当該地も同様の地形から未知の遺跡が所在する可能性があるため、試掘調査を実施した。調査ではトレンチを4箇所設定し、遺構や遺物の有無、土層の確認を行った。

その結果、いずれのトレンチにおいても過去のは場整備や道路整備により、表土から地山まで削平を受け、自然堆積層は完全に失われていることが確認された。(工事着手可)



第92図 可能性あり位置図



第93図 可能性あり調査位置図

48 経営体育成基盤整備事業

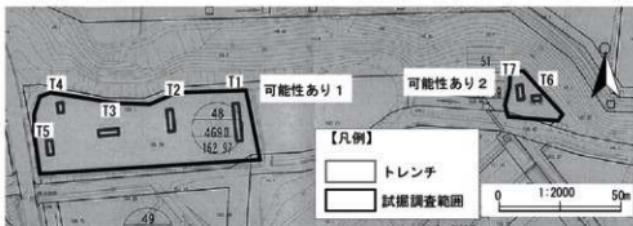
可能性あり1

可能性あり2

事業予定地は奥州市役所江刺総合支所の北東方向約12.3kmに位置する。約146~1億年前の花崗岩類を基盤とし、約13~260万年前の礫岩、砂、泥などに覆われている。標高は160m前後である。本事業地北側の谷を隔てた類似する地形面には、縄文時代の土器片や石器が採取されている（日ノ神遺跡）。基本土層は4層に区分した。全体的に真砂土の影響を受け、雲母片や石英片の混入が顕著である。I層は耕作土でII層は盛土、III層旧表土、IV層地山である。可能性あり1は、旧林地を地形の凹凸に沿って小~中規模の水田に造成した場所で、場所により土層の堆積状況が異なる。T1、T2の北側は旧斜面地を、T3~T5は旧谷地形を埋めていると推測され、II層盛土が厚く堆積する。可能性あり2は旧表土~地山が削平され、T7では現表土下にIV層礫岩が堆積する。いずれのトレンチでも埋蔵文化財は確認されなかった。（工事着手可）



第94図 可能性あり1・2他位置図



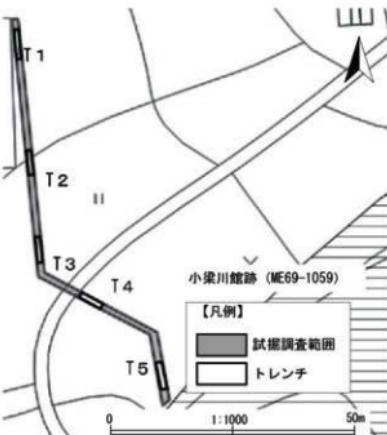
第95図 可能性あり1・2調査位置図

49 農村地域防災減災事業

可能性あり1(小梁川館跡(ME69-1059)隣接地)

事業予定地は東北横断自動車道釜石秋田線の江刺田瀬ICから南西に約1.3km、口内川と合流し北上川へ流入する広瀬川左岸の丘陵地山裾の緩斜面地に位置する。事業予定地には周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しないものの、南側には中・近世の小梁川館跡が所在している。事業地の現況は原野及び休耕田で、標高は180m前後である。試掘トレンチを5箇所設定した。

調査の結果、いずれのトレンチから遺構及び遺物は確認されなかった。T2・5は沢地形の堆積を示し、T3~T4は土地造成のために削平を受けたと考える。（工事着手可）



第96図 可能性あり1調査位置図

50 農業水利施設保全合理化事業

二子町南部地区第3号工事

こうのすだいせき

鴻ノ巣館遺跡（NE17-0215）隣接地

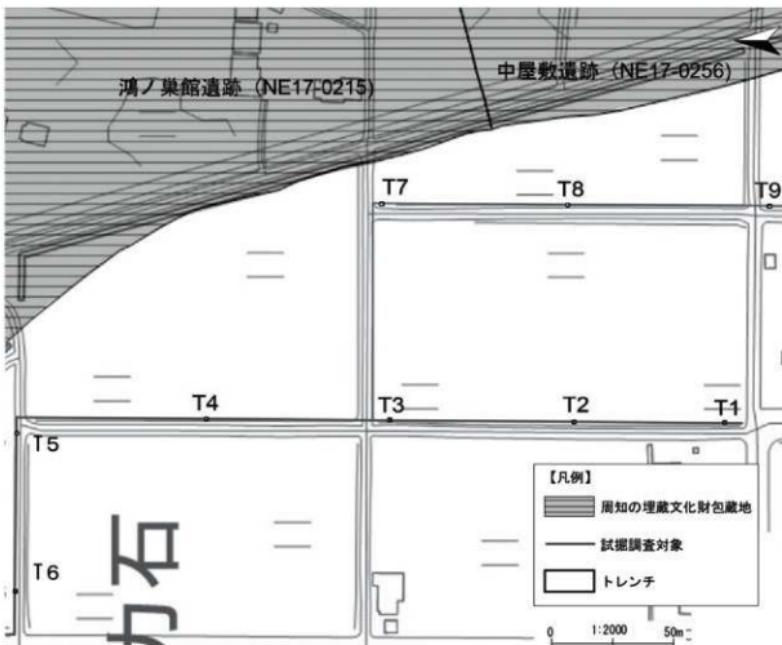
調査対象地は、奥州市役所から東北東へ約3.4km、北上川東岸に形成された沖積地上に立地する。標高は135m前後を測る。本事業は、既設開渠の農道側（農道の法肩上部面）にパイプラインを敷設するもので、敷設予定箇所にトレーニングを9箇所設定した。

調査の結果、事業地南側（T1及びT9付近）は、造成土が厚く堆積しており、直下に旧耕作土、その下に褐色基調の粘土質シルトが堆積していた。パイプライン敷設深度（約130cm）まで掘り下げたが、遺構・遺物は確認されなかった。

事業地北側は、大部分が造成土下に円礫が混じるグライ化層であり、一部湧水が確認され、全体的に旧河道や湿地の様相を呈している。周辺の埋蔵文化財包蔵地は、本事業地と比べるとわずかに高い地形面に立地しており、遺構が残存している可能性は低いと考えられる。いずれのトレーニングからも遺構・遺物は確認できなかった。（工事着手可）



第97図 鴻ノ巣館遺跡位置図



第98図 鴻ノ巣館遺跡隣接地調査位置図

51・52 経営体育成基盤整備事業 増沢西部地区

大名野遺跡 (ME98-1042) 及び隣接地

丸田 I 遺跡 (ME97-1329) 隣接地

可能性あり①

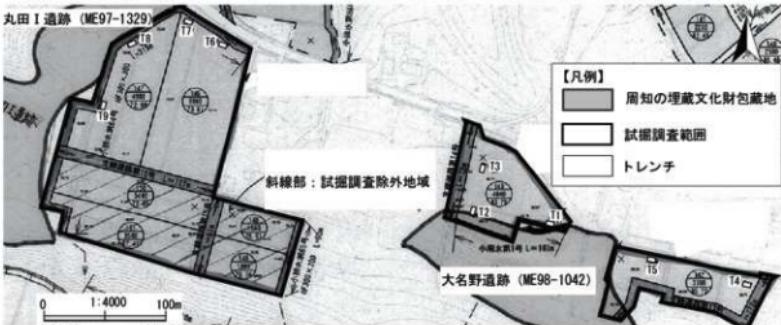
調査対象地は、奥州市役所江刺総合支所から北東へ約3.0km、人首川によって形成された河岸段丘上に位置し、標高は85m前後を測る。現況は水田である。

【大名野遺跡及び隣接地】

西側低位面のT1設置地点には現在使用されている水路があり、この部分のみ褐色土の下から旧表土と思われる暗褐色土が確認された。このT1以外のトレンチについては東側の高位面も含め、表土直下地山という状況で造構・遺物は確認されなかった。(慎重工事)

【丸田 I 遺跡隣接地】

調査区のうち、支線道路第16号建設予定地より南側の地域は現地で確認の結果、下方の谷に向かって比較的角度のある斜面を造成して段々に水田が作られており、造構が所在する可能性は低いと判断し試掘調査区域から除外した。トレンチは調査区を取り囲むように設置される排水路の建設予定地の



第99図 丸田I・大名野遺跡他位置図



第100図 大名野遺跡及び隣接地・丸田I遺跡隣接地調査位置図

隣接箇所を中心に設置した。全てのトレンチにおいて表土直下が地山であることが確認されたことから、調査区は過去のは場整備の際、改変されたことが明らかになった。(工事着手可)

【可能性あり①】

現在の県道8号線に隣接する北端～調査区西側にかけては昔から水田や旧河道など、水の影響を受けて、土がグライ化する様子が観察された。調査区東側の上堰遺跡に隣接する箇所及び調査区中央部付近のT6についても旧河道を示す疊層が確認された。造構・遺物とも確認されなかった。(工事着手可)

第101図 可能性あり①調査位置図

53 農村地域防災減災事業

みなみじんばいせき

南陣場遺跡 (NE66-0133) 隣接地

調査対象地は、奥州市役所前沢総合支所から南へ約2.7km、北上川によって形成された河岸段丘上に位置し、標高は約74~76mを測る。事業内容は用水路設置である。調査対象地は東方向にのびる緩斜面地で、現況は道路及び水田である。T1は今回トレンチを設定した中で最も標高が高く、南陣場遺跡に近い地点に設定したが、土層はT2、T3と同じく、I層は現表土、搅乱土、II層が褐色の地山層という堆積状況であった。調査区は水田や道路、北側に隣接する畑地造成時に地形が大きく改変されたことが判明した。(工事着手可)



第102図 南陣場遺跡位置図

54 農業水利施設保全合理化事業東福第2地区

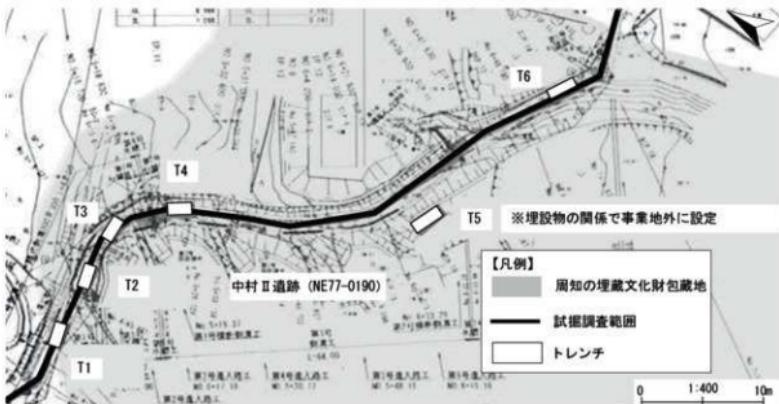
なかむらこうりょうか

中村Ⅱ遺跡 (NE77-0190)

遺跡はJR東日本東北本線平泉駅から東に約2.0km、北上川の左岸から続く中位段丘と北上高地の西縁にある起伏のある地形をした绳文時代の遺跡である。現地標高は約60~70mで現況は山林である。調査地は南向きの斜面地である。事業は水田の農道部分にパイプラインを埋設するもので、調査の結果、調査区の大部分は、切土による農道となっており上水道管及びため池からの引込管が農道脇に埋設され、その際の工事によって擾乱されていることが判明した。搅乱の下層は明確な層界を持つ黄褐色粘土の地山である。遺構・遺物は確認されなかった。(慎重工事)



第103図 中村Ⅱ遺跡位置図



第104図 中村Ⅱ遺跡調査位置図

55 地域連携道路整備事業

しもじがたみいせき
下渋民遺跡 (NF60-0267)

可能性あり1

調査対象地は一関市役所から東北東へ約20.0km、産直ふるさと大東の西側に位置し標高は約100mを測る。

【下渋民遺跡】

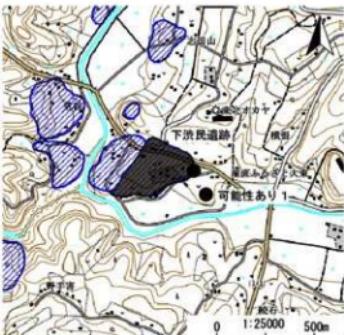
基本土層は5層に区分した。I～III層が近現代の客土でIV層が旧表土、V層が遺構検出面である。全体的に地形変更がすみ、とくに国道脇の部分は剥土量が大きいと推測される。南側斜面地は、水田地造成部の表土直下にV層浅黄色土が広がる。畑地部分は盛土され、部分的にIV層が分布する。畑地のT 5では湧水があった。トレーニングは18本設定した。T 11では地表面から約130cm下位でIV層が確認される。T 12ではI層直下でV層黄褐色土が、T 16では火山灰質砂礫層が確認される（共にI層厚約20cm）。T 9ではV層上面で直径約30cmで灰色土に埋められた柱穴を検出した。検出状況から現代のものと判断した。T 2、T 7では幅約50cmで北東にのびる溝跡を検出した。埋土から土師器片が出土した。遺物はT 2、T 7のIII層盛土・IV層から土師器片と石器（剥片）が出土した。

調査の結果、一部の調査範囲に埋蔵文化財が所在することが判明した。遺物の性格から古代の遺構であると判断した。なお、一関市と協議の上、今後遺跡範囲を拡張する予定である。（発掘調査）

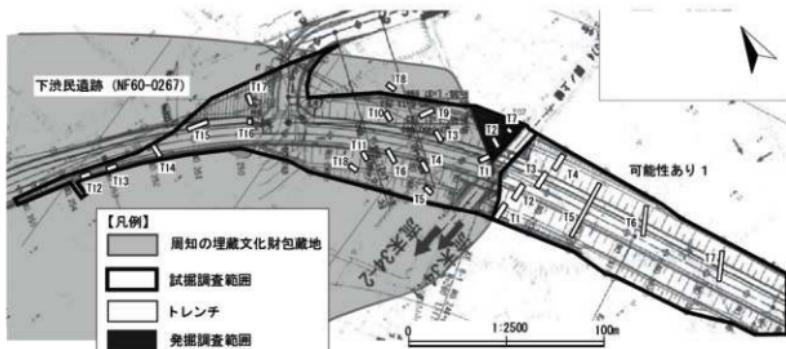
【可能性あり1】

当該地は、平成20年代初頭には場整備が行われた水田で、現状は休耕田であり雑草が繁茂している。対象地は下渋民遺跡に隣接し、かつ南側が開けた緩斜面地であることから遺跡が所在する可能性があるため、試掘調査を実施することとなった。

その結果、いずれのトレーニングにおいても遺跡に関係する遺構及び遺物は認められなかった。調査区は過去のは場整備工事においてIII層（地山）まで削平を受けており、遺構及び遺物を包含する自然堆積層は認められなかった。（工事着手可）



第105図 下渋民遺跡・可能性あり1位置図



第106図 下渋民遺跡・可能性あり1遺跡調査位置図

56 地域連携道路整備事業

みずなしいせき

水無 I 遺跡 (NF61-1137)

可能性あり2・3

【水無 I 遺跡・可能性あり2】

遺跡は一関市役所大東支所から西へ約3.3km、砂鉄川によって形成された自然堤防及び後背湿地上に位置し、標高は約106mを測る。調査対象地は北東方向にのびる緩斜面で、現況は道路、水田及び荒地である。

基本層序はⅠ層黒褐色の表土、Ⅱ層が暗褐色土の盛土、Ⅲ層が黒褐色土の旧表土、Ⅳ層が褐色土（地山）である。調査区の東側に設定したT1～T3はの本層序と同様の土層堆積状況が見られた。国道343号の付け替え道路にあたる市道館下横枕線の拡幅部分（現歩道）にはT4を設定したが隣接する一段低い位置に設定したT5と同じく、表土、耕作土下に厚い黄褐色整地層が堆積し、その下から旧表土が確認された。南の緩斜面から続く低い位置にある旧水田にはT6を設定したが、地表より120cmほど下からは旧河道と見られる河川堆積層が確認された。いずれも遺構や遺物は確認されなかった。（慎重工事）

西側の可能性あり2についてはT4・5の調査の結果から水無I遺跡と同様の状況であると判断され、工事に着手して差し支えない。（工事着手可）

【可能性あり3】

事業予定地は一関市役所大東支所の西方向約2.7kmに位置する。約7～1.8万年前に形成された砂鉄川の河岸段丘面上にあり、部分的に南側小谷から供給された堆積物や崖錐堆積物に覆われていると推測される。標高は120m～125mである。本調査は、平成27年度の分布調査回答時点から計画変更されたことから、現地協議を行い、「可能性あり3」とそれに隣接する線形変更部分は試掘調査を行い、あらたな事業地（対岸部、根城館隣接地）は分布調査をすることにしたものである。

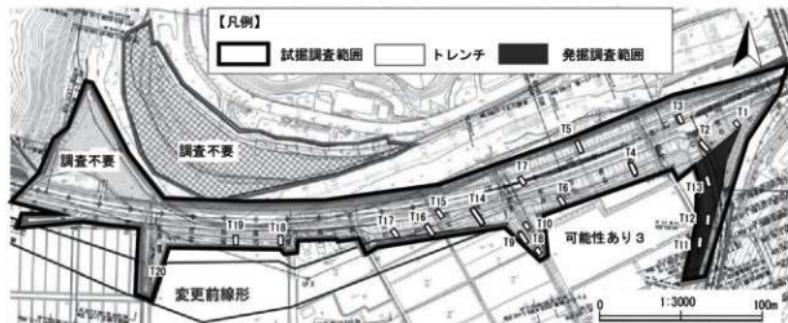
なお、西側部分は明らかに河川改修による平坦地であることから調査は省略した。調査区は過去のは場整備工事で本来の土層が失われているところが多い。T13で土坑を検出し、T12、13では縄文土器片と石器を採取した。土坑の規模は長さ1m以上幅約1.1mで黒褐色土と暗褐色土の混合土が埋土である。調査の結果、事業予定地の一部に縄文時代の生活跡が残ることが確認された。（発掘調査）



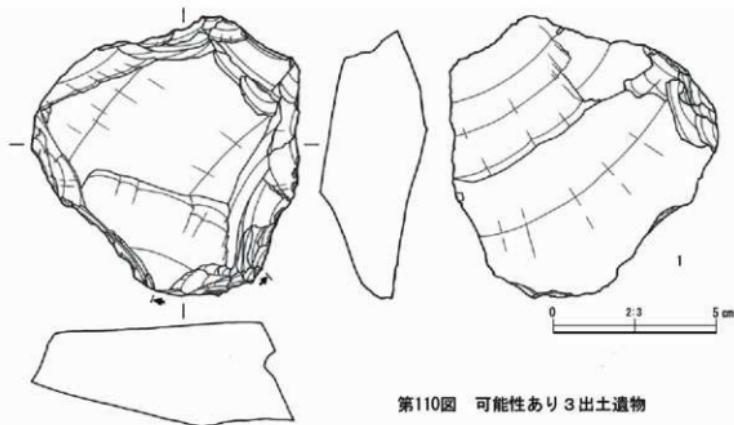
第107図 水無 I 遺跡他位置図



第108図 水無 I 遺跡・可能性あり2調査位置図



第109図 可能性あり3調査位置図



第110図 可能性あり3出土遺物



写真図版27 可能性あり3出土遺物

第13表 可能性あり3出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)			特 徴
						口径 幅	厚高 横 幅	底部径 厚さ	
1	T12	Ⅱ	石器	削器	-	8.6	8.3	3.3	258.8

57 河川災害復旧助成事業、
河川激甚災害対策特別緊急事業

可能性あり

調査地は岩泉町役場小川支所から南西に約3.0km、小本川左岸の河岸段丘面にある。現地標高は約250～260mで、現況は牧草地、畑地及び休耕地となっている。調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地ではないが、対岸に縄文・中世の穴沢館跡が隣接し、類似地形と見られる約500m北東の河岸段丘面には、縄文の散布地である穴沢V遺跡や縄文・古代の散布地である穴沢III遺跡等が所在する。

調査の結果、調査地北側の牧草地下層は、大小角砾を多量に含む層が厚く堆積していることが判明した。

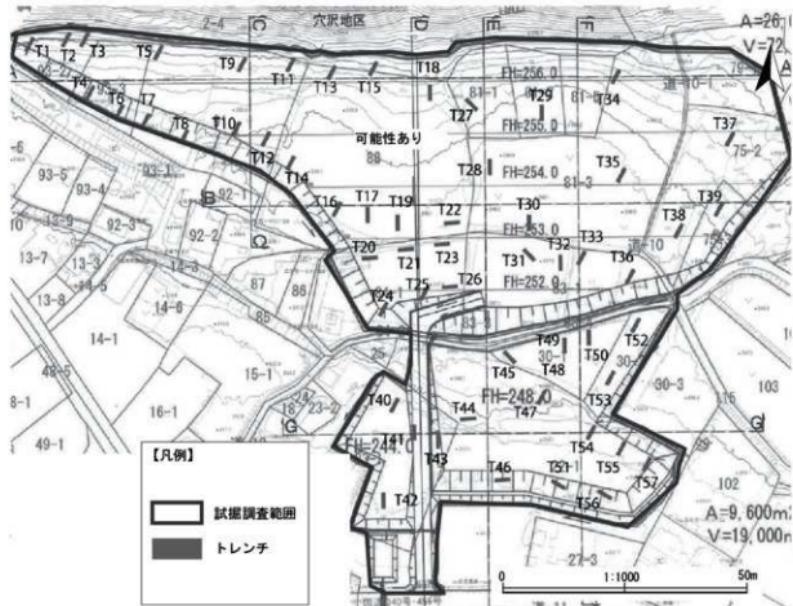
北側丘陵からの崖錐性堆積物と考えられる。また、約0.2m～0.4mの十和田中振火山灰の堆積や礫を含む砂層が広がっており、遺構や遺物は確認できなかった。

調査地南側の畑地・休耕地は、比較的浅い部分に十和田中振火山灰の堆積が見られ、下層は円礫を多量に含む砂質の層で、小本川の旧河道であると考えられる。遺構・遺物も確認できなかった。

以上の結果から、埋蔵文化財が所在する可能性は低いと判断される。(工事着手可)



第111図 可能性あり位置図



第112図 可能性あり調査位置図

58 小本川河川改修事業

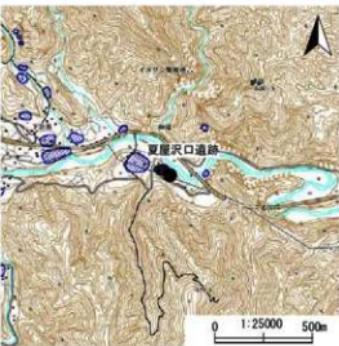
なつやさわぐちいせき

夏屋沢口遺跡（KG51-1182）及び隣接地

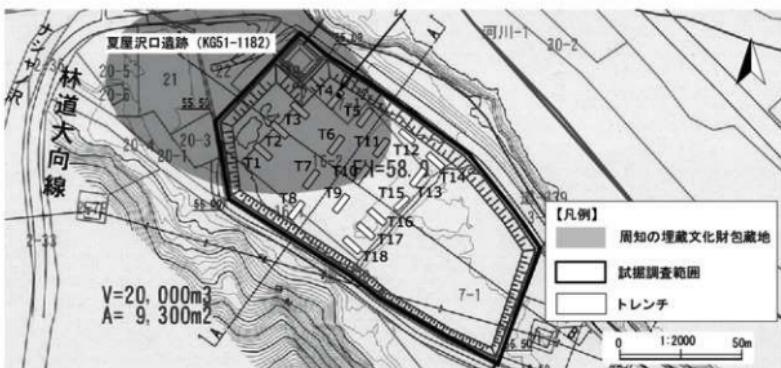
調査対象地は、岩泉町役場の西約2.6kmに位置する。標高は50~60mである。遺跡は小本川流域の狭い平坦地に立地している。北は小本川が東に流れ、南は丘陵となっている。現況は荒蕪地であるが、以前は水田等の耕作が行われていたようである。

事業は河川改修事業に係る残土置き場の確保によるもので、事業地に18箇所の試掘トレンチを設定した。表土は元々耕作土と考えられるが、小角礫も少量含まれた。東側が大きく削平されており、Ⅱ層（黒褐色）～Ⅳ層（暗褐色）を欠く所もある。

調査の結果、T 4で円形の土坑が検出された。遺物を伴わないため時期不明である。埋土はⅢ層（黒褐色）と類似しておりⅢ層の堆積以前と考えられる。予定されている盛土の厚さは3m未満であり、発掘調査は不要と判断した。（慎重工事）



第113図 夏屋沢口遺跡位置図



第114図 夏屋沢口遺跡及び隣接地調査位置図

59・60 地域連携道路整備事業

一般国道340号葉山～惠蘇地区

さんみやくちいせき

山脈地遺跡 (MF96-2116)

可能性あり1

可能性あり2

調査対象地は、住田町役場の北北東約6.4kmに位置する。標高は174mほどである。山脈地遺跡は気仙川上流に広がる狭い平坦地の南端に位置している。遺跡の形状は三角形だが南から東の丘陵にかけて遺物の散布が多いようである。可能性あり1・2に関しては山脈地遺跡の北に隣接しており試掘調査の対象とした。



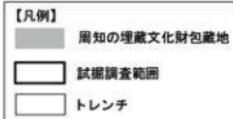
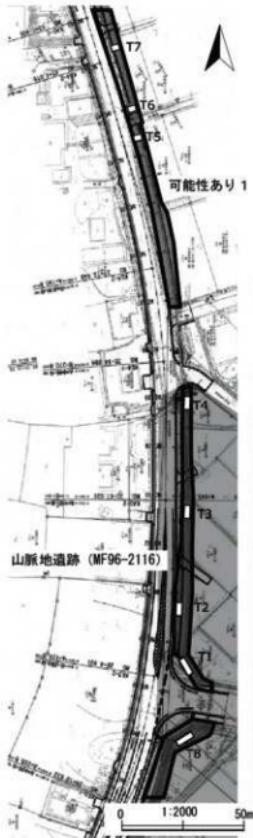
第115図 山脈地遺跡他位置図

【山脈地遺跡・可能性あり1】

調査ではトレンチを8箇所設定した。調査の結果、遺構及び遺物は確認されなかった。表土ないし水田造成土の下から礫混じりの砂層が確認された。河川による堆積と考えられる。その下に暗褐色土が認められ、さらにその下に砂疊層が確認される場所もあった。河川の流路の変遷により状況の変化があったと推定される。暗褐色土からも遺構・遺物は確認されなかった。(慎重工事、工事着手可)

【可能性あり2】

6箇所試掘トレンチを設定した。表土から角礫を含みII層以下は北西の急斜面から崩落した角礫と考えられる。角礫を含む割合も多く、厚い土壤が形成されるような安定した環境ではなかったようである。南東向きの緩斜面で遺跡の立地に適していると考えたが、遺構・遺物とも確認できなかつた。(工事着手可)



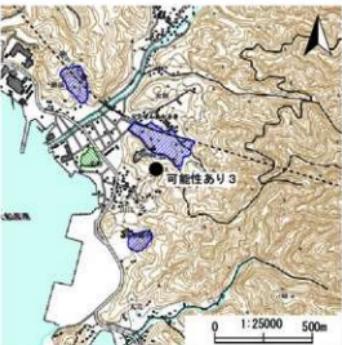
第116図 山脈地遺跡・可能性あり1・2調査位置図

61 主要地方道大船渡線里三陸線赤崎地区

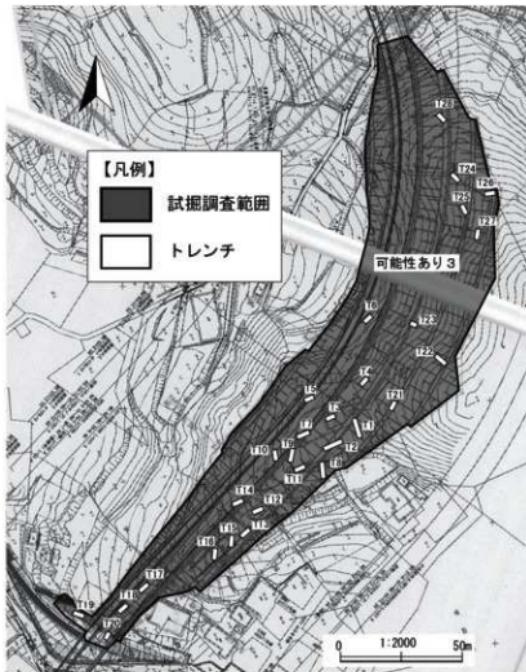
地域連携道路整備事業

可能性あり3

事業予定地は大船渡市役所から東に約3.5kmの大船渡湾を西に臨む低丘陵地の緩斜面地に位置する。現況は原野及び休耕作地である。事業予定地に周知の埋蔵文化財包蔵地は所在しない。現地標高は約27~61mである。調査の結果、T26から黒褐色土（Ⅱ層）の堆積を確認したが、その他のトレンチでは、いずれも表土（I層）下は明黄褐色土（Ⅲ層）であり、緩斜面の多くは土地造成が行われた様子が窺い知れた。遺構の検出はⅢ層及びⅣ（黄褐色）層上面で行ったものの、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認していない。（工事着手可）



第117図 可能性あり3位置図



第118図 可能性あり3調査位置図

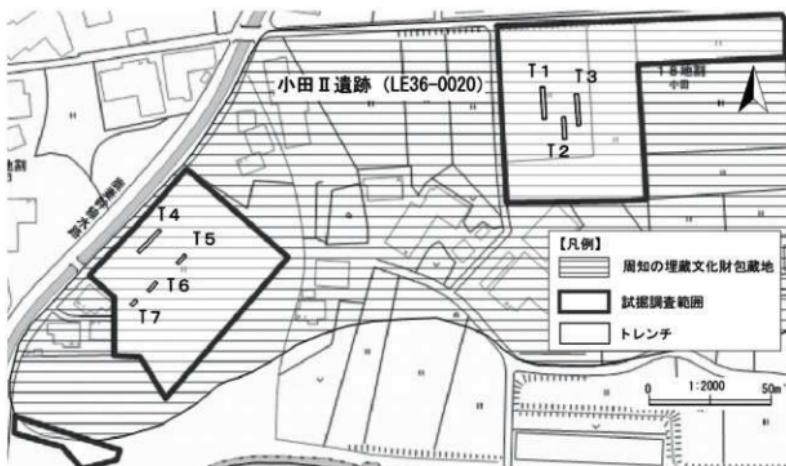
62 農地耕作条件改善事業

小田Ⅱ遺跡 (LE36-0020)

遺跡は盛岡市役所から南南西に約7.0km、東北自動車道西側の湯沢川左岸の低位段丘上に位置する平安時代の遺跡である。現況は水田で標高は134m前後である。東側調査区（T 1～3）では、T 2の一部で黒褐色の自然堆積層（Ⅱ層）を確認したものの、対象地の多くは削平を受けていた。西側調査区（T 4～7）では、T 5～7で湯沢川の洪水堆積と考えられる灰黃褐色～黃褐色の堆積が認められた。遺構の検出は黄褐色土上面で行ったものの、いずれのトレンチでも遺構は見つからず、遺物も出土していない。（慎重工事）



第119図 小田Ⅱ遺跡位置図



第120図 小田Ⅱ遺跡調査位置図



事業予定地



T1平面

写真図版28 小田Ⅱ遺跡調査風景

III 工事立会

件数は市町村支援含め46件であった。No.33の宮沢原遺跡では遺物が出土したものの、遺跡への影響は認められなかった。No.44の野田堅穴遺跡では古代の堅穴建物跡の一部が検出された。

第14表 工事立会一覧表 (1)

No.	調査日付	事業名	事業者	遺跡名	所在地	結果
1	平成30年4月10日	二郎治道 (芦野瀬上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国 土整備課	サンニヤ立遺跡 (JF48-2250) 陸地内	九戸郡洋野町種子浜凸地割 地内	影響なし
2	平成30年5月16日	二郎河川明神川筋石垣芦野瀬水路工事	北上城防部馬場土木部	平流水立遺跡 (JG59-2275)	九戸郡田村町平流水地内	影響なし
3	平成30年5月31日	一般国道283号(159+1-157号)工事	北上城防部馬場土木部-二・三工事セ ンター	大日立遺跡 (B'P73-2112)	九戸郡利府町新街通内	影響なし
4	平成30年6月5日	都市計画道路築造工事(北上城防部馬場土木部-二・三工事セ ンター)	北上城防部馬場土木部-二・三工事セ ンター	ノゾミ遺跡 (JP00-0053)	二戸市福井字城外地内	影響なし
5	平成30年6月15日	二郎治道 (芦野瀬上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国 土整備課	可能性あり24	九戸郡洋野町新街通地内	影響なし
6	平成30年6月18日	二郎治道 (芦野瀬上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国 土整備課	散板立遺跡 (LG49-3030)	吉古市飯塚第3地割地内	影響なし
7	平成30年6月19日	地盤沈下対策事業 (火牛・火牛型成形) 火牛・ 火牛・地盤地区(8号)工事	北上城防部馬場土木部-二・三工事セ ンター	海上原遺跡 (JG59-2977)	二戸市野上地内	影響なし
8	平成30年7月6日- 25日	森環境施設全整備事業	林野庁 東北森林管理署二郎中野森 林管理室	本谷遺跡 (MF28-0309) 南地内	岩手市城野町植木新第二地内	影響なし
9	平成30年7月12日- 23日	中央農業振興本部農業政策課 横川治水道路建設 工事	農林水産省東北農政局と賀中央農 業水害事業所	立場遺跡 (ME53-2343) 那川遺跡 (ME53-2288)	北上市和置町原立場地内	影響なし
10	平成30年7月26日	災害削減緊急防護事業 小土ノ沢芦野瀬市 砂防壁埋立工事	北上城防部馬場土木部吉古土牛セ ンター	夜古吉立跡 (LG30-2262)	吉古市夜古地内	影響なし
11	平成30年8月7日	一般販売前北上土石流崩壊地区被災補修工事	北上城防部馬場土木セントラ ル事務所	佐木原立遺跡 (ME64-2335) 小今立跡 (ME64-2330)	北上市和置町佐木原地内	影響なし
12	平成30年8月10日	復旧治山事業 上平野川復旧治山工事	北上城防部馬場土木部-二・三工事セ ンター・林務室	下野立遺跡 (OE39-2150)	二戸郡一戸町平野字下野立5-3 地内	影響なし
13	平成30年9月13日- 28日	森環境施設全整備事業 桧野第一地区	東北森林管理署二郎中野森林 管理室	大糸遺跡 (MF29-0265)	岩手市城野町植木新第二地内	影響なし
14	平成30年9月14日	河川災害復旧事業-盛岡内川治水調節工 程の2地区(河川)災害復旧 (2854-405号) 工事	北上城防部馬場土木部	清水立遺跡 (JP06-0050)	久慈市山形町清水川橋下の2 地内	影響なし
15	平成30年9月20日	急傾斜地削除工事	北上城防部馬場土木セントラ ル事務所	白山遺跡 (JP03-2345)	九戸郡利府町白山地内	影響なし
16	平成30年9月27日	生産性高め(伐伐・開拓)事業	林野庁 東北森林管理署利尻毛豆森 林管理室	平羅立遺跡 (JF60-1255) (平羅有り2762無いはいれ)	二戸郡一戸町平羅字平羅地内 (平羅有り2762無いはいれ)	影響なし
17	平成30年10月21日	综合治理効果事業-二郎川治水津付川 河川治水整備工事	北上城防部馬場土木部大船渡・土木 セントラル・林務室	子岡高見跡 (NP13-0143) 高見根立跡	北上市城野町子岡高見地内	影響なし
18	平成30年10月4日	上平野川治水津付川大船渡下地区はかく河野川 災害復旧 (2854-217号) 工事	北上城防部馬場土木部	秋ノ木立遺跡 (MG03-1081)	岩手市城野町秋ノ木植木地内	影響なし
19	平成30年10月9日- 19日	岩削削一電掘り倒削野水池埋設設置工事	點企画室施設総合管理所	岩洞立遺跡 (KP90-2008) 岩洞D立遺跡 (KP90-0260) 岩洞F立遺跡 (KP90-2465) 岩洞I立遺跡 (KP91-0251) 岩洞E立遺跡 (KP90-0285)	震岡町城野町地内	影響なし
20	平成30年10月23日	河川災害復旧事業-二郎川治水津付川治水調 節の2地区(河川)災害復旧 (2854-405号) 工事	北上城防部馬場土木部	田代泊立遺跡 (JP64-0171)	久慈市山形町代地内	影響なし
21	平成30年10月31日	栗森森林事業所全体・工作物等撤去工事	林野庁 東北森林管理署二郎中野森 林管理室	御前立遺跡 (MG30-0028)	岩手市城野町御前立224地内	影響なし
22	平成30年10月30日	中央農業振興本部農業政策課 沢の上治水工事	北上城防部馬場と賀中央農業水害事業 事務所	立野立遺跡 (MH54-0221)	北上市和置町立野地内	影響なし
23	平成30年11月1日- 19日、28日	立野公園管理事業 内丸丸庭マヒヤサ伐採、 根株整理委託	北上城防部馬場土木部	盛岡城内駆除跡 (LE16-1)	盛岡市丸内地内	影響なし
24	平成30年11月15日	河川災害復旧事業-二郎川治水津付川治水調 節の2地区(河川)災害復旧 (2854-405号) 工事	北上城防部馬場土木部吉野土牛セ ンター	白石遺跡 (KJ59-2247) 下開利櫛羽町二升石地内	影響なし	
25	平成30年11月30日	農地水利用促進令遵守効率化事業	二郎川林野地盤整備センター・農村整備室	馬場立遺跡 (JF80-0096)	二戸市吉田一丁目大庭地内	影響なし
26	平成30年12月4日	東北整備整頓事業 (地盤用木型) 大田原地区	林野庁 東北森林管理署利尻毛豆森 林管理室	禪田立遺跡 (LE15-0188)	盛岡市上北山村禪田地内	影響なし
27	平成30年12月11日	木水伐採及び搬出工事	北上城防部馬場土木部	御前立遺跡 (NE39-1269) 一ノ井立跡	一ノ井市御前立町御前立2ノ井地内	影響なし
28	平成31年1月11日	経営育成整頓整備事業若林中部地区第8号 工事	北上城防部馬場土木部農村整備室	明神立遺跡 (NE24-0188)	奥州市鶴来町明神地内	影響なし
29	平成31年1月15日	経営育成整頓整備事業 六原地区	北上城防部馬場土木部農村整備室	御前立遺跡 (ME28-2002)	御前立遺跡・崎山町内安坂第11地割地 内	影響なし
30	平成31年1月24日	広域公園整備事業 鶴所湖底公園整備工事 給水資材貯蔵工事	北上城防部馬場土木部	天沼遺跡 (LE23-1023)	利子郡平石町西内安坂第11地割地 内	影響なし
31	平成31年1月24日	広域公園整備事業 鶴所湖底公園さくら園 ほか維持整備工事	北上城防部馬場土木部	天沼遺跡 (LE23-1023)	利子郡平石町西内安坂第11地割地 内	影響なし
32	平成31年1月28日	北上川中流域緊急の水封事業	国土交通省東北地方整備局岩手河 川川河川事務所	御前立遺跡 (LE77-0164)	御前立遺跡・北口道字城内地内	影響なし
33	平成31年2月5日	小川盆地総合整頓整備事業(区第5号)工事	北上城防部馬場土木部農村整備室	宮沢立遺跡 (NE23-1154)	奥州市御前立町御前立下宮沢地内	影響なし
34	平成31年2月6日	栗森森林事業所全体・地盤用木型 大田原地区	北上城防部馬場土木部農村整備室	上野立遺跡 (LE15-1229)	奥州市大田原上野立地内	影響なし
35	平成31年2月26日	経営育成整頓整備事業 六原地区	北上城防部馬場土木部農村整備室	利子郡金ケ崎町六原北長根	利子郡金ケ崎町六原北長根	影響なし
36	平成31年3月1日、 14日	伐倒 (立木貯留)	林野庁 東北森林管理署利尻毛豆森 林管理室	内山の沢遺跡 (KE17-2363)	利子郡利子町1095林木面地内	影響なし
37	平成31年3月5日	農村地域防災減災事業 北照井原地区	北上城防部馬場土木部農村整備室	片岡立遺跡 (NE26-0055)	西磐梯郡宇都町片岡地内	影響なし
38	平成31年3月16日	野手立・二戸病院医師会20号機械内蔵装置 工事	野手立・二戸病院	御野立遺跡 (IP90-0000)	二戸市御野立字御野立8-2の 部	影響なし

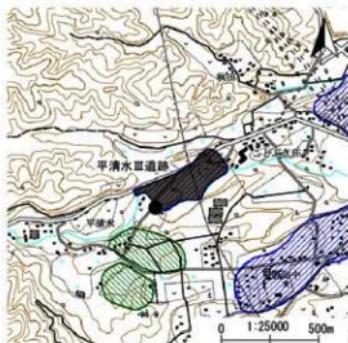
第15表 工事立会一覧表（2）

市町村文援

No.	調査期日	事業名	依頼者	進路名	所在地	結果
39	平成30年5月15日	村道新規設置・既設敷地内電柱移設工事	田野畠村教育委員会	資庭里道路 (KG22-2354)	下荒伊那田野畠村資庭里141.0番地	影響なし
40	平成30年5月15日	田野畠村資庭里415、152-6、152-11番地道路新規 内電柱移設工事	田野畠村教育委員会	浜呑泉Ⅱ道路 (KG33-1030)	下荒伊那田野畠村浜呑泉里105番地	影響なし
41	平成30年7月13日	平成28年度公共土木災害（台風10号）復旧工事	田野畠村教育委員会	子木地の台道路 (KG20-1380)	下荒伊那田野畠村子木地11番付近	影響なし
42	平成30年7月20日	電力設備の移設工事	田野畠村教育委員会	鳥越気道跡 (KG35-1095)	下荒伊那田野畠村字浜呑泉224番地付近	影響なし
43	平成30年7月30日	村道黒崎瀬戸越路改良（3号）工事	菅代村教育委員会	下村道路 (KG22-2358)	下荒伊那菅代村大字黒崎瀬戸越路内	影響なし
44	平成30年8月21日	個人住宅建屋	野田村教育委員会	野田里片道跡 (KG20-0250)	丸山郡野田村大字野田里25地割140番地内	既行建物 既行建物 既行建物 既行建物
45	平成30年8月31日	火災による住宅再建工事	田野畠村教育委員会	資庭浜屋根里1道跡 (KG22-2354)	下荒伊那田野畠村資庭浜屋根里34.5番地	影響なし
46	平成30年10月16日	KDDI田野畠浜呑泉新設工事	田野畠村教育委員会	浜呑泉Ⅱ道路 (KG43-0016)	下荒伊那田野畠村浜呑泉58番地	影響なし



1. サンニヤIII跡跡隣接地



2. 平清水III跡跡

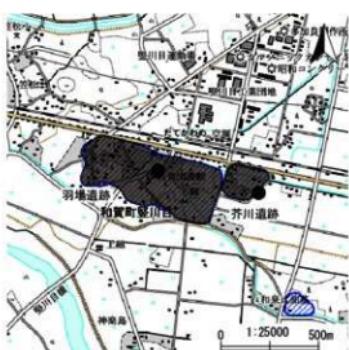
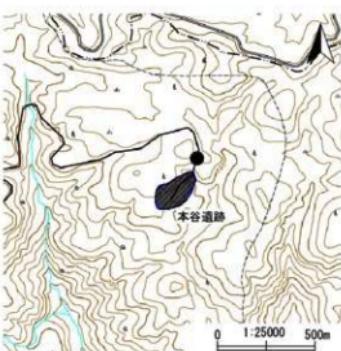
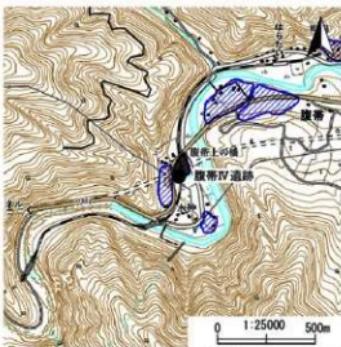


3. 大日向II跡跡



4. 三ノ丸跡跡

第121図 工事立会位置図一覧（1）



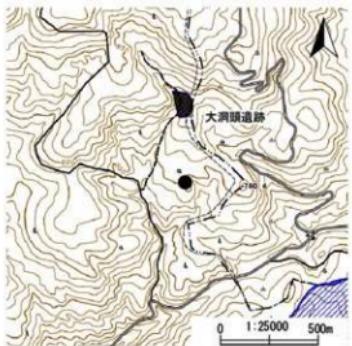
第122図 工事立会位置図一覧（2）



11. 伍代坂 I 遺跡・小寺跡地



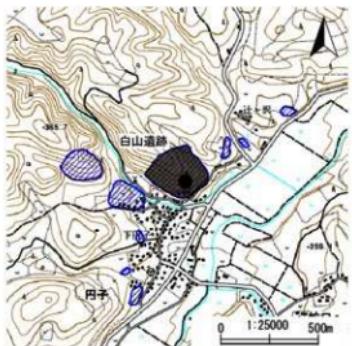
12. 下野虎 II 遺跡



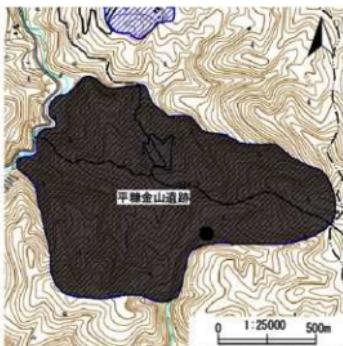
13. 大洞頭遺跡隣接地



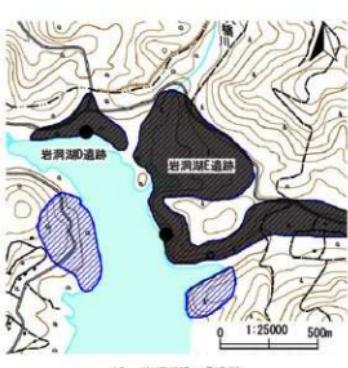
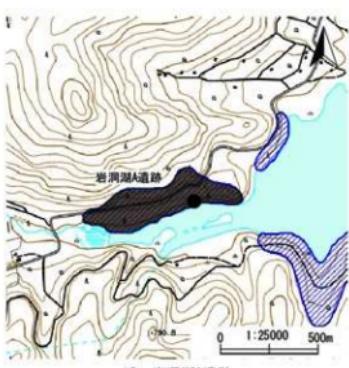
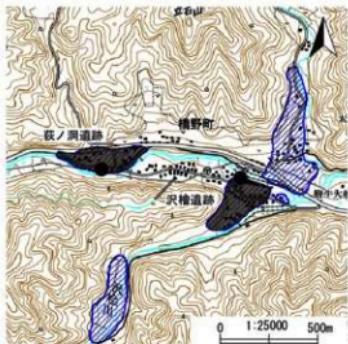
14. 清小川 II 遺跡



15. 白山跡地



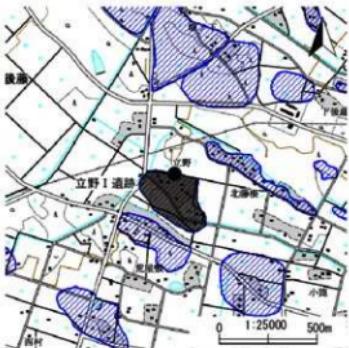
16. 平塚金山跡



第124図 工事立会位置図一覧（4）



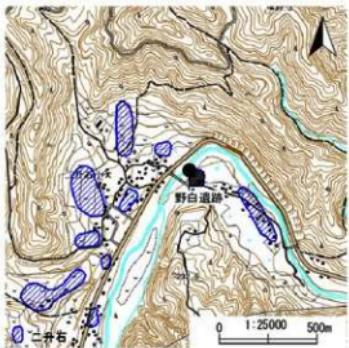
20. 川代鋳治跡遺跡



22. 立野I遺跡



23. 盛岡城外曲輪遺跡



24. 野白遺跡



25. 馬場遺跡



26. 黒田遺跡 34. 上野屋敷遺跡



27. 錦治屋敷遺跡



28. 明神下遺跡及び隣接地



29. ニッ堤遺跡



30・31. 天沼遺跡

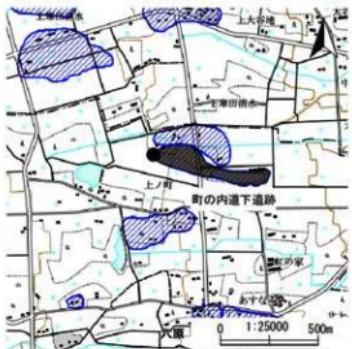


32. 北条館跡

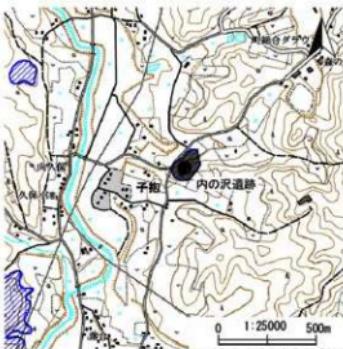


33. 宮沢原遺跡

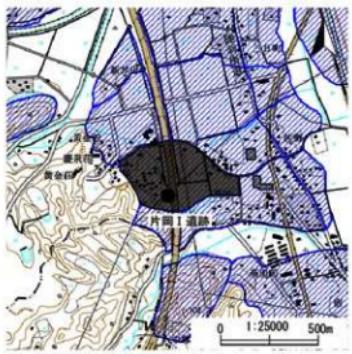
第126図 工事立会位置図一覧（6）



35. 町の内道下遺跡



36. 内の沢遺跡



37. 片岡 I 遺跡



38. 堀野遺跡群

第127図 工事立会位置図一覧 (7)



第128図 宮沢原遺跡出土遺物図



写真図版29 宮沢原遺跡出土遺物

第16表 宮沢原遺跡出土遺物観察表

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g.)			特 徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	
1	T2	-	縄文土器	深鉢	胸部	-	-	-	X字貼付文、結束2種 LR 縦

IV 分 布 調 査

件数は市町村支援含め64件で、発掘調査対応が4件、試掘調査対応が45件、工事立会対応が9件、慎重工事が23件、工事着手可が46件、再協議が2件であった（遺跡別によるカウントで件数と合致しない）。

第17表 分布調査一覧表(1)

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	コード	時代	種別	所在地	実施機関	結果
1	平成30年4月10日、11日	真壁整備事業（経営体竹成型）	函南広域振興局農政部農林整備室	内山遺跡	MIE28-1374	縄文	散布地	吳市志江町古瀬地内	-	再調査
2	平成30年4月10日、11日	真壁整備事業（経営体竹成型）	函南広域振興局農政部農林整備室	可能性あり	-	-	-	吳市志江町谷石地内	-	試掘調査
3	平成30年5月8日	河川底質災害対策特別緊急事業	白石広域振興局土木部岩見木センター	中家遺跡	KG09-1295	縄文	散布地	下閉伊郡若狭町若狭一郷山内	-	再調査
4	平成30年5月8日	駐車沿用（崩壊地復旧）	郡北広域振興局林務部	古瀬山遺跡	JG01-0033	縄文 古代	集落跡	九戸郡野田村野吉町頭地内	-	工事立会
5	平成30年5月9日	予防治山工事	郡北広域振興局林務部	三日原遺跡	JF39-1010	中世	城郭跡	久慈市大川日町二日町地内	-	慎重工事
6	平成30年5月9日	駐車沿用(施設維持修繕)工事	郡北広域振興局林務部	三日原遺跡	JF39-1010	中世	城郭跡	久慈市大川日町三日町地内	* 遺跡付近に土手等有る	工法監査
7	平成30年5月11日、14日、15日	生産耕作事業（開伐）	林野庁東北森林管理局岩見木森林管理署	責任者遺跡	MF84-0068	-	城郭跡	道野町224番2、12、14 2、5、7、9号小屋	-	慎重工事
				大洞沢遺跡	MF13-2209	縄文	散布地	道野町255番6-1、3番5-1	-	工事立会
				大洞沢沢遺跡	MF13-2228	縄文	-	6号小屋	-	工事立会
8	平成30年5月21日、22日	生産耕作事業（開伐）	林野庁東北森林管理局二郎山森林管理署久慈支署	和幹平ノ山遺跡	JG20-0204	縄文	集落跡	九戸郡野田村 和幹山北山 町有林821林小屋	國土地理院 國土文庫	慎重工事
				-	-	-	-	久慈市山形町 登立山有林 1263-2林小屋	-	工事着手可
				中平原山遺跡	JP27-1005	-	山原跡	久慈市山形町 舞133番有林 1365-6林小屋	疏源・印澤 國土地理院 國土文庫	慎重工事
9	平成30年5月24日	舊村地造成工災害災害復旧・石東部幹線地区	柏木広域振興局農政部農林整備室	砂子沢遺跡	ME09-0232	古代	散布地	吳市志江町米原	-	工事立会
10	平成30年5月31日	製品生産消滅事業（削伐）	林野庁東北森林管理局岩見木森林管理署	向山南遺跡	LE00-2222	縄文	散布地	南陽市向山林17625林小屋	國土地理院 國土文庫	慎重工事
11	平成30年6月1日	生産耕作事業（開伐・削伐）	林野庁東北森林管理局岩見木森林管理署	平塚金山遺跡	JF00-1255	近世後生代	生産遺跡	南陽市向山林17625林小屋	-	工事立会
				-	-	-	-	平塚国有147624-1~14 1号小屋	-	工事立会
12	平成30年6月6日、7日	森林環境保全整備事業	林野庁東北森林管理局二郎山森林管理署	本谷遺跡	MP28-0339	縄文	散布地	野野原第一区区有林3862 1号小屋	國土地理院 國土文庫	慎重工事
				大洞沢遺跡	LE00-2222	古代以降	駆逐開拓遺跡	野野原第一区区有林4011- 01、1302-1、4、1400-7 1201、1302、1402、~1402, v-01、n、v-02、~02、v- 03、v-04林小屋	疏源 國土地理院 國土文庫	慎重工事
13	平成30年6月12日	普伐（立木販売）	林野庁東北森林管理局二郎山森林管理署	大牛内1遺跡	KG03-1302	縄文	集落跡	羽前町新木本字大内有林 575-1林小屋	國土地理院 國土文庫	慎重工事
14	平成30年6月12日、13日	河川底質災害対策特別緊急事業	白石広域振興局土木部岩見木センター	-	-	-	-	下閉伊郡若狭町乙羽字三田 内胞内	-	工事着手可
				-	-	-	-	下閉伊郡若狭町乙羽字三田 内胞内	-	工事着手可
				可能性あり	-	-	-	下閉伊郡若狭町乙羽字三田 内胞内	-	試掘調査
				-	-	-	-	下閉伊郡若狭町乙羽字三田 内胞内	-	工事着手可
15	平成30年6月12日、13日	河川災害復旧施設整備	白石広域振興局土木部岩見木センター	-	-	-	-	下閉伊郡若狭町門戸瀬地内 内	-	工事着手可
16	平成30年6月14日	真壁整備事業（経営体竹成型）	函南広域振興局農政部農林整備室	合野遺跡	NE26-1020	縄文 古代	散布地	吳市志江町田代地内	-	慎重工事
17	平成30年6月18日	舊村整備事業（経営体竹成型）	柏木広域振興局農政部農林整備室	片手沢遺跡	NI25-1313	縄文 古代	集落跡	二戸市安比地内	-	慎重工事
18	平成30年6月18日、28日	農村整備事業（経営体竹成型）	郡北広域振興局農政部農林整備セントラル農村整備室	南沢1遺跡	JE45-1081	縄文	散布地	二戸市静法寺町山内地内	-	試掘調査
				南沢2遺跡	JE45-2011	縄文	集落跡	-	-	慎重工事
				南沢3遺跡	JE45-2013	縄文	集落跡	-	-	慎重工事
				南沢4遺跡	JE45-2014	縄文	散布地	-	-	試掘調査
				可能性あり1	-	縄文	-	國土地理院 國土文庫	-	試掘調査
				可能性あり2	-	縄文	-	國土地理院 國土文庫	-	試掘調査
				可能性あり3	-	縄文	-	國土地理院 國土文庫	-	試掘調査
				可能性あり4	-	縄文	-	國土地理院 國土文庫	-	試掘調査
19	平成30年6月27日、28日	普伐（立木販売）	林野庁東北森林管理局二郎山森林管理署	ハッコ坂遺跡及び隣接地	LG05-2294	縄文	散布地	下閉伊郡山町町原根 山田有林272-2、3号小屋	國土地理院 國土文庫	工事立会
20	平成30年7月3日、4日	普伐（立木販売）	林野庁東北森林管理局岩見木森林管理署	-	-	-	-	吳市志江区石柳 東御用 山田有林66林近小屋	-	工事着手可

第18表 分布調査一覧表（2）

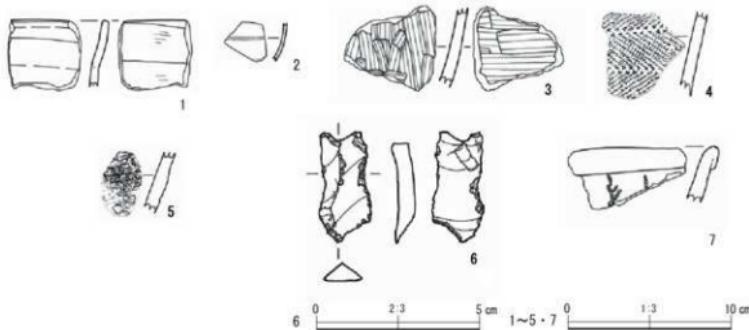
No.	調査日	事業名	事業者	進路名	コード	時代	種別	所在地	表記進物	結果
21	平成30年7月9日	農業農村整備事業（糸子地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	大沢内1進路及び開拓地	ME49-0191	平安	散布地	土師器	試掘調査	
				浅大津1進路及び開拓地	ME49-1028	魂文 佐生	散布地	-	試掘調査	
				天ヶ沢通路	ME49-1069	魂文 佐生	散布地	花巻市東相馬妙子地内	試掘調査	
				可能性あり（屏上地帯開拓地）	ME49-1150	魂文	散布地	-	試掘調査	
22	平成30年7月10日	伐木（立木伐採）	野野竹北森林管理署	松野竹北森林管理署	KU44-2075	魂文	築落跡	岩泉町小字本大字内田右門579-2林木小築落地	魂文土器	試掘調査
23	平成30年7月18日	生産請負事業（伐倒）	生産請負事業（伐倒）	-	-	-	-	二ノ郡一ノ町平雅因有林1763番地小屋	工事着手可	
24	平成30年7月18日	農業農村整備事業（永澤地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	糸の子通路	ME57-1350	魂文 平安	散布地	北上市L1内町地内	-	試掘調査
25	平成30年7月20日、21日	農業農村整備事業（大森寺地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	中尾原古墳跡	ME57-2330	中世	城郭跡	-	城郭跡	
				大瀬川跡I（盐山）路	LE85-2334	魂文 中世	散布地	-	試掘調査	
				大瀬川跡II（古瀬）路	LE85-2366	-	城郭跡	-	試掘調査	
				置の内通路	LE96-0055	中世	城郭跡	花巻市石鳥谷町大鷹寺地区	-	試掘調査
26	平成30年8月1日	農業農村整備事業（川舟地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	置の内通路及び開拓地	LE96-1004	近世	城郭跡	-	試掘調査	
				坂の内通路	LE96-1003	魂文	散布地	-	試掘調査	
				野田1通路	LE96-1002	魂文	散布地	-	城直丁亭	
				野田2通路	LE95-1298	魂文	散布地	-	城直丁亭	
				松林寺通路	LE95-1352	魂文	散布地	洞穴	試掘調査	
				可能性あり	-	-	-	-	試掘調査	
				高下1通路	LI98-2264	魂文	散布地	-	試掘調査	
				高下2通路	LI98-2291	魂文	散布地	-	試掘調査	
				扇の谷1里塚	LI99-0220	近世	一段塚	-	城直丁亭	
				扇の谷2里塚	LI99-0298	魂文	散布地	-	試掘調査	
27	平成30年8月7日	農業農村整備事業（太田地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	安・211進路	LI99-0071	魂文	散布地	和賀郡西和賀町牛久地区	-	試掘調査
				安・212進路	LI99-2289	中世	城郭跡	-	試掘調査	
				安・213進路	LI99-1003	近世	散布地	-	試掘調査	
				引田通路	LI99-0069	魂文	散布地	-	試掘調査	
				小川通路	LI99-1043	魂文	散布地	-	試掘調査	
				朝の通路	LI99-1190	魂文	散布地	-	試掘調査	
				朝の通路	LI99-2327	古代	城郭跡・集落跡	-	試掘調査	
				朝の通路及び開拓地	ME24-2388	魂文 古代	散布地	-	魂文土器	試掘調査
				麻屋敷通路	ME34-0362	-	宿駄跡	-	城直丁亭	
				安楽道通路	ME34-1119	魂文	散布地	-	試掘調査	
28	平成30年8月8日	和賀中央農業水利事業（道の上工事）	和賀中央農業水利事業（道の上工事）	森林水害対策工事	ME34-1182	古代	城郭跡・散布地	-	試掘調査	
				和賀中央農業水利事業（道の上工事）	ME34-1230	魂文 古代	散布地	北上中央賀田町地内	-	工事着手可
				石原1進路	ME34-0321	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原2進路	ME34-0322	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原3進路	ME34-0323	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原4進路	ME34-0324	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原5進路	ME34-0325	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原6進路	ME34-0326	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原7進路	ME34-0327	平安	散布地	-	試掘調査	
				石原8進路	ME34-0328	平安	散布地	-	試掘調査	
29	平成30年8月27日	森林管理酒平沢川流域開拓工事	山南広域振興局農林部北上農村整備センター	山南広域振興局農林部北上農村整備センター	-	-	-	下閉伊郡田野畠村音守地内	工事着手可	
				森城地盤内災滅災事業	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
				新谷地盤災害対策工事	-	-	-	-	工事着手可	
30	平成30年9月4日	農業農村整備事業（北上地区）	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	新城町通路	ME36-1006	中・近世	城郭跡	西磐井郡平賀町字平田字森田地内	-	試掘調査
				新谷内通路	ME36-1007	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1008	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1009	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1010	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1011	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1012	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1013	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1014	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
				新谷内通路	ME36-1015	中・近世	城郭跡	-	試掘調査	
31	平成30年9月5日	荒川ダム建設事業	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	荒川ダム建設事業	-	-	-	盛岡市田代町字平田地内	-	工事着手可
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
32	平成30年9月6日	主要地方道・11号線栗山川流域道路災害復旧工事	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	野場通路	JF30-0315	魂文 佐生	築落跡	二戸郡一戸町字栗山田地内	魂文土器	工事着手可
				山下通路	ME36-1123	魂文 平安	築落跡	奥州市江刺福麻	土師器	試掘調査
				山下通路及び開拓地	ME36-0069	魂文 佐生 平安 中世	築落跡	北上市船岡町	土師器	試掘調査
				山下通路	ME36-0070	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0071	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0072	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0073	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0074	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0075	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
				山下通路	ME36-0076	魂文 佐生 平安	築落跡	-	試掘調査	
33	平成30年10月1日	主要地方道・11号線栗山川流域道路災害復旧工事	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	野場通路	ME36-0077	魂文 佐生	築落跡	二戸郡一戸町字栗山田地内	魂文土器	工事着手可
				野場通路	ME36-0078	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0079	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0080	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0081	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0082	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0083	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0084	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0085	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0086	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
34	平成30年10月11日	主要地方道・11号線栗山川流域道路災害復旧工事	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	野場通路	ME36-0087	魂文 佐生	築落跡	北上市船岡町	土師器	試掘調査
				野場通路	ME36-0088	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0089	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0090	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0091	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0092	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0093	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0094	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0095	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
				野場通路	ME36-0096	魂文 佐生	築落跡	-	試掘調査	
35	平成30年10月24日	農業農村整備事業	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	吉田通路	LE36-2124	古代	キャンバ堆	前閉田郡大字宇波沼内	-	試掘調査
				吉田通路及び開拓地	LE36-2251	魂文	キャンバ堆	内	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2252	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2253	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2254	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2255	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2256	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2257	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2258	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
				吉田通路	LE36-2259	魂文	キャンバ堆	-	-	試掘調査
36	平成30年10月24日	荒川ダム建設事業	山南広域振興局農政部北上農村整備センター	荒川ダム建設事業	-	-	-	盛岡市田代町字平田地内	-	工事着手可
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-	-	-	-	工事着手可	
				荒川ダム建設事業	-					

第19表 分布調査一覧表(3)

No.	調査日	事業名	事業者	進路名	コード	時代	種別	所在地	共通属性	結果
43	平成30年11月13日	安春莊所懲罰事業(久 慈警察員内勤在所新規) 計課	弓手賀齋本部警務部会 中員内II連絡 規徳	JG30-0131	古代	集落	久慈市呂内町第28地割90番 地3付近	-	工事着手可	
44	平成30年11月13日	安春莊所懲罰事業(二 弓手賀齋本部警務部会 中員内II連絡在所 相助者苟存新規)	弓手賀齋本部警務部会 中員内II連絡 規徳	JE36-0382	中世	城郭群	二戸市御法寺城下前田42	-	工事着手可	
45	平成30年11月13日	牛產耕食事業(皆伐)	東北森林管理局別子北部 森林管理署	-	-	-	八幡平市荒木田字御山ヶ森 1番地2地内のうち跡・森 因に8234林班地は小畠	-	工事着手可	
46	平成30年11月13日 ~14日	牛產耕食事業(伐倒)	東北森林管理局別子北部 森林管理署	荒尾道	JE25-0063	近代	街道群	八幡平市高麗原6地割内 荒 尾因に824林班地は小畠外12	-	発掘調査
47	平成30年11月16日	復旧治山事業 池坂地区	弘北広域振興局二戸農林 振興センター林務室	松松石道	JE64-2265	古代	街道群	久慈郡大河原町字小野字 1丁目地内	-	発掘調査
48	平成30年11月16日	砂防施設事業 第二田川 の沢(2路)	石川広域振興局土木部若 佐土木センター	可能性あり	-	-	-	下伊那郡若草町門字南二田 1地内	-	工事着手可
49	平成30年11月19日	二津泊修道(宮古駅右 道路)	国土交通省東北地方整備 局二津泊修事務所	可能性あり	-	-	-	宮古市飯榮第4地割	-	工事着手可
50	平成30年11月20日 11、21日	立木坂整事業(皆伐)	林野庁東北森林管理局若 木山部森林管理署	可能地あり	-	-	-	青森市若林若柳字慶茂一 東山田山因有林51林班地1小 畠	-	工事又会
				-	-	-	青森市若林若柳字慶茂一 東山田山因有林51林班地1小 畠	-	工事着手可	
				-	-	-	青森市若林若柳字慶茂一 東山田山因有林51林班地1小 畠	-	工事着手可	
51	平成30年11月20日	鳥地整備事業(作業条件 整備) 長坂地区	長坂広域振興局農政部 農林技術センター	石田道跡	MP35-2230	-	散布地	浪速市土瀬町字田山	-	試査工事
				山田道跡	MP35-2213	平安	集落群	浪速市土瀬町字田山	-	試査工事
				押明旦道跡 規徳	MP35-2218	-	-	浪速市土瀬町字押明	-	工事着手可
52	平成30年11月20日	二津泊修道(洋野原上道) (洋野原下道)	国土交通省東北地方整備 局二津泊修事務所	松浦連絡場跡地	MP35-2205	-	-	浪速市松浦町向山字404	-	工事着手可
				百代貫道跡 規徳	MP35-2036	-	-	浪速市松浦町向山字8代	-	工事着手可
				東側連絡場跡地	MP35-2073	-	-	浪速市松浦町向山字8場	-	工事着手可
53	平成30年11月20日	上ノ山道跡 篠山地	上ノ山道跡 篠山地	上ノ山道跡	MP34-2388	-	山地	浪速市松浦町向山字上ノ 山	-	工事着手可
				篠山城(篠山里 篠山地)	MF44-0306	-	-	浪速市松浦町向山字上ノ 山	-	工事着手可
				上ノ山道跡 篠山地	-	-	-	人J-都洋野原横山第14地割 宇佐吉地内	-	工事着手可
54	平成30年11月20日	三津泊修道 (普代久慈道路)	国土交通省東北地方整備 局三津泊修事務所	-	-	-	-	久慈市呂内町第18地割地内	-	工事着手可
				-	-	-	-	久慈市呂内町第30地割地内	-	工事着手可
				-	-	-	-	久慈市呂内町第40地割地内	-	工事着手可
55	平成31年1月8日、 9日	二津泊修道 (延喜垂葉代道)	国土交通省東北地方整備 局二津泊修事務所	内新田Ⅰ道跡	KG24-1290	平安	集落群	高古市田老子青井庵北2-1	-	試査調査
				延喜垂葉代道跡 規徳	KG33-2044	平安	-	-	-	試査調査
				浜岩東岸道跡 規徳	-	-	-	下伊那郡田原町村花谷雲96	-	工事着手可
56	平成31年1月30日	二津泊修道 (洋野原上道)	二津泊修道跡 規徳	二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第28地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第29地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第30地割 地内	-	試査調査
57	平成31年1月30日	二津泊修道 (洋野原上道)	二津泊修道跡 規徳	二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第31地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第32地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第33地割 地内	-	試査調査
58	平成31年1月30日	(洋野原上道)	二津泊修道跡 規徳	二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第34地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第35地割 地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山第36地割 地内	-	試査調査
59	平成31年2月13日	地域連絡道路整備事業 若狭広域振興局土木部若 狭土木センター	田中屋町跡 規徳	田中屋町跡	ME63-0068	開穴文書	敷地	北上市和賀町山口地内	-	試査工事
				根城跡	NP61-1240	平安	城郭群	開市若東町大字堂山地内	-	発掘調査
				-	-	-	-	下伊那郡田原町村音前707	-	工事着手可
60	平成31年3月12日	二津泊修道 (根岸山里)	二津泊修道跡 規徳	二津泊修道跡 規徳	-	-	-	下伊那郡田原町村高越399	-	工事着手可
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	52.61.25.151.206.220.255 地内	-	工事着手可
				二津泊修道跡 規徳	-	-	-	人J-都洋野原横山大野田第13 地割地内	-	試査調査
61	平成31年3月12日	二津泊修道 (普代久慈道路)	二津泊修道跡 規徳	二津泊修道跡 規徳	LG30-2047	-	-	久慈市呂内町第18地割地内	-	試査調査
				二津泊修道跡 規徳	LG60-0258	-	-	人J-都洋野原横山大野田第13 地割地内	-	試査調査

山村町支援

No.	調査日	事業名	実施者	進路名	コード	時代	種別	所在地	遺構・遺物	結果
64	平成30年11月15日	1段移行 造の駒なほた 整備事業	田野畠村教育委員会	可能性あり	-	-	-	下伊那郡田野畠村首度地内	-	試査調査



第129図 分布調査採集遺物図

第20表 分布調査採集遺物観察表

測定番号 No.	一覧表 No.	遺物名	場所	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
							口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1	9	可能性あり	表探	土師器	甕	口縁部	-	-	-	-	内外面ナデ
2	9	可能性あり	表探	陶磁器	壺?	体部	-	-	-	-	縦軸?
3	17	可能性あり I	表探	土師器	甕	体部	-	-	-	-	内外面ハケメ
4	18	可能性あり I	表探	織文土器	深鉢	肩部	-	-	-	-	LR・RL 横 終点 1種
5	19	バッコ板遺跡	表探	織文土器	深鉢	肩部	-	-	-	-	
6	25	可能性あり	表探	石器	RF	-	34	1.6	0.7	35	
7	27	折居道路	表探	織文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	
8	8	中平鉄山跡	表探	鐵滓	-	-	-	-	-	-	写真のみ掲載
9	12	大洞頭遺跡	表探	鐵滓	-	-	-	-	-	-	集合写真のみ掲載



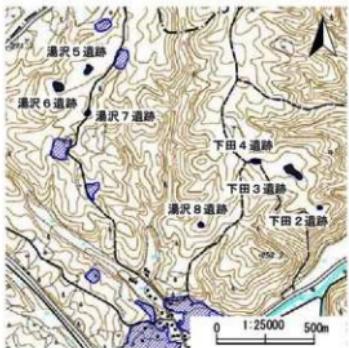
写真図版30 分布調査採集遺物

V 新規登録遺跡

平成30年度に周知の埋蔵文化財包蔵地として新たに登録された件数は22件である。その多くが開発事業に係る現地踏査によるもので、山林内での発見が相次いだ。山林を対象とした詳細分布調査は開発頻度が低調であるだけに、どのような文化財が所在しているのか、未把握である自治体が多いのが現状である。そのため、今後も遺跡が発見される可能性が高い区域であって、各地域の特徴を把握する上で、重要な遺跡の発見が期待される。

第21表 新規登録遺跡一覧表

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	登録日
1	IF62-2220	湯沢5遺跡	縄文	土坑・土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第4地割字湯沢地内	平成30年4月25日
2	IF62-2138	湯沢6遺跡	縄文	土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第4地割字湯沢地内	平成30年4月25日
3	IF62-2240	湯沢7遺跡	縄文	土坑・土器・磨石	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第4地割字湯沢地内	平成30年4月25日
4	IF62-2392	下田2遺跡	縄文	土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第6地割字下田地内	平成30年4月25日
5	IF62-2370	下田3遺跡	縄文	土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第6地割字下田地内	平成30年4月25日
6	MF13-2228	大洞長沢Ⅱ遺跡	縄文	土器	散布地	遠野市附馬牛東禪寺字 大洞長沢地内	平成30年6月5日
7	MG70-1342	柏木野遺跡	縄文	土器	散布地	釜石市甲子町第9地割 地内	平成30年6月8日
8	ME89-0232	砂子沢遺跡	古代	土師器・須恵器	散布地	奥州市江刺米里字砂子 沢地内	平成30年7月24日
9	IF96-2043	赤石峠北の沢遺跡	不明	鉄滓・炉壁	生産遺跡	九戸郡軽米町大字小軽米 第16地割字野々地内	平成30年8月24日
10	JF06-0224	煙の沢遺跡	近世	鉄滓・炉壁	生産遺跡	九戸郡軽米町大字小軽米 第16地割字野々地内	平成30年8月24日
11	IF85-2334	サカイの沢遺跡	近世	鉄滓・炉壁・羽口	生産遺跡	九戸郡軽米町大字小軽米 第15地割字屋敷地内	平成30年8月24日
12	JF11-1333	大沢Ⅱ藩塙塚	近世	—	その他の遺跡	二戸市白鳥字側沢地内	平成30年10月31日
13	JF21-0348	白屋ヶ城藩塙塚	近世	—	その他の遺跡	二戸郡一戸町楯山字楯 笠地内	平成30年11月5日
14	IF99-0251	下向Ⅱ遺跡	縄文	溝状土坑・土坑	散布地	九戸郡洋野町中野第1 地割地内	平成30年11月8日
15	NF91-1174	小天平館跡	中世	—	城館跡	一関市千賀町千賀字中 駒場地内	平成30年11月9日
16	NF61-1116	觀音寺遺跡	縄文・平安	土器・石器・鉄製品	散布地	一関市大東町浜民字觀 音寺地内	平成30年11月9日
17	NF61-1124	佐野脇Ⅱ遺跡	縄文・平安	土器・石器・鉄製品	散布地	一関市大東町浜民字佐 野脇地内	平成30年11月9日
18	OE39-0091	小野Ⅱ遺跡	平安	土師器・須恵器・炉壁・砥石	生産遺跡	一関市花泉町日形字共 和地内	平成30年11月9日
19	LE97-0308	三竹堂館跡	中世	—	城館跡	花巻市石鳥谷町新堀地 内	平成30年11月9日
20	LE67-2144	本町川原遺跡	奈良・平安	土師器・球胴壺・石匙	散布地	紫波郡紫波町桜町字本 町川原地内	平成30年12月10日
21	IF72-0206	湯沢8遺跡	縄文	土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第4地割字湯沢地内	平成30年12月10日
22	IF62-2278	下田4遺跡	縄文	土坑・土器	散布地	九戸郡軽米町大字高家 第6地割字下田地内	平成30年12月10日



1~5・21・22. 湯沢5~8遺跡・下田2~4遺跡



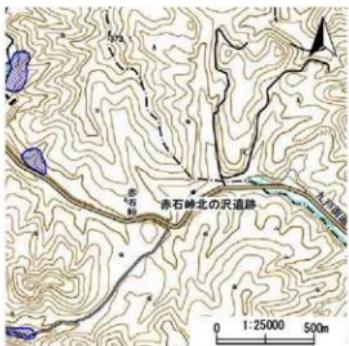
6. 大洞長沢II遺跡



7. 柏木野遺跡



8. 砂子沢遺跡

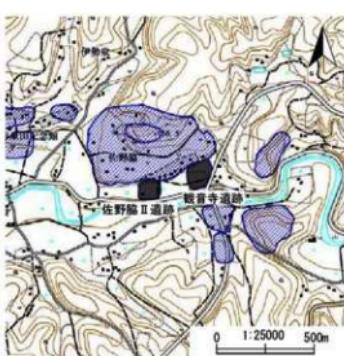
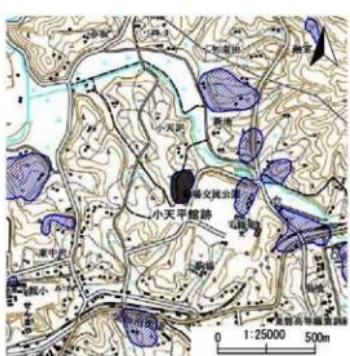
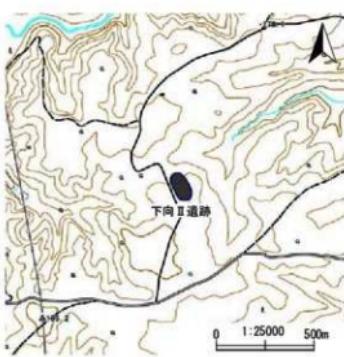
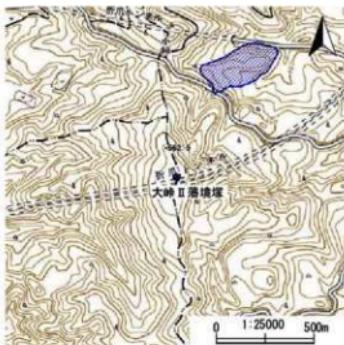
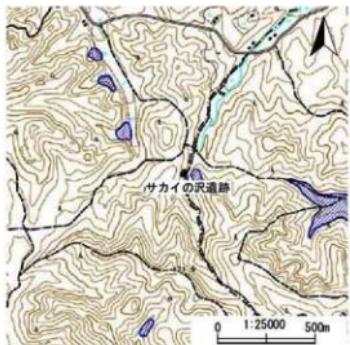


9. 赤石峰北の沢遺跡

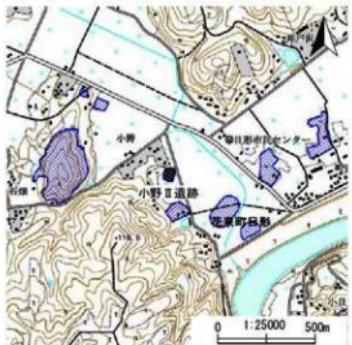


10. 畠の沢遺跡

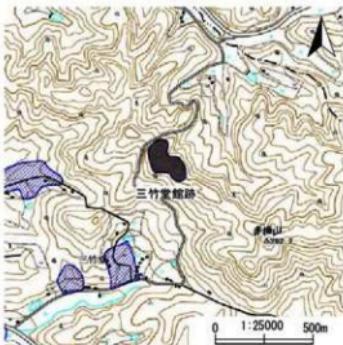
第130図 新規登録遺跡位置図一覧（1）



第131図 新規登録遺跡位置図一覧（2）



18. 小野Ⅱ遺跡



19. 三竹堂館跡



20. 本町川原遺跡

第132図 新規登録遺跡位置図一覧（3）

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書							
副書名	平成30年度							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第159集							
編集者名	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL019-629-6180							
発行年月日	令和2年3月24日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
大日向Ⅱ遺跡	九戸郡鞋木町大字鞋木地区内	035017	IF73-2112	40度 20分 01秒	141度 27分 23秒	20180711～0713	74	記録保存 調査
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大日向Ⅱ遺跡	集落跡	绳文	绳文 竪穴建物跡1、土坑1		土器		断面のみであるが 南部浮石層下位より竪穴建物跡を検出した。	

岩手県文化財調査報告書 第159集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成30年度)

発行日 令和2年3月24日

発 行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

印 刷 小松総合印刷(株)

〒020-0827 岩手県盛岡市銘屋町15-4

